

小矢部市新総合計画策定のための
アンケート調査結果報告書
(概要版)

平成 29 年 12 月
小 矢 部 市

目 次

I.	アンケート調査の概要.....	1
II.	アンケート調査結果の概要.....	2
A	市民アンケート調査.....	2
B	高校生アンケート調査.....	30
C	出身者アンケート調査.....	38
D	企業アンケート調査.....	45
E	従業員アンケート調査.....	56
F	観光客アンケート調査.....	67

★ この報告書の見方 ★

1. 図表中の回答比率は百分比で表示し、小数点第2位を四捨五入した。したがって、百分比の合計が100%とならない場合がある。
2. 図表中のNは、回答数の総数を表す。

I. アンケート調査の概要

A 市民アンケート調査

(1) 調査の目的

市民の方々が日頃感じておられる市の課題や今後のまちづくりへのご意見を伺い、今後の市政の参考とする。

(2) 調査期間 平成 29 年 7 月

(3) 対象者 小矢部市に居住する 18 歳以上の市民のうち約 1 割の人 (2,700 人)

(4) 回収数 1,113 人 (回収率 41.2%)

B 高校生アンケート調査

(1) 調査の目的

高校生の方々が日頃感じておられる市の課題や今後のまちづくりへのご意見を伺い、今後の市政の参考とする。

(2) 調査期間 平成 29 年 7 月

(3) 対象者 小矢部市内にある高等学校 (石動高校、小矢部園芸高校、となみ野高校) に通学する 2 年生全員 (218 人)

(4) 回収数 215 人 (回収率 98.6%)

C 出身者アンケート調査

(1) 調査の目的

小矢部市出身で、県外でご活躍の方々のふるさと小矢部への思いや、今後のまちづくりなどへのご意見を伺い、今後の市政の参考とする。

(2) 調査期間 平成 29 年 7 月～8 月

(3) 対象者 小矢部市出身の 18 歳以上の男女 (81 人)

(4) 回収数 38 人 (回収率 46.9%)

D 企業アンケート調査

(1) 調査の目的

市内事業者の方々のご意見等を伺い、小矢部市の新たな総合計画を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査期間 平成 29 年 7 月～8 月

(3) 対象者 小矢部市内事業所 (103 社)

(4) 回収数 70 社 (回収率 68.0%)

E 従業員アンケート調査

(1) 調査の目的

市内の企業に就労されているの方々のご意見等を伺い、小矢部市の新たな総合計画を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査期間 平成 29 年 7 月～8 月

(3) 対象者 小矢部市内企業に勤務する人 (565 人)

(4) 回収数 302 人 (回収率 53.5%)

F 観光客アンケート調査

(1) 調査の目的

市外から観光に訪れたの方々に聞き取り調査等を行い、小矢部市における観光の現状や要望等を調査し、今後の市政の参考とする。

(2) 調査期間 平成 29 年 7 月～8 月

(3) 対象者 小矢部市の祭り・イベントや観光地を訪れた観光客 (1,161 人)

(4) 回収数 300 人 (回収率 25.8%)

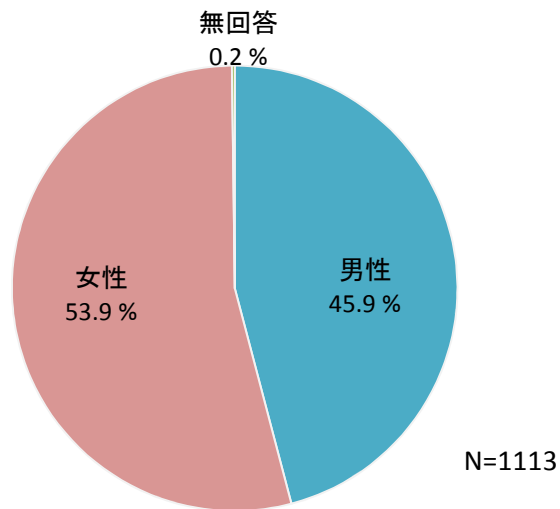
Ⅱ. アンケート調査結果の概要

A 市民アンケート調査

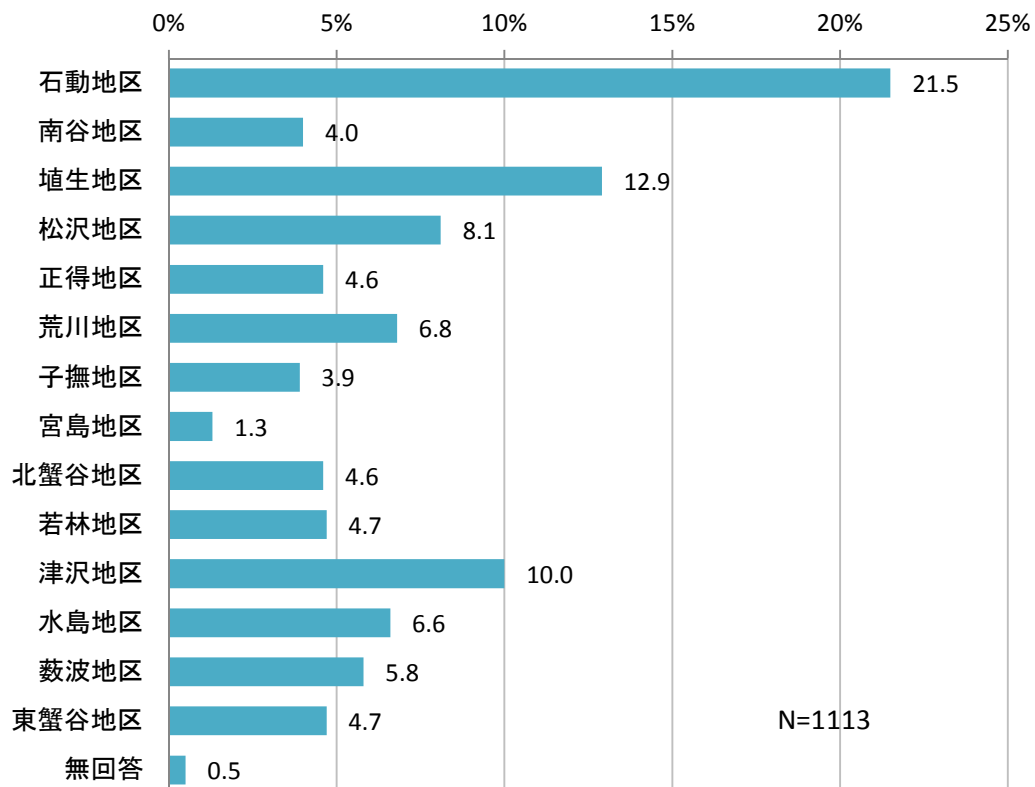
1 回答者の概要について

問1 性別、居住地区、年齢、主な職業、現在の世帯構成、小矢部市居住の通算年数、通勤・通学先について

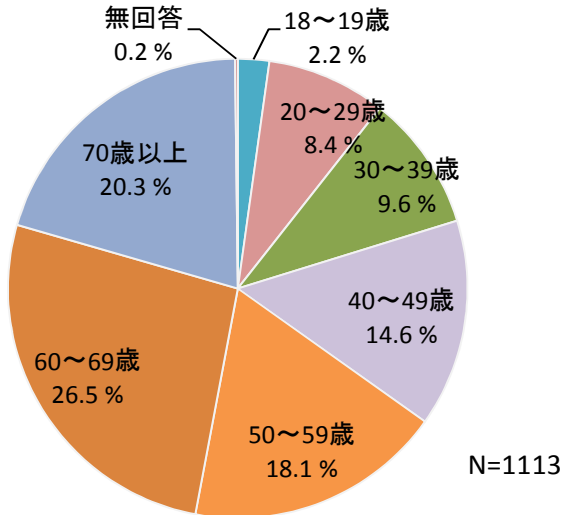
(1) 性別



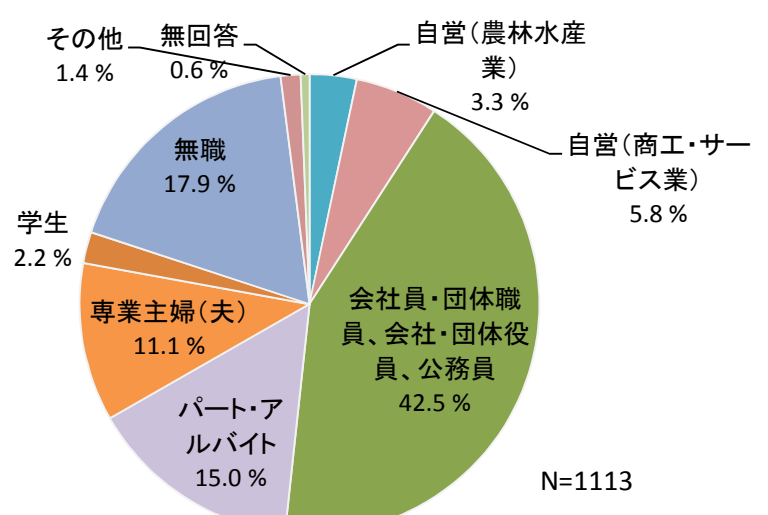
(2) 居住地区



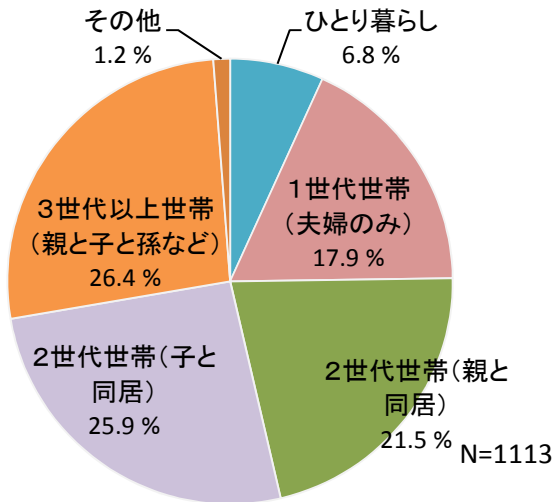
(3) 年齢



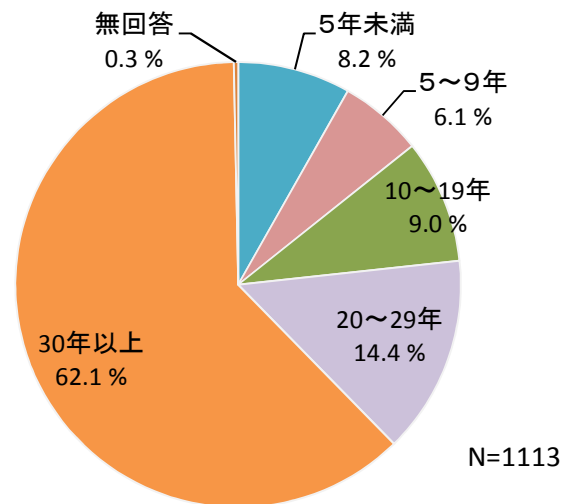
(4) 主な職業



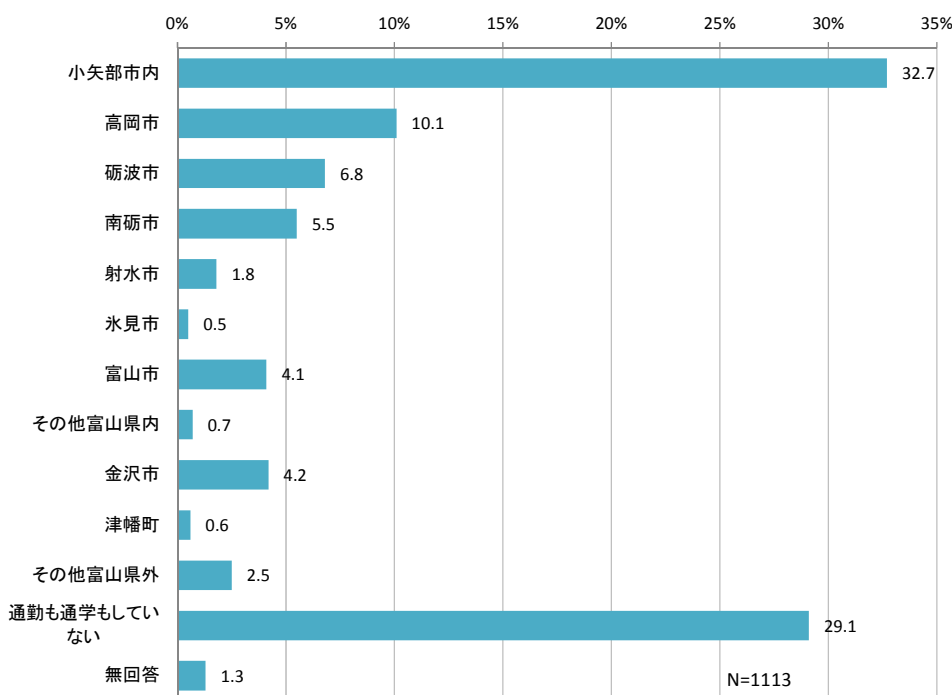
(5) 現在の世帯構成



(6) 小矢部市居住の通算年数



(7) 通勤・通学先



(市民アンケート調査結果の要約)

【小矢部市政に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」について（市民満足度調査）】

6つの分野の40項目ごとの満足度を見ると、比較的満足度の高い項目が多いのは「環境・安全安心」、「教育・歴史文化」、「健康・福祉」の分野である。反対に、比較的満足度の低い項目が多いのは「都市基盤整備・交流」、「産業・経済」の分野である。「どちらとも言えない」との回答は「市民協働・自治体経営」の分野に多い。

重要度が高い項目は「健康・福祉」、「環境・安全安心」と「教育・歴史文化」の一部で多く見られる。

【今後のまちづくりを進めるうえでの課題について】

若者が小矢部市に定着・流入するためには「子どもを産み、育てやすい環境の整備」、「若者の能力が発揮できる職場の確保」が大切であると考えられている。

少子化対策として特に大切なこととしては「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」、「保育サービスの充実」、「医療体制の整備」の順に挙げられる。

高齢者がいきいきと暮らすための環境整備としては「移動手段の充実」、「就業機会の拡大」、「買い物弱者支援の充実」の順に挙げられる。

【産業の振興】

〔農林水産業〕

農林水産業の振興のために必要なこととしては「新たな担い手・後継者の育成」、「農林水産物の流通・販売経路の改善・開拓」、「新しい特産物や加工製品の開発」の順に挙げられる。

〔商工業・サービス業〕

商工業・サービス業の振興のために必要なこととしては「自然災害の少ない立地環境を活かした企業誘致の推進」、「中心市街地の活性化」、「大型商業施設の開業効果を活かした新店舗の誘致」の順に挙げられる。

〔観光〕

観光の振興のために必要なこととしては「魅力あるイベントや大会の開催・誘致」、「市内にある観光施設のPR」、「広域観光の推進」、「観光資源の発掘や磨き上げ、観光商品化」の順に挙げられる。

【地域活動や市政への参加について】

地域活動や市政参加への取組状況としては「排出ごみの減量化や分別」、「健康診断」、「エコライフスタイルの推進」の順に挙げられる。

【行財政改革について】

行政サービスの水準と市民負担との関係については「行政サービスの水準が多少下がっても、負担が増えない方が良い」という考え方が、「多少負担が増えても、行政サービスの水準を下げない方が良い」を若干上回ったが、「どちらともいえない」との回答が約3分の1を占め最も割合が高くなっている。

優先すべき行財政改革としては「行政手続の簡素化や規制緩和」、「職員の資質や組織力の向上」、「事務事業の効率化・適正化」の順に挙げられる。

【今後のまちづくりの方向性について】

小矢部市が今後、重点的に取り組むべきまちづくりとしては「子育て環境が充実したまち」、「高齢者・障害者が安心して暮らせるまち」、「災害や犯罪が少ない安全・安心なまち」の順に挙げられる。

2. 小矢部市政に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」について（市民満足度調査）

○第6次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について

●「満足度」の高い政策 及び 「満足度」の低い政策

- ・全体にみる「満足度」の高い政策 及び 「満足度」の低い政策（上位10政策）

「満足度」について「高い」及び「やや高い」と回答のあったものを「満足度が高い」と分類するとともに、「やや低い」及び「低い」と回答があったものを「満足度が低い」と分類し、すべての回答に対する割合として示した。

「満足度」の高い政策は「地球温暖化防止の環境づくり」が50.6%で1位、次いで「学校教育の充実」が47.3%、「健康づくりの推進」が46.7%となっている。前回調査と比較すると、多少の順位変動がみられるものの、政策項目自体に大きな変動はみられない。

一方、「満足度」の低い政策は、「観光の振興」が61.0%で1位、次いで「魅力ある市街地等の形成」が53.5%、「地域間・国際交流の推進」が51.8%となっている。前回調査と比較すると、「地域産業の振興」が14位から9位、「商業の振興」が12位から10位となっている。

図表1 全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策（上位10政策）

	順位	「満足度」の高い政策	回答割合 (%)	順位	「満足度」の低い政策	回答割合 (%)
	() は前回		() は前回	() は前回		() は前回
上位 10 政策	1 (1)	地球温暖化防止の環境づくり	50.6 (50.7)	1 (2)	観光の振興	61.0 (63.9)
	2 (2)	学校教育の充実	47.3 (44.6)	2 (1)	魅力ある市街地等の形成	53.5 (65.5)
	3 (6)	健康づくりの推進	46.7 (39.6)	3 (6)	地域間・国際交流の推進	51.8 (53.1)
	4 (2)	親雪・克雪の推進	46.6 (44.6)	4 (4)	道路ネットワークの充実	50.9 (56.9)
	5 (5)	消防・救急体制の充実	44.4 (40.2)	5 (3)	公園・緑地の充実	50.4 (57.6)
	6 (6)	生活環境の整備	43.9 (39.6)	6 (10)	雇用の安定	50.2 (49.8)
	6 (4)	犯罪のないまちづくりの推進	43.9 (40.5)	7 (9)	交通体系の充実	48.5 (51.2)
	8 (8)	交通安全対策の充実	41.2 (38.1)	8 (10)	企業立地の促進	48.3 (49.8)
	9 (9)	生涯学習の推進	38.2 (35.5)	9 (14)	地域産業の振興	47.2 (48.6)
	10 (10)	歴史遺産・文化財の保存と活用	36.6 (34.8)	10 (12)	商業の振興	46.4 (49.2)

※前回調査・・・平成27年度市民満足度調査（以下同様）

●重要度の高い政策

・全体にみる「重要度」の高い政策（上位10政策）

「重要度」について「高い」及び「やや高い」と回答のあったものを「重要度が高い」と分類し、すべての回答に対する割合として示した。

「重要度」の高い政策は、前回調査で5位であった「地域医療体制の確立」が76.0%で1位となり、次いで「児童福祉の充実」が75.6%、「親雪・克雪の推進」が74.5%となっている。

前回調査と比較すると、「防災・危機管理体制の充実」が13位から8位、「就学前教育の充実」が24位から9位、「生活環境の整備」が14位から10位となっている。

図表5 全体にみる「重要度」の高い政策（上位10政策）

上位 10 政策	順位 ()は前回	「重要度」の高い政策	回答割合 (%) ()は前回
	1 (5)	地域医療体制の確立	76.0 (67.7)
	2 (2)	児童福祉の充実	75.6 (69.7)
	3 (1)	親雪・克雪の推進	74.5 (70.2)
	4 (4)	健康づくりの推進	74.1 (67.9)
	5 (7)	学校教育の充実	73.6 (64.2)
	5 (6)	地球温暖化防止の環境づくり	73.6 (65.2)
	7 (3)	高齢者福祉の充実	71.6 (68.5)
	8 (13)	防災・危機管理体制の充実	70.8 (60.4)
	9 (24)	就学前教育の充実	69.9 (56.5)
	10 (14)	生活環境の整備	69.3 (60.1)
10 (9)	犯罪のないまちづくりの推進	69.3 (62.2)	

○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係

重要度と満足度のそれぞれについて、平均値 (0.0) からのばらつきを指数化し、重要度と満足度との関係を4分類化したのが図表8である。

この図表は SWOT 分析とも呼ばれ、目標を達成するために意思決定を必要としている組織や団体が戦略立案を行う際に行われる分析手法で、A:強み(Strengths)、B:弱み (Weaknesses)、C:機会 (Opportunities)、D:脅威 (Threats)を確認、評価するために幅広い分野で活用されている。満足度を横軸に、重要度を縦軸にし、現在の小矢部市の進むべき方向性を分析したものである。

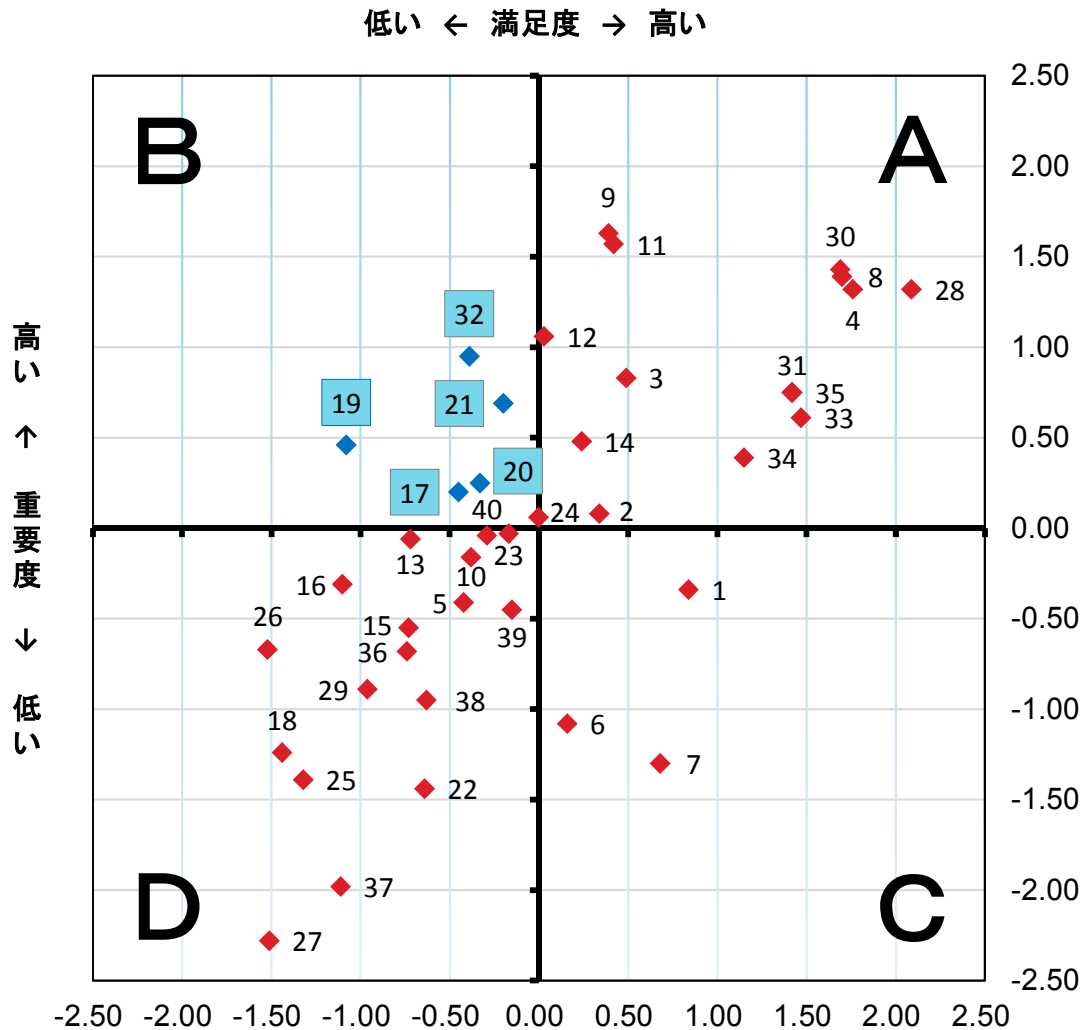
A=Strengths…強みを活用→水準の維持・強化

B=Weaknesses…弱みを弱みと捉える→最優先に改善

C=Opportunities…機会を逃さない→活用・開拓

D=Threats…発想を転換→経過観察 (改善・維持・縮小・利用促進)

図表8 「重要度」と「満足度」の関係



※青色は、重要度が高く満足度が低い政策 (B) を示したものの。

A：重要度、満足度とも高い政策

2 生涯スポーツの促進、3 就学前教育の充実、4 学校教育の充実、8 健康づくりの推進、
9 地域医療体制の確立、11 児童福祉の充実、12 高齢者福祉の充実、14 社会保障の充実、
24 交通体系の充実、28 地球温暖化防止の環境づくり、30 親雪・克雪の推進、31 生活環境の整備、
33 消防・救急体制の充実、34 交通安全対策の充実、35 犯罪のないまちづくりの推進、

B：重要度が高く、満足度が低い政策

17 企業立地の促進、19 雇用の安定、20 魅力ある市街地等の形成、21 道路ネットワークの充実、
32 防災・危機管理体制の充実

C：重要度が低く、満足度の高い政策

1 生涯学習の推進、6 芸術・文化の振興、7 歴史遺産・文化財の保存と活用

D：重要度、満足度とも低い政策

5 青少年の健全育成、10 地域ぐるみ福祉の推進、13 障害者福祉の充実、15 農業・農村の振興、
16 地域産業の振興、18 商業の振興、22 公園・緑地の充実、23 住宅・宅地の充実、
25 地域情報化の推進、26 観光の振興、27 地域間・国際交流の推進、29 豊かな森の保全と活用、
36 市民と行政の協働の推進、37 男女共同参画社会の推進、38 人権の尊重、
39 開かれた市政の推進、40 新しい自治体経営の確立

※下線部は前回調査（平成27年度市民満足度調査）と同じ分類となったもの。

※A～Dの「政策」は、簡略化して記載したもの。

4分類の中で本市が最優先に対応すべき政策は、「B：重要度が高く、満足度が低い政策」である。

具体的には、《産業・経済》分野では「17 企業立地の促進」、「19 雇用の安定」、《都市基盤整備・交流》分野では「20 魅力ある市街地等の形成」、「21 道路ネットワークの充実」、《環境・安全安心》分野では「32 防災・危機管理体制の充実」となっている。

○小矢部市に対する総合的な「満足度」

小矢部市に対する総合的な満足度を全体で見ると、『高い』との回答が 40.4%（「高い」3.1%+「やや高い」37.3%）、『低い』との回答が 42.6%（「やや低い」31.8%+「低い」10.8%）となっている。前回調査と比べ、『高い』は7.2ポイント下降した。

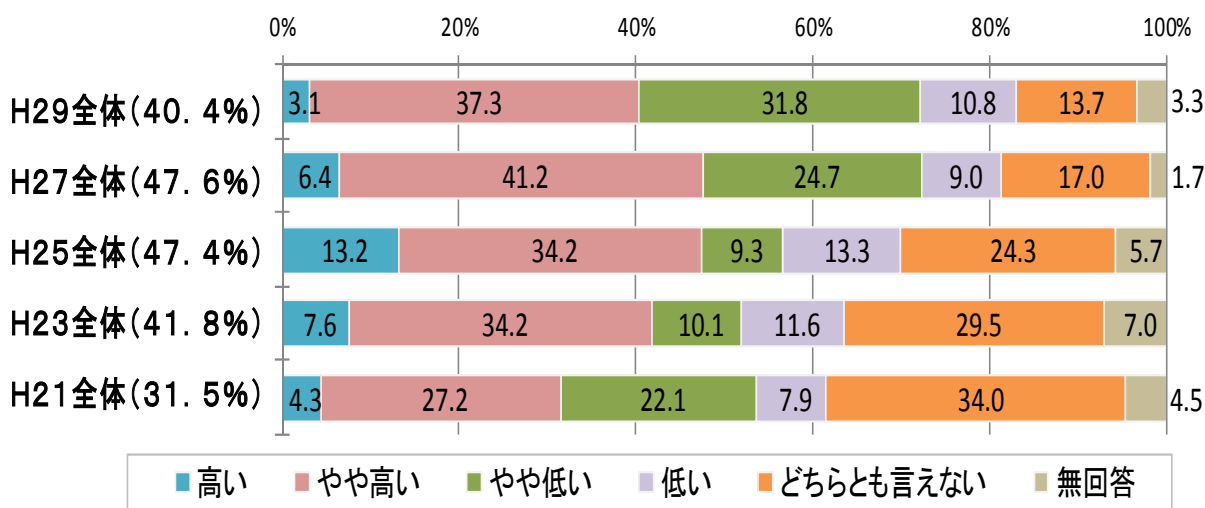
男女別にみると、『高い』との回答は、男性では42.0%となっており前回調査（44.9%）より2.9ポイント下降、女性では38.8%となっており前回調査（50.0%）より11.2ポイント下降した。

年齢別にみると、今回初めて調査対象とした「18～19歳」では『高い』との回答が50.0%となっており、他の年齢区分と比べ最も割合が高くなっている。なお、20歳以上の全ての年齢区分において前回調査と比べ『高い』との回答割合が下降しており、特に30歳代、60歳代の年齢区分では10ポイント以上、下降している。

一方、『低い』との回答割合をみると、全体では前回調査の33.7%から42.6%に8.9ポイント上昇した。20歳以上の全ての年齢区分において前回調査と比べ『低い』との回答割合が上昇しており、特に20歳代、50歳代、60歳代の年齢区分では10ポイント以上、上昇している。

さらに、「どちらとも言えない」との回答割合をみると、全体では前回調査の17.0%から13.7%に3.3ポイント下降しており、特に50歳代では9.8ポイントと大きく下降している。なお、上昇しているのは30歳代（7.1ポイント上昇）のみとなっている。

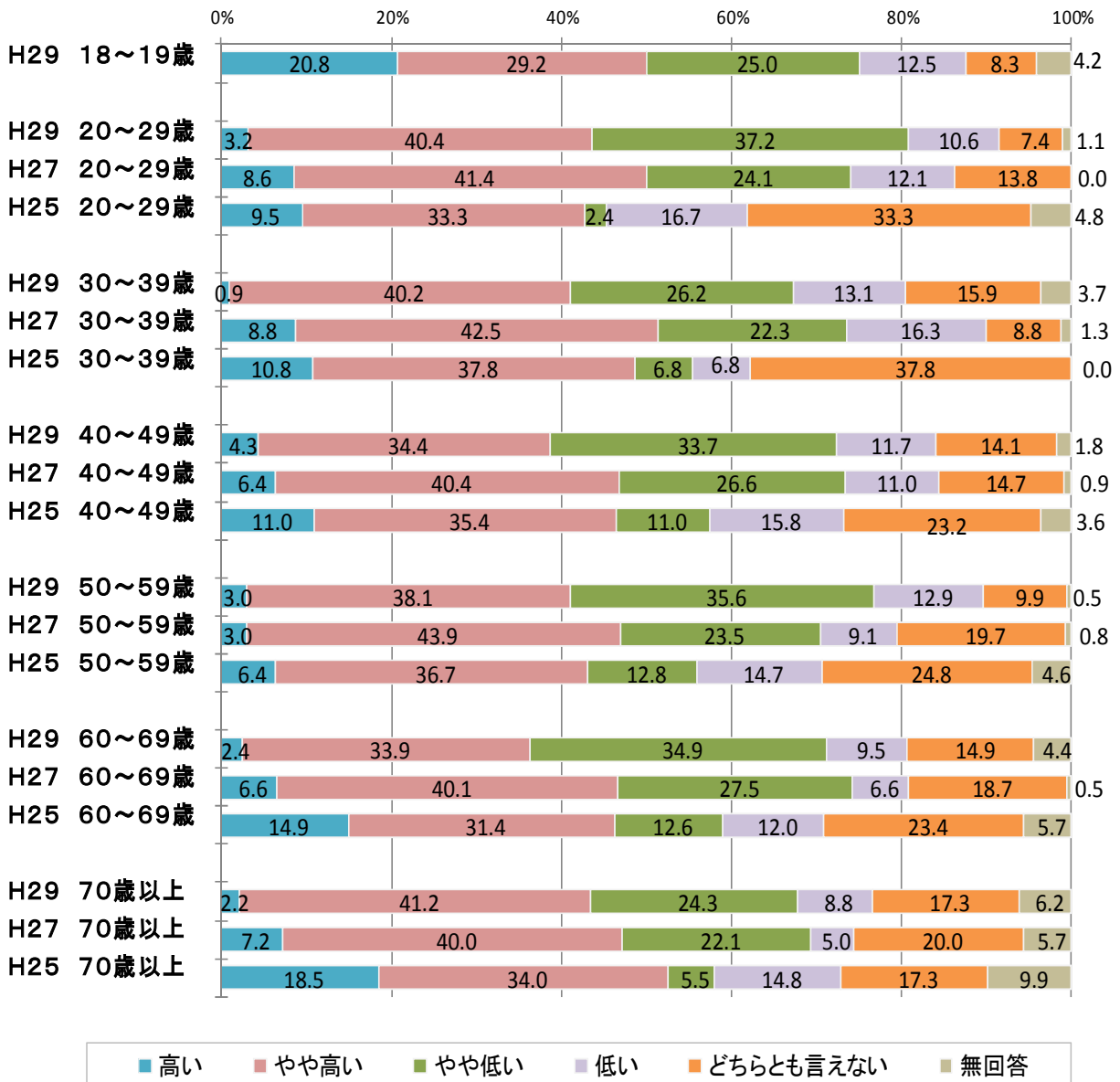
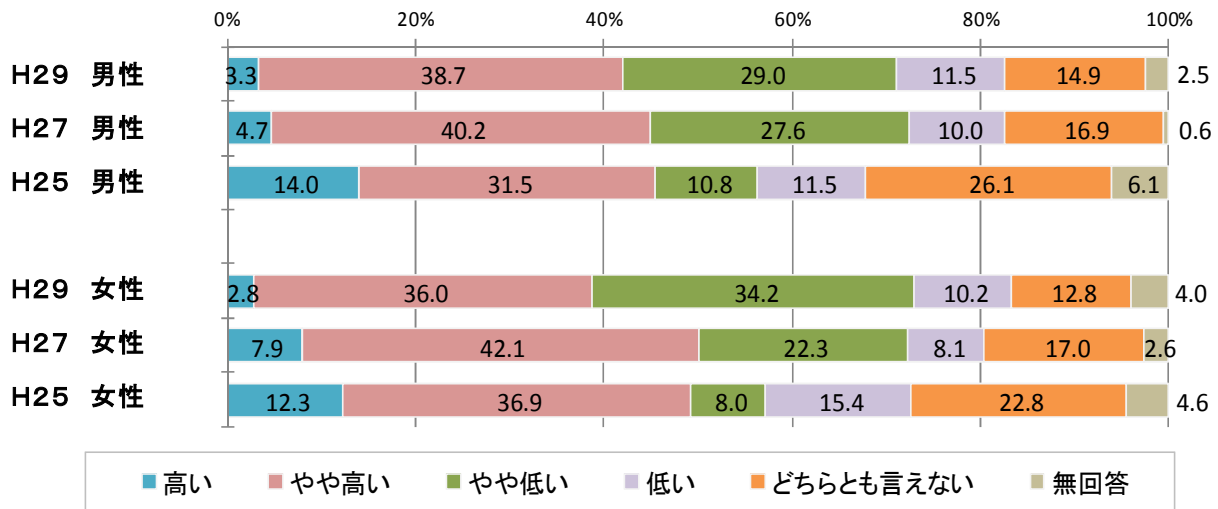
図表9 小矢部市に対する総合的な「満足度」
総合満足度（年度別・全体）



※図表9の（ ）は、「高い」と「やや高い」の回答の合計。

図表10 小矢部市に対する総合的な「満足度」

総合満足度（年度別・男女別・年齢別）



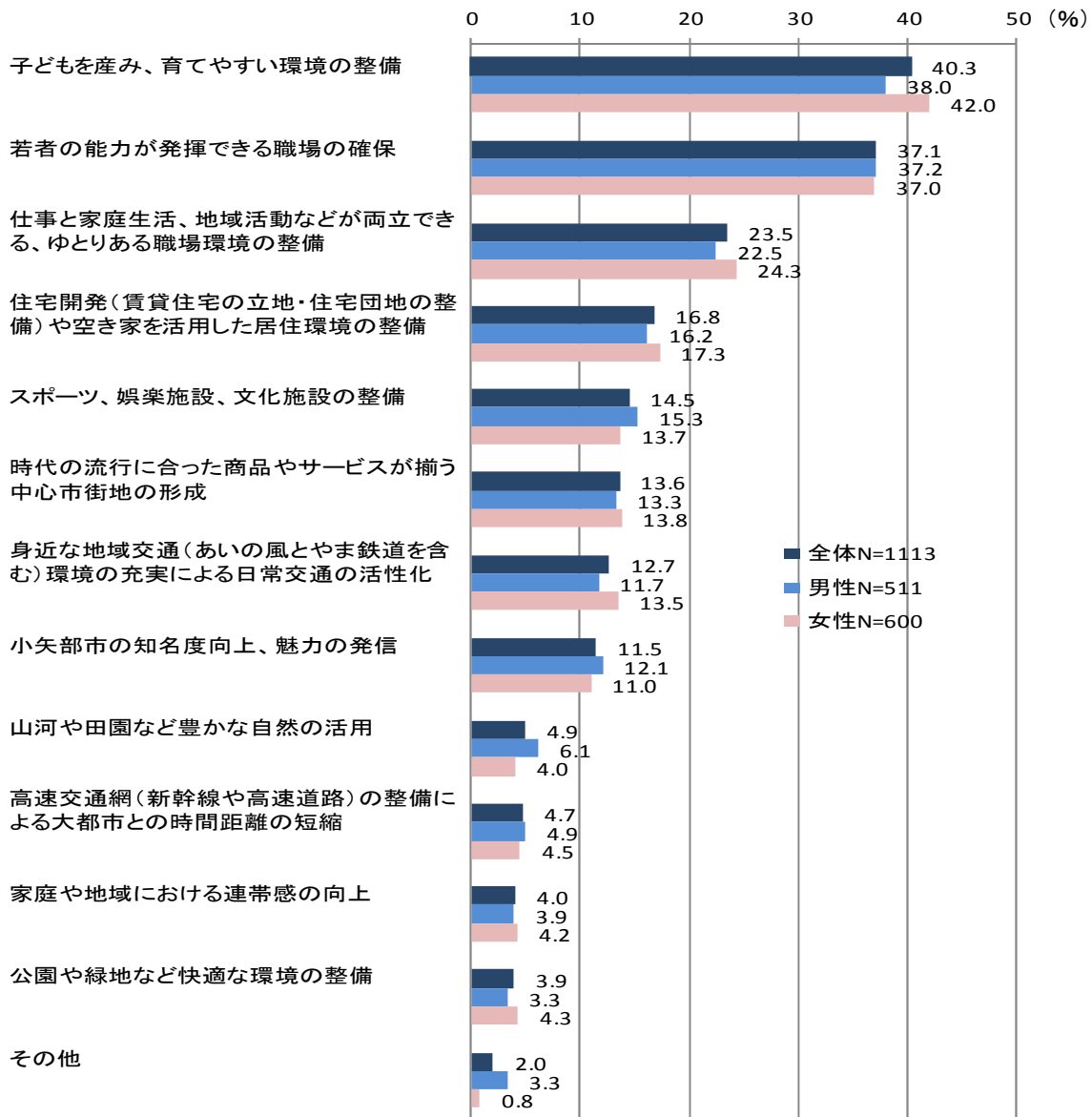
3. 今後のまちづくりを進めるうえでの課題について

問2 若者の定着・流入を進めていくために、あなたが特に大切だと思われることを2つまで選んで、番号に○をつけてください。

●子育て環境の整備と職場の確保が大切

若者が小矢部市に定着・流入するためには、回答者全体では「子どもを産み、育てやすい環境の整備」(40.3%)が大切とする回答割合が最も高く、特に女性の割合が高い。次いで「若者の能力が発揮できる職場の確保」(37.1%)となっている。

男女別、若者の定着・流入のために大切なこと（複数回答）



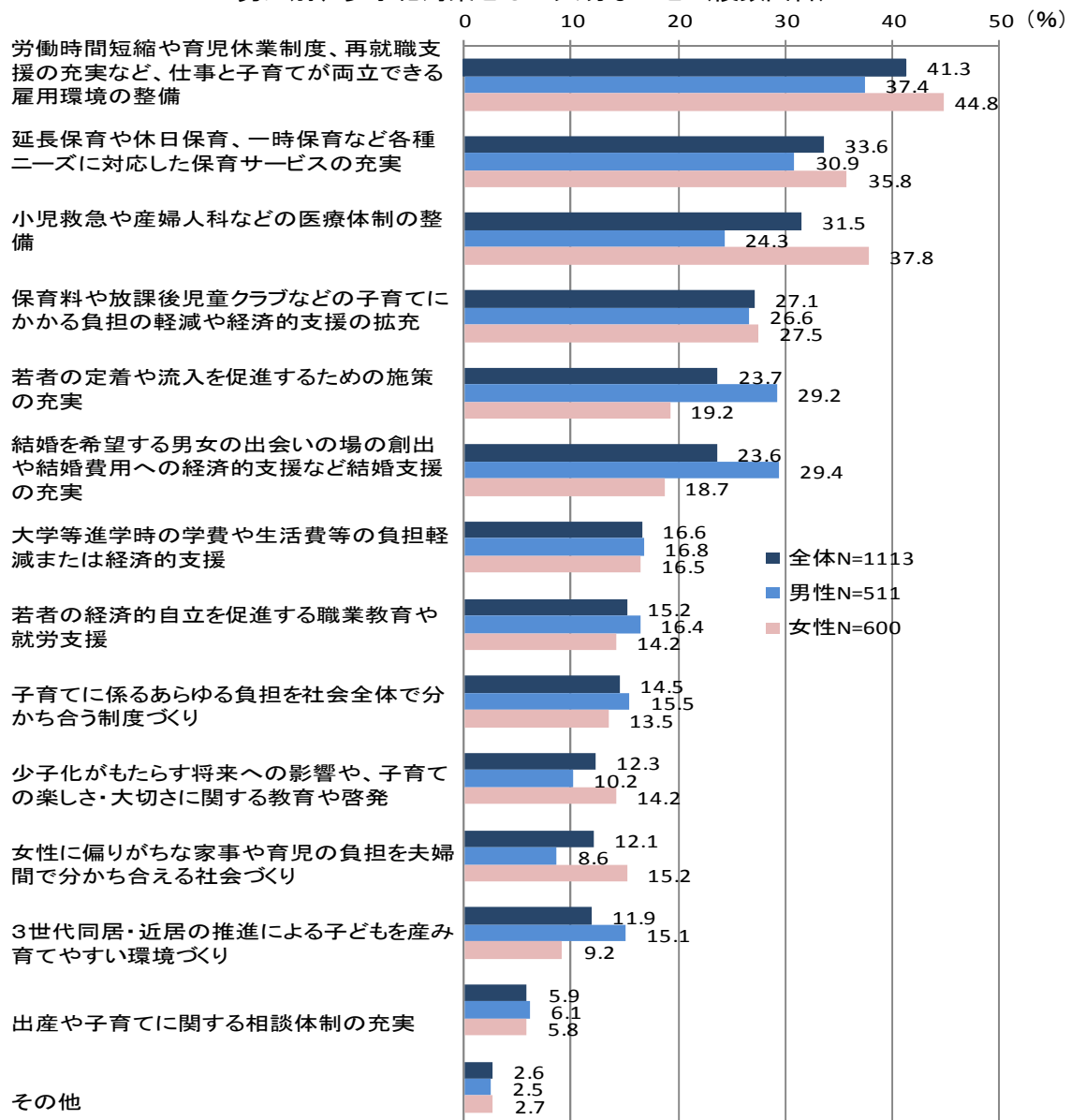
問3 少子化対策として、あなたが特に大切だと思われることを3つまで選んで、番号に○をつけてください。

●仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備が大切

少子化対策としては、回答者全体では「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」(41.3%)が大切とする回答割合が最も高く、次いで「保育サービスの充実」(33.6%)、「医療体制の整備」(31.5%)となっている。

男女別に比較して差が大きい項目は、女性では「医療体制の整備」(37.8%)との回答割合が男性に比べて高く、一方で、男性では「結婚支援の充実」(29.4%)、「若者の定着や流入を促進するための施策の充実」(29.2%)との回答割合が女性に比べて高くなっている。

男女別、少子化対策として大切なこと（複数回答）



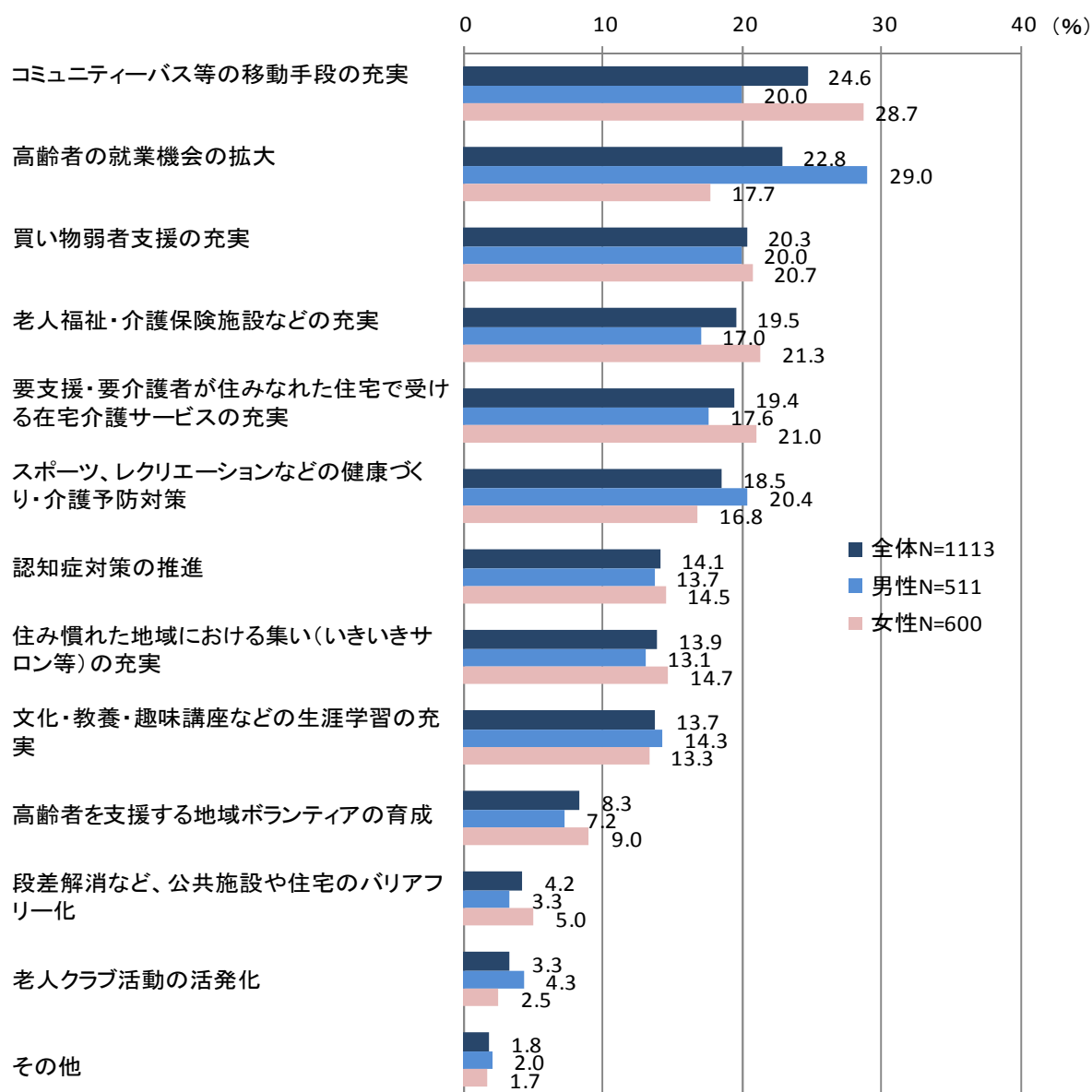
問4 高齢者の方がいきいきと暮らすまちづくりに向けてどのような環境整備が必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

●**移動手段の充実と就業機会の拡大が大切**

高齢者がいきいきと暮らすための環境整備としては、回答者全体では「移動手段の充実」(24.6%)が大切とする回答割合が最も高く、次いで「就業機会の拡大」(22.8%)、「買い物弱者支援の充実」(20.3%)となっている。

男女別に比較して差が大きい項目は、男性では「就業機会の拡大」(29.0%)との回答割合が女性に比べて高く、一方で、女性では「移動手段の充実」(28.7%)との回答割合が男性に比べて高くなっている。

男女別、高齢者がいきいきと暮らすための環境整備（複数回答）



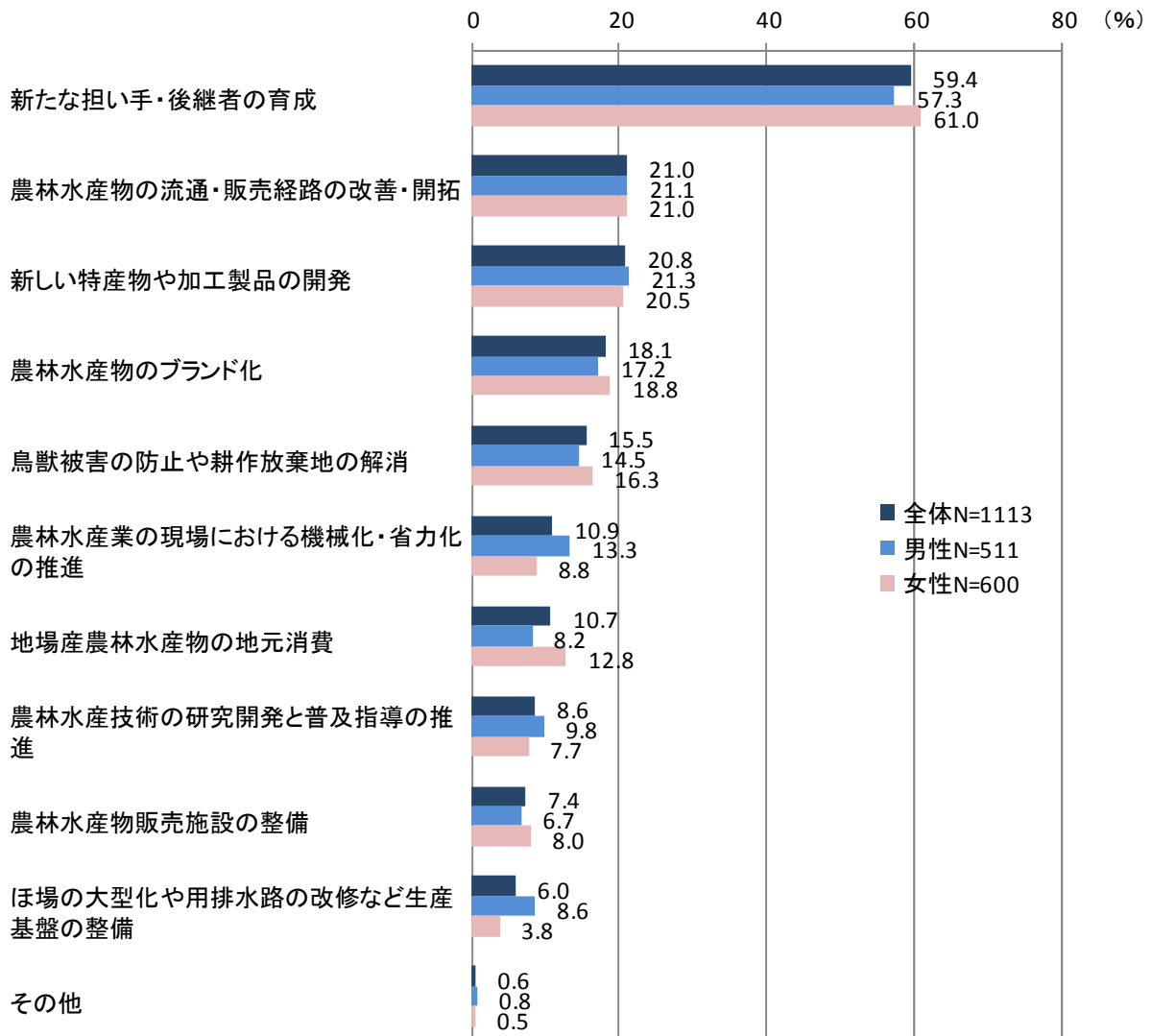
4. 産業の振興について

問5 力強く活気あるまちづくりに向けて産業の振興も重要な課題ですが、そのためにどのようなことを行っていく必要があると思いますか。各産業についてそれぞれ2つまで選んで、番号に○をつけてください。

【農林水産業】

農林水産業の振興のために必要なことは、「新たな担い手・後継者の育成」(回答者全体 59.4%)との回答割合が圧倒的に高い。次いで、「農林水産物の流通・販売経路の改善・開拓」(21.0%)、「新しい特産物や加工製品の開発」(20.8%)の順となっている。

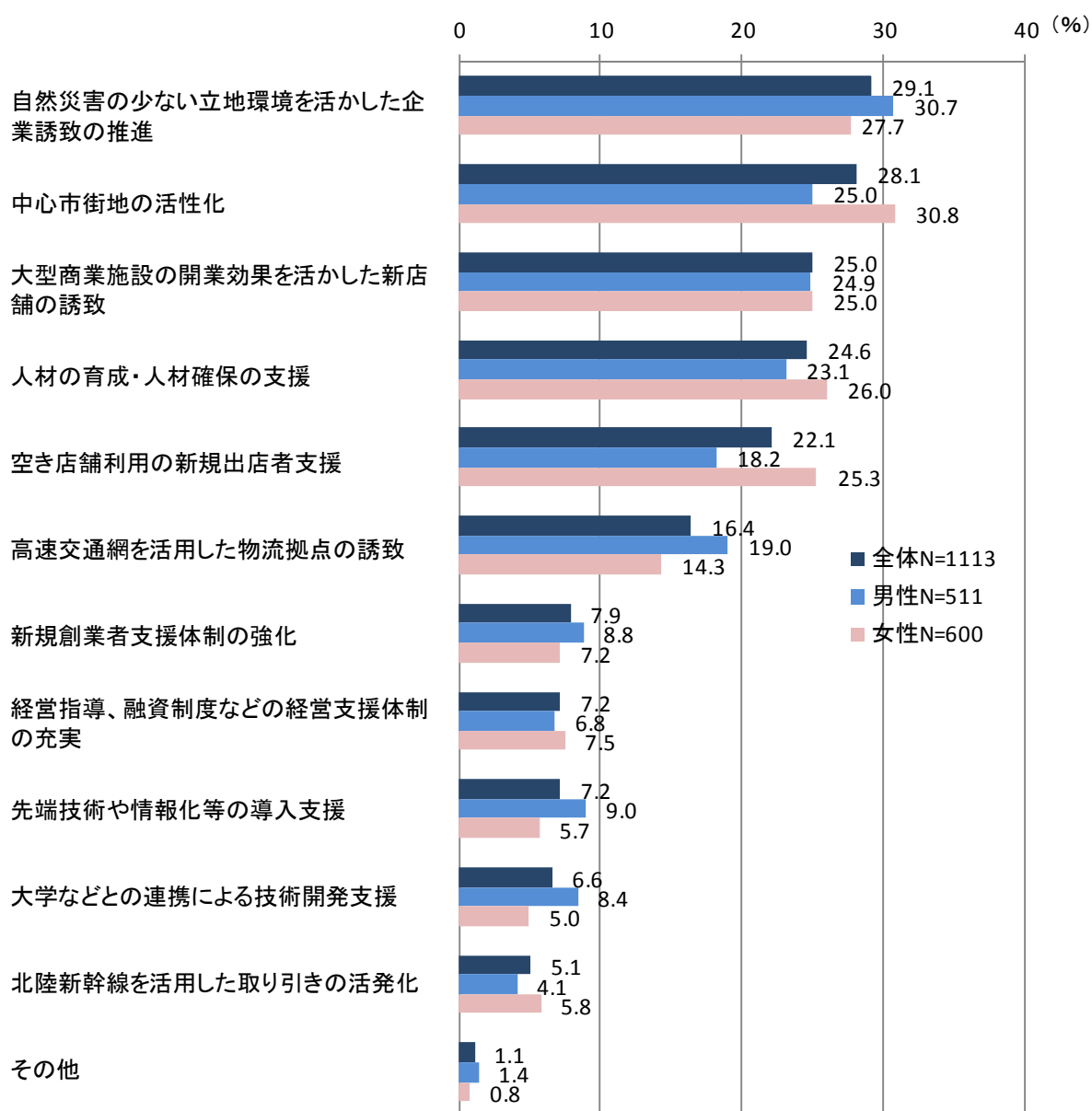
男女別、農林水産業の振興に必要なこと（複数回答）



【商工業・サービス業】

商工業・サービス業の振興のために必要なことは、回答者全体では「自然災害の少ない立地環境を活かした企業誘致の推進」(29.1%)との回答割合が最も高く、次いで「中心市街地の活性化」(28.1%)、「大型商業施設の開業効果を活かした新店舗の誘致」(25.0%)となっている。

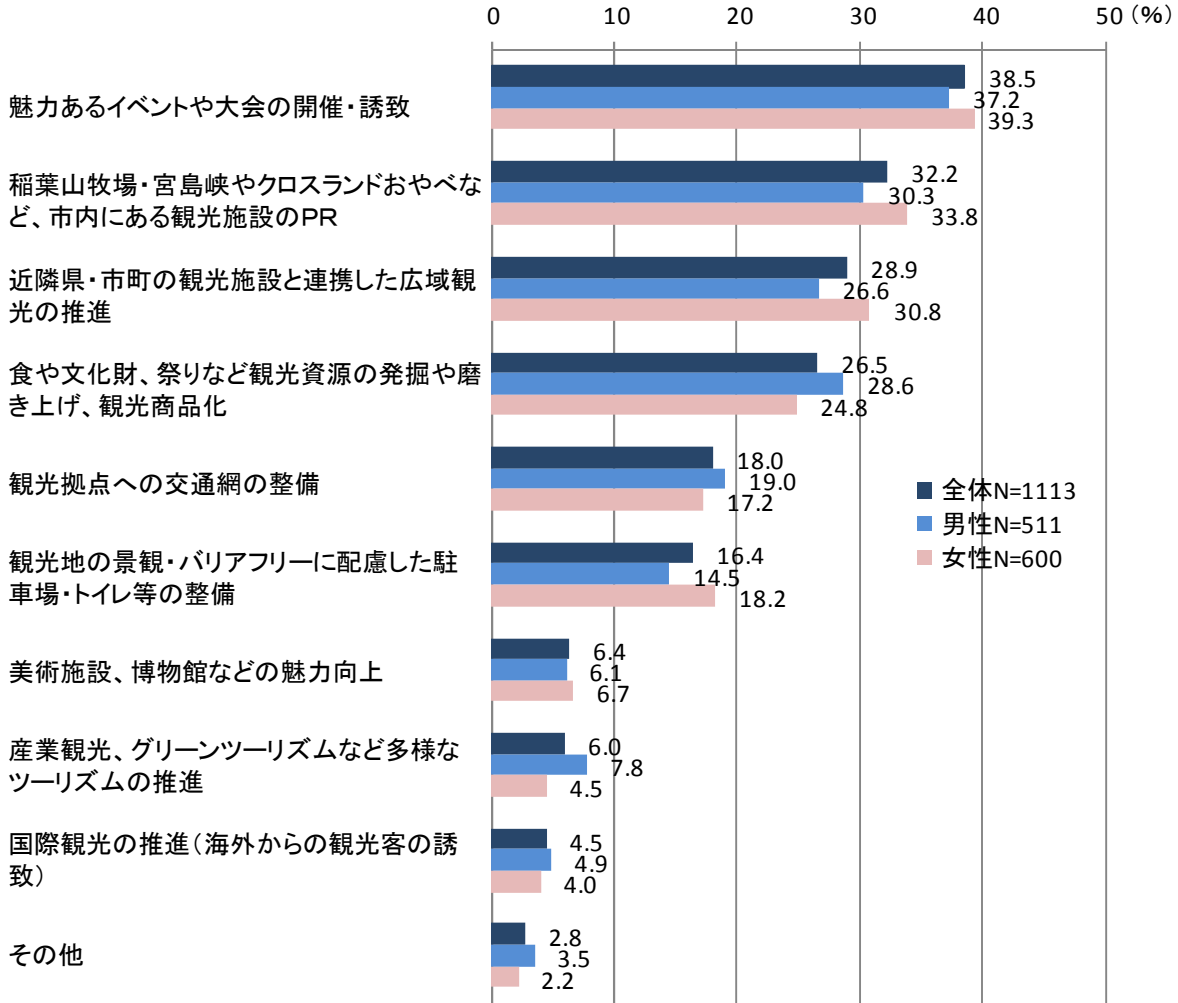
男女別、商工業・サービス業の振興に必要なこと（複数回答）



【観光】

観光の振興のために必要なことは、回答者全体では「魅力あるイベントや大会の開催・誘致」(38.5%)との回答割合が最も高く、次いで「市内にある観光施設のPR」(32.2%)、「広域観光の推進」(28.9%)、「観光資源の発掘や磨き上げ、観光商品化」(26.5%)となっている。

男女別、観光の振興に必要なこと（複数回答）



5. 地域活動や市政への参加について

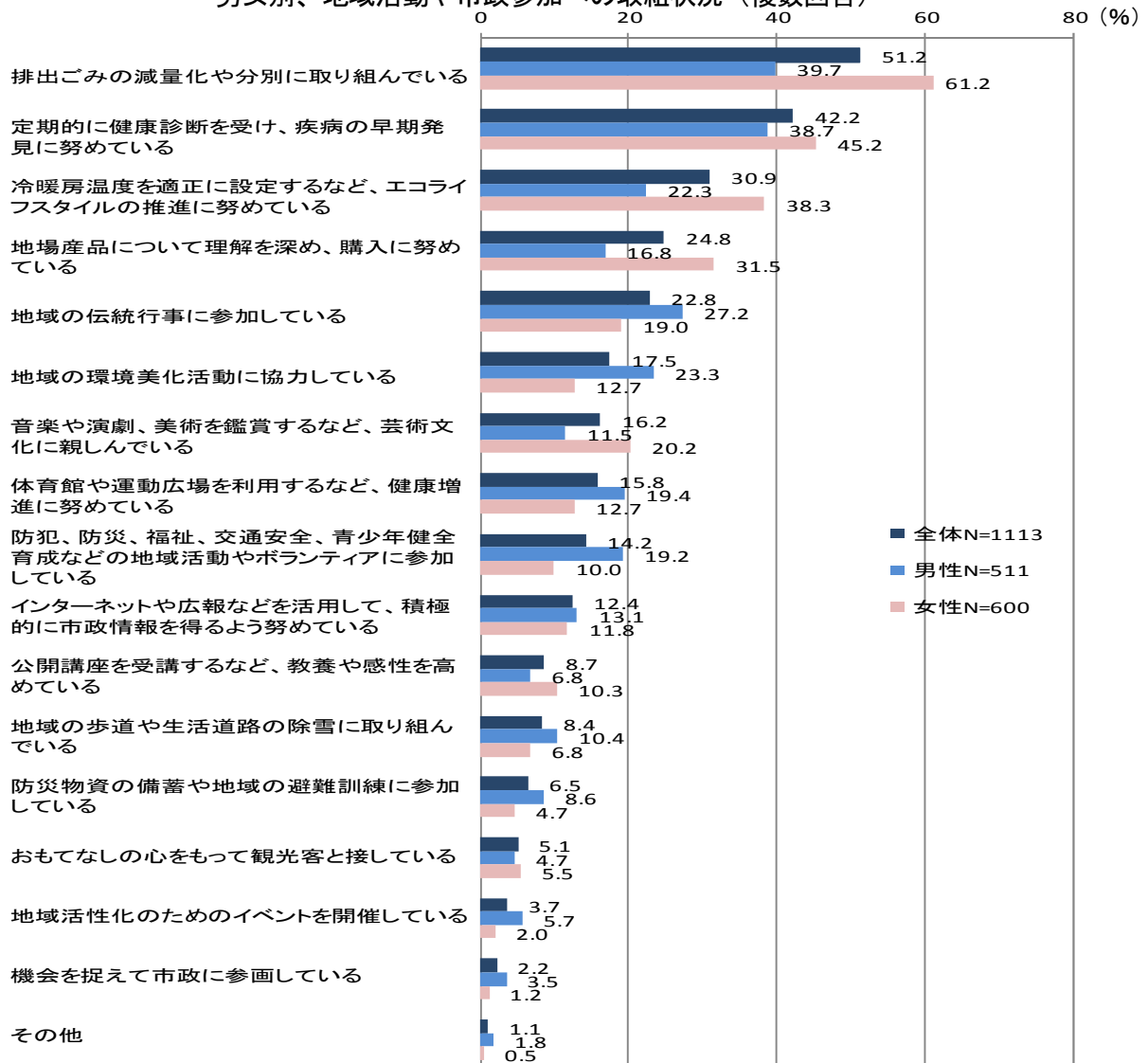
問6 小矢部市では、市民の主体的な行政参画を基本として、市民と行政との協働のまちづくりを進めています。あなたが普段から行っている取り組みについて、次の中からあてはまるものをいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

●排出ごみの減量化や分別、健康診断、エコライフスタイルの推進に対する取り組みが多い

地域活動や市政参加への取組状況としては、回答者全体では「排出ごみの減量化や分別」(51.2%)との回答割合が最も高く、次いで「健康診断」(42.2%)、「エコライフスタイルの推進」(30.9%)となっている。

男女別に比較して差が大きい項目は、女性では「排出ごみの減量化や分別」(61.2%)、「エコライフスタイルの推進」(38.3%)、「地場製品の購入」(31.5%)との回答割合が男性に比べて高く、一方で、男性では「環境美化活動」(23.3%)、「防犯、防災」(19.2%)、「伝統行事」(27.2%)との回答割合が女性に比べて高くなっている。

男女別、地域活動や市政参加への取組状況（複数回答）



6. 行財政改革について

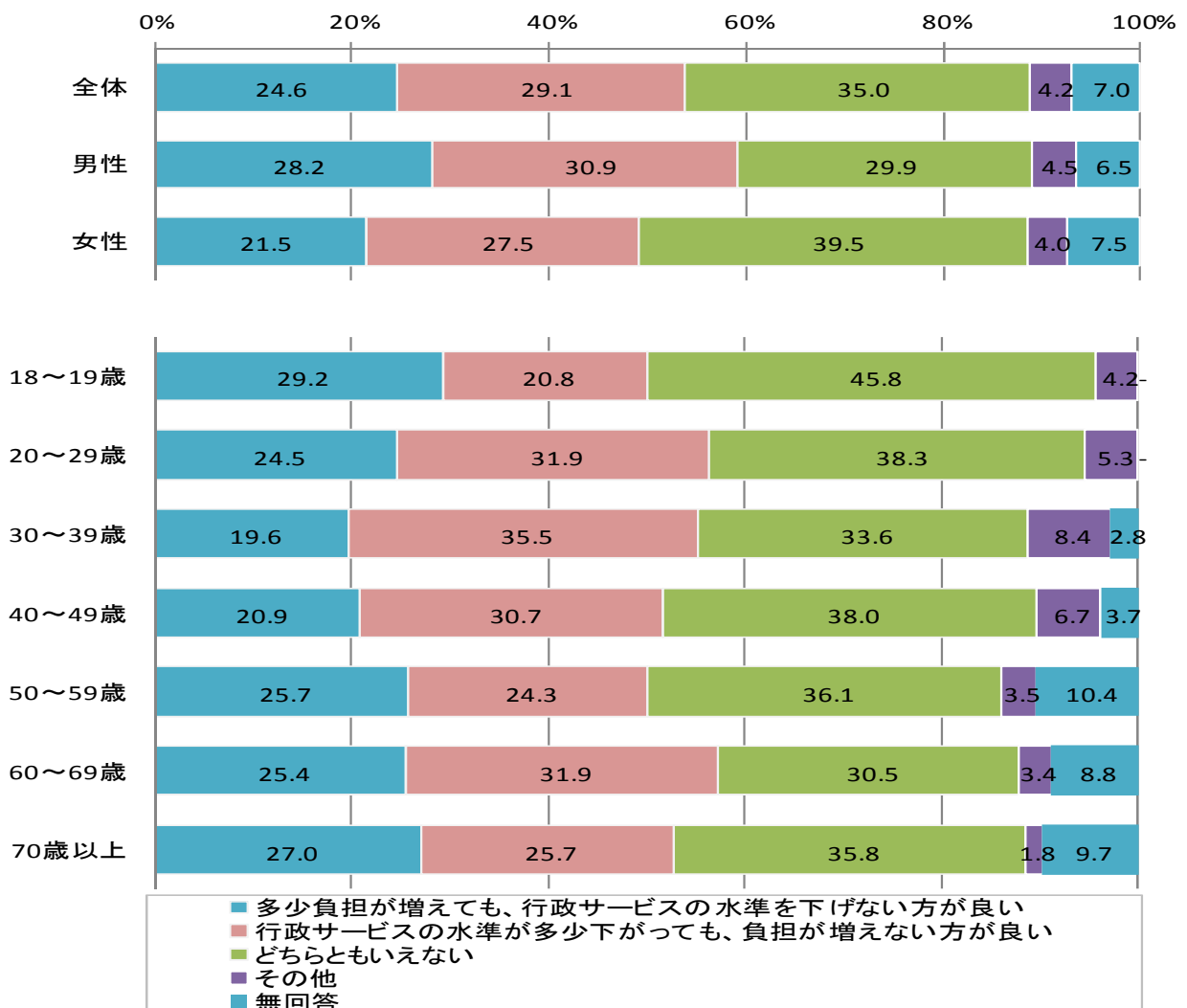
問7 地方財政は、地方交付税の削減に加え、高齢化等に伴い社会保障関連経費が増加を続けるなど、大変厳しい状況にあります。小矢部市において行財政改革を進め、経費の節減合理化に努めてもなお、行政サービスの水準と市民負担との関係を見直す必要が生じてくるとすれば、どのように考えられますか。あなたのお考えにもっとも近いと思われるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

●行政サービスの水準よりも負担減を

行政サービスの水準と市民負担との関係については、回答者全体では「行政サービスの水準が多少下がっても、負担が増えない方が良い」(29.1%)という考え方が、「多少負担が増えても、行政サービスの水準を下げない方が良い」(24.6%)を若干上回ったが、「どちらともいえない」(35.0%)との回答が約3分の1を占め最も割合が高くなっている。

性別、年齢別に見ても概ねその傾向となっているが、10歳代、50歳代、70歳以上の年代では「水準を下げない方が良い」が「負担が増えない方が良い」を上回っている。

男女別・年齢別、行政サービスの水準と市民負担の考え方

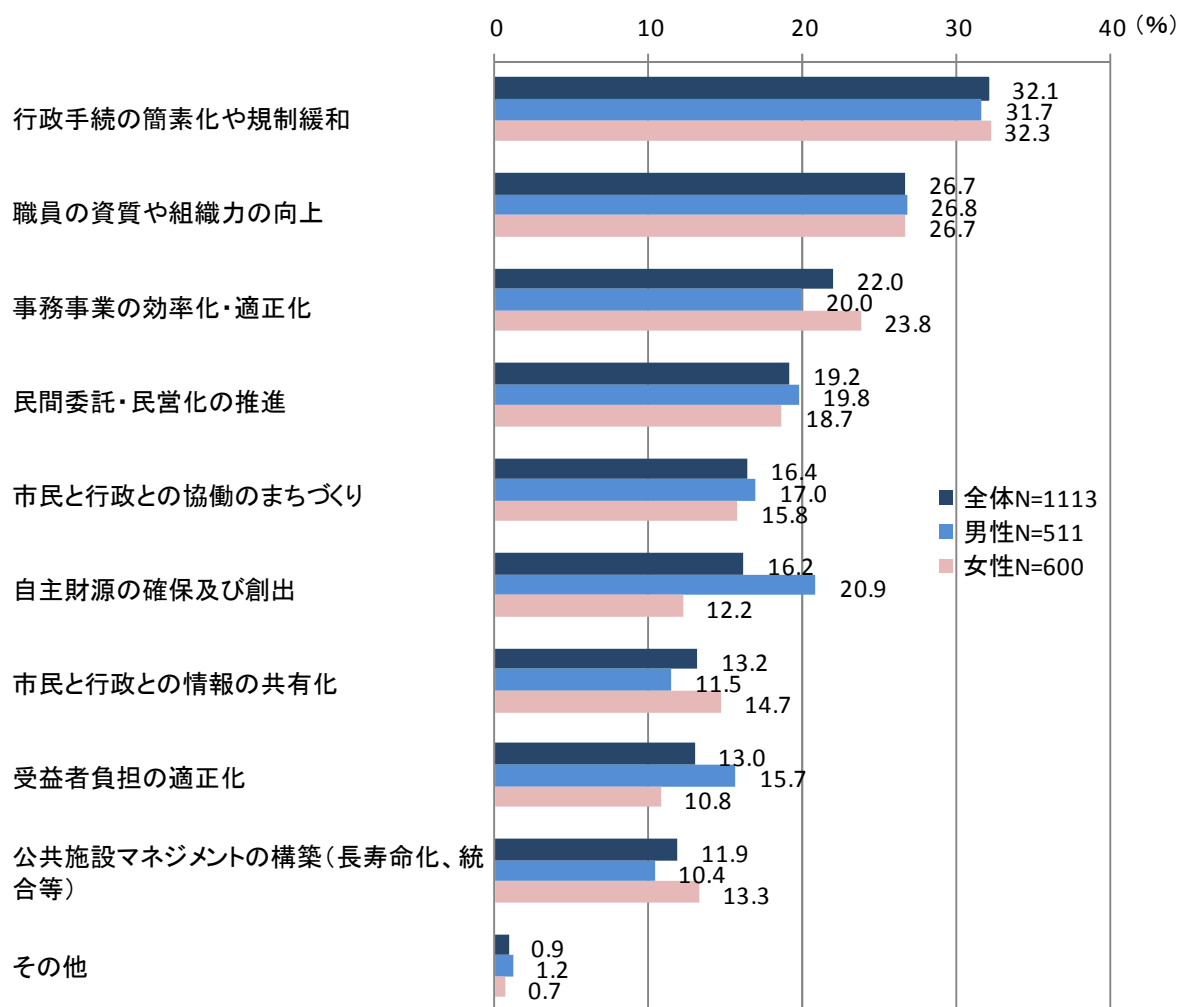


問8 小矢部市では、平成26年12月に策定した新行財政改革大綱に基づき、「小さな行政・質の高いサービス」などをテーマとして行財政改革に取り組んでいますが、どのようなことをより優先すべきだと思いますか。2つまで選んで、番号に○をつけてください。

●「行政手続の簡素化や規制緩和」を優先的に

優先すべき行財政改革としては、回答者全体では「行政手続の簡素化や規制緩和」(32.1%)との回答割合が最も高く、次いで「職員の資質や組織力の向上」(26.7%)、「事務事業の効率化・適正化」(22.0%)となっている。

男女別、優先すべき行財政改革（複数回答）



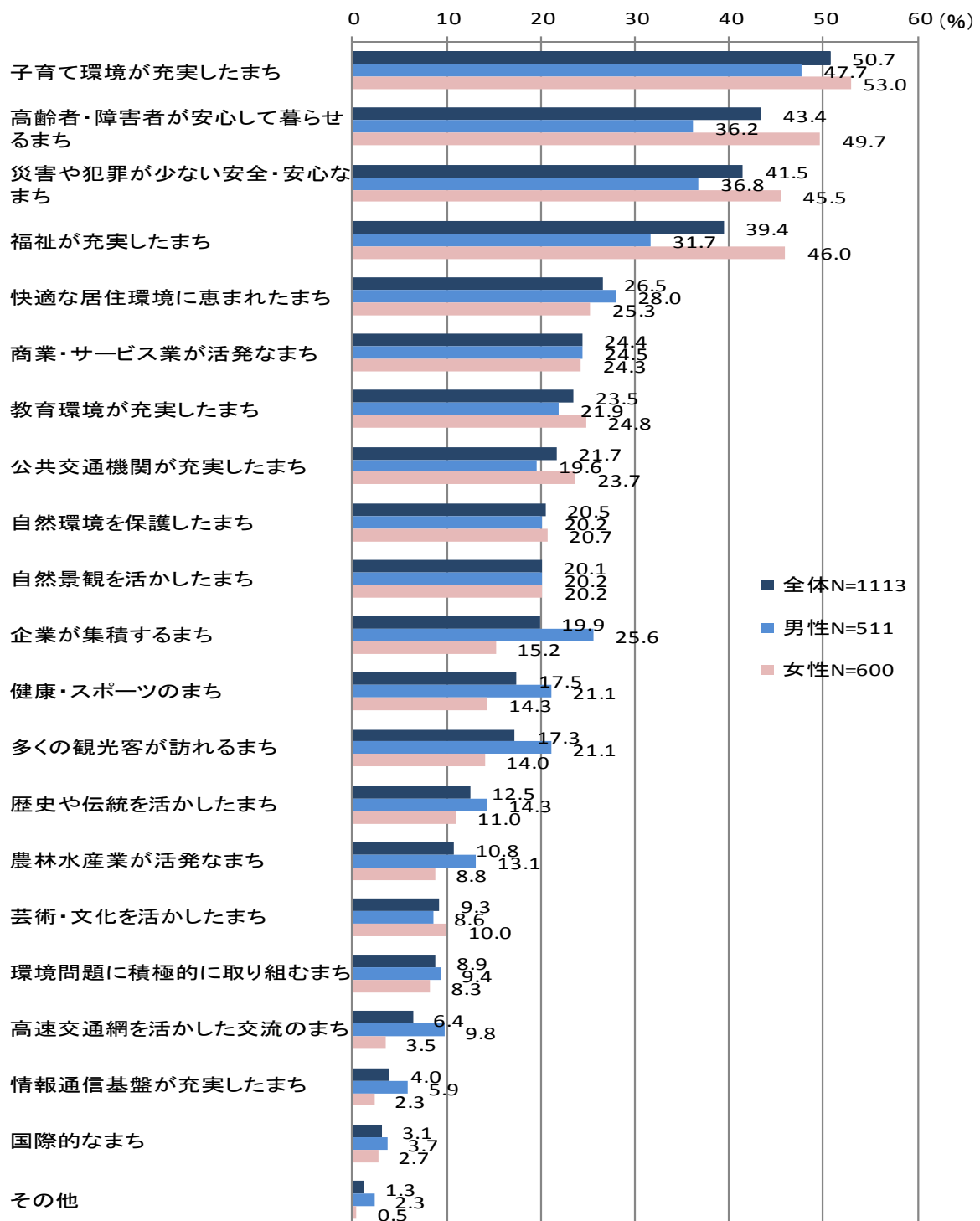
7. 今後のまちづくりの方向性について

問9 小矢部市として、どのようなまちづくりを目指して重点的に取り組んだ方がよいと思いますか。
5つまで選んで、番号に○をつけてください。

●「子育て環境の充実」を重点的に

小矢部市が今後、重点的に取り組むべきまちづくりとしては、回答者全体では「子育て環境が充実したまち」(50.7%)との回答割合が最も高く、次いで「高齢者・障害者が安心して暮らせるまち」(43.4%)、「災害や犯罪が少ない安全・安心なまち」(41.5%)となっている。

男女別、重点的に取り組むべきまちづくり（複数回答）



問10 小矢部市が今後のまちづくりに生かしていくべき市の特徴(自慢できるもの)はどのようなものだとお考えですか。歴史、文化、施設、産業、人物、観光など、どのようなものでもよろしいので、2つまで簡潔にお書きください。

項 目		回答件数
施設・建物		372
	クロスランドおやべ	102
	アウトレット	118
	メルヘン建築	64
	稲葉山牧場	25
	その他 施設・建物全般	63
生活基盤		237
	住環境・整備された住みよさ	39
	立地環境(金沢、富山の真ん中)	36
	子育て環境、教育、スポーツ指導	36
	公共交通・地域道路の整備	35
	高速道路、IC	26
	安全(犯罪、災害が少ない)	21
	医療・福祉、健康	17
	その他 生活基盤全般	27
歴史・伝統・文化		146
	祭り(火牛、夜高あんどん等)、伝統芸能	43
	歴史人物	20
	くりから、源平合戦	13
	その他 歴史・伝統・文化全般	70
観光		143
	稲葉山	25
	宮島峡	23
	メルヘン	15
	アウトレット	13
	その他 観光全般	67
小矢部市PR		88
	小矢部らしさ(静かなまち、何も無いよさ)	35
	メルギュー、メルモモ	26
	ホッケー	6
	その他 小矢部市PR全般	21
産業		76
	農業、食	45
	企業誘致、働く場の確保	28
	その他 産業全般	3
自然		55
	豊富な自然環境	47
	宮島峡	4
	その他 自然全般	4
人口		36
	若者・ファミリー層	24
	高齢者の活躍の場	6
	その他 人口全般	6
その他		27

○自由意見

市政について 433 件の意見やアイデアをいただいた。意見をまとめ、下表の 13 に分類した。

1. 行政、市政全般について 96 件		
年齢	居住地区	内容
20～29 歳	石動	市民と職員の円滑なネットワークを構築すべき
20～29 歳	宮島	ごみの分別が複雑、難しい。高齢者などわからなくなっている人もおり、大変に感じている。プラスチックのごみはなぜ分別が必要なのか。ごみ処理場が能力不足だからか。もう少し簡単で分かりやすい分別のしかたにしてほしい。ごみ屋敷の片付けがすごく大変です
40～49 歳	石動	保健関係の部が、市庁舎から離れていて不便
40～49 歳	石動	市政について特に言いたいことはないが、福祉（高齢者、障害者含む）政策が遅れているように感じる。今ある福祉施設ははっきり言って利用者も魅力を感じていない
40～49 歳	埴生	様々な方面への工夫と取り組みに感謝申し上げます。今後、持続可能な地域社会に向け、市民の意思を反映しつつも、より長期的視野に立った取りまとめに期待します
50～59 歳	津沢	20 年後、30 年後のことを考えた施策を。このままではジリ貧
50～59 歳	藪波	市民が行きやすい市役所・お客様対応のできる職員育成をお願いします
60～69 歳	南谷	すべての事に対して無駄の削減へ見直しを行い、行政改革へとつなげる
60～69 歳	松沢	市への返却物が郵便経由となっておりますが、庁舎入口に投函箱を設けてはどうですか
60～69 歳	正得	市民の声に耳を傾け、要望をどうしたら実現できるか、職員とともに考える。市民が自ら主催者として行動するようになることを目指す
60～69 歳	北蟹谷	市民課の対応は特によいです
60～69 歳	津沢	職員のサービス精神欠如の改善（高圧的な言葉、相談以外のことは話さない）住民ファースト（目線が市長や職員ではなく）に意識改革をしてください
70 歳以上	石動	懸命な取り組み感心いたします。他地域を真似るでなく、小矢部独自の今を育成充実してください
70 歳以上	宮島	めったに市役所に行く事はありませんが、市役所一階のロビーは市民をやさしく迎えようと色々と気配りしてくださっています。受付では笑顔で親切に対応して下さいますこと感謝し、これが続きますようにと心から願っております
70 歳以上	津沢	視察をしてまねるのでなく、必要なものなのかよく考えて、維持費と利用回数を天秤にかけ、借金を後世に残さない。今ある設備を大切に後世に残すことも守りの一つではないでしょうか

2. まちの活性化、住みやすいまちづくりについて 63 件		
年齢	居住地区	内容
20～29 歳	南谷	早期の石動駅南口の開設を願う
20～29 歳	埴生	「メルヘン」への特化。住宅、施設、これから建てていくモノを普通の建物にしない。ロンドンのような街並みが日本にあってもいいと思います。(外灯等周辺設備も含めて)
30～39 歳	南谷	富山県には大きなイベントが行える施設がありません。ドームやスタジアムのような施設を誘致して、ライブイベントやスポーツイベントができれば、若者が集まり、活性化できるのではないかと思います
40～49 歳	水島	上下水道、融雪等、生活基盤の整備充実を
40～49 歳	東蟹谷	市中心部の商店街等で買い物したいが、駐車場がなく、行きたくても行く気になりません。駐車場を増やしてください。東蟹谷地区は子供たちが遊べる公園がない。小矢部運動公園内に遊べる場所、アスレチック広場(ランニングコース、散歩コース)など自由にに行ける場所にしてほしい
60～69 歳	子撫	石動商店街の中で、空店舗となっている店を無料又は低賃金で貸し出し、若者又は起業者の拡大を図るため、市が中心となった商店街の改革を構築する
60～69 歳	水島	若い方が定住しないと人口が増えないので、何かしらの工夫が必要だと思う
70 歳以上	津沢	津沢の町が商店も少なく、どんどん衰退していく様に思う。もっと活気のある町になる様、皆で考えて取り組むべきである。町の中心に大きなマーケットがあればいい(買物する店が少ないし車に乗れなければ生活するのに困る)

3. 公共施設、商業施設について 48 件		
年齢	居住地区	内容
40～49 歳	石動	子供用品が充実したお店を誘致してほしい
40～49 歳	埴生	子供が遊べる公園が少ない。公園を増やす。児童クラブは、井波に住んでいた頃は働いていない人の子供でも預けられたのに、小矢部は無理らしい。(井波は、そして無料)誰でも利用できるようにしてほしい。用水路、ため池、側溝(ドブ)は子供が入れないようにしてほしい。温水プール作って欲しい
40～49 歳	津沢	津沢地区にスーパーがないため不便。小規模のお店でもよいので、あったら大変助かると感じています。クロスランドの公園にはよく家族連れでたくさんの方々が来ておられる。もう少し食べ物のお店を出店して、お昼など利用してもらえようとしたらどうか
50～59 歳	石動	バーベキュー等出来る所を作って欲しい。河川敷(小矢部大橋)とかバーベキュー施設を作る
50～59 歳	埴生	小矢部市が一見に分かる大きな案内板設置など
50～59 歳	北蟹谷	休日、アウトレット以外、娯楽、ショッピングを求め石川県、高岡、砺波へと行ってしまふ。もっと若者、家族が楽しめる施設があれば良いと思います
60～69 歳	石動	中高年、老人用のスポーツ施設(屋内用)があれば良いと思っています
無回答	無回答	アウトレット付近へ娯楽施設の誘致

4. 子育て・教育、少子化対策について 39 件		
年齢	居住地区	内容
30～39 歳	水島	子育て世帯への支援を！（こどもを増やしたいのなら）2人目、3人目を悩んでいる人は経済面で悩む人が多いと思う
30～39 歳	水島	子どもの教育助成、教育無償化ではなく学習塾費の助成
30～39 歳	東蟹谷	県内高校の再編が新聞紙面に掲載されていますが、市内の小中学校の統合も検討の余地があると思われます。大胆に小・中各々1校のみにするとか。子育て世代にやさしい街づくりとして、子育て世帯の住民税を全国で最も低くするなどより税制優遇する
40～49 歳	埴生	雨の日でも子供を連れて遊べる施設を作ってほしいです
40～49 歳	北蟹谷	子育て世代が小矢部に住みたいと思う環境を整えて人口増加につながると良い。クロスランドやアウトレット、稲葉山等のPRや十分な施設を作ることでもっと魅力あるまちになると思う。空き家のリノベーションを若者に向けて発信、補助
60～69 歳	埴生	人口を増やす施策が必要
60～69 歳	藪波	少子化対策に傾注。若者が定着する、流出を防止する施策の充実

5. 公共交通、道路整備について 30 件		
年齢	居住地区	内容
20～29 歳	若林	石動駅の整備は早急にすべきだと思います。特にトイレ
40～49 歳	津沢	高齢者の方が車の運転免許を返したくなるくらいコミュニティバスのバス停を増やすなど、もっと使いやすくしてほしいです。バス停がゴミ集積所ぐらい近かったら、またタクシーのように予約ができれば便利です
50～59 歳	石動	砺波市が国道156号線を基幹として発展をしてきたように、小矢部市も道路4車線化（基幹道路）や、計画的な道路網整備（観光施設、中心街等への）が必要だと思います
50～59 歳	埴生	道路を整備して、他方面からの人を呼べるような市になってほしい
60～69 歳	松沢	高齢者ドライバーが免許を早く返納できるような交通手段の充実化がとても必要だと思います。母が不便という理由で免許を返納してくれません。困っています
60～69 歳	正得	コミバスをもう少し細かく通るようにしてほしい
60～69 歳	荒川	高速道路、また石川県との接する地域の特色を生かして将来の発展に期待したい

6. 医療、福祉について 23 件		
年齢	居住地区	内容
40～49 歳	荒川	医療介護に関する取組。とくに疾患予防につながる情報提供、イベント開催を今後も続けてほしい
50～59 歳	埴生	障害者に対する見守りを強化していただきたく願います
60～69 歳	石動	市内病院に産婦人科がなく、数年前に痛ましい事故がありました。ぜひ中央病院に産科を設置し、市内で出産できるようにしてほしいです
60～69 歳	石動	健康面からいうと、健康度がよくない。県内でもがん、糖尿病で死ぬ人の割合が多いと聞く。もっと予防活動に力をいれる体制が必要。少子化+病気の人が多いのでは、今後心配です。保健、介護予防の保健師など専門的な人材は減らさぬよう
60～69 歳	宮島	月 1 回お寺さんがおまいりに来られます。それぞれの家庭環境を把握されています。そのような方を福祉のいろいろな役をしてもらったらいいいのではないのでしょうか
70 歳以上	若林	現在は中学校まで医療費無料ですが、高校まで無料だったら助かります

7. 市議会について 22 件		
年齢	居住地区	内容
30～39 歳	石動	市議会議員をもう少し減らしてもいいのでは
50～59 歳	石動	議会・委員会を土日に開くようにする。そうすれば市民の関心も必然的に高くなると思われる。また、見学することで、議員について真意を問いただすこともできる。そうすれば、次回の選挙で違う議員を応援となることもありえる
50～59 歳	無回答	若者と女性議員が少ない
60～69 歳	石動	議会自体の若返りが重要
60～69 歳	津沢	議会の透明化、積極的な傍聴の PR
70 歳以上	石動	市民の代表として議員さん方が多くいらっしゃいます。今年度県内でいくつかの市によく活動が報道されました。公正で未来の若者が喜んで住める市政活動を宜しく願います
70 歳以上	石動	CATV で市議会を視聴することがありますが、議員の発言のほとんど全てが行政への追認のように思え、議員からの提案があまりないように思えました。もう少し議会の活性化を望みたい

8. 高齢者について 19件		
年齢	居住地区	内容
40～49歳	東蟹谷	高齢単身の世帯、高齢のみの世帯が多くなった時の交通サービス等の不安がある。現在、同居することによって高齢者を支えること（交通など）、支えてもらえること（屋敷の管理など）が、この先できなくなったときにも安心して暮らせる街であってほしい
60～69歳	荒川	高齢者が暮らしやすい環境作りの推進をお願いしたい
60～69歳	津沢	動ける高齢者を利用するとよい。小さな力の働き手は沢山います
70歳以上	若林	高齢化社会となっている現状から、助け合い福祉活動の重要性は充分理解出来る所ですが、老人が老人介護、見回り訪問等のボランティアでの活動には限界が見える所から、行政主体に民間委託等を活用した行政機関の担当課による支援が必要と感じます
70歳以上	津沢	高齢となり出かけるのも大変なので地区の公民館の催し物が楽しみとなるので、いろいろあるといいと思います

9. 企業誘致、働く場について 18件		
年齢	居住地区	内容
20～29歳	埴生	子育て世代の定着と流入を進める。企業の誘致と商業施設の活性化に尽力してほしい
30～39歳	松沢	アウトレットができて賑わいが出たが、買物に便利との印象が薄い。商業の店舗や企業誘致することで、仕事を増やし、利便性も向上するとよいのではないかと思います
50～59歳	埴生	企業誘致にもっとちからを入れ、若者の働く場所の提供を考えてほしい。企業からの税をもう少し増やせたら市民税も下げられ他市からの移住も期待できるのでは？同じ高速道路のインターがありながら、砺波市と比べると小矢部市は何か魅力が足りないのでは？インター近くが寂しいとおもう。どこが違うのだろう
70歳以上	石動	市に働くところがふやしてほしい
70歳以上	荒川	大型商業施設（三井アウトレット）誘致により若者が多く見られるようになった。若者が住める環境、職場を整備し、若者の市に変える必要がある

10. 観光について 16件		
年齢	居住地区	内容
20～29歳	石動	食のイベント。B1グランプリ等
30～39歳	石動	祭りがたくさんあって楽しい。毎年楽しみにしている。今年もこの時期がきたなど楽しい気持ちになれるので、続けてほしい。イベント情報がわかりにくいいため、HP等の充実をお願いします
60～69歳	石動	宮島峡や稲葉山の施設をさらに充実させ、PRに力を入れ、多くの人々が訪れるようになればいいですね
60～69歳	正得	津沢の夜高あんどん、石動曳山、各地区獅子頭等の年間展示場を稲葉山か宮島の子撫ダムか、集客したいところに建ててアピールする
70歳以上	水島	近隣県、市町の観光施設と連携した広域観光の推進

11. 図書館について 13件		
年齢	居住地区	内容
40～49歳	石動	駅周辺の開発では、市民が利用しやすいものである上に、市外からも魅力のある施設があれば良いと思う。図書館棟の他に、オープンカフェやおしゃれなショップなどもあるのはどうか。子育てママが子供と利用する施設や生涯学習の施設も併設してあると便利そう
40～49歳	南谷	石動駅近くにもうすぐ図書館ができる予定ですが、閉館時間をもう少し遅くしてほしい
50～59歳	松沢	「おとぎの館」図書館は景観が良くない。「おばけ屋敷」みたいな風に見える。改善していくべきでは
60～69歳	石動	今度出来る図書館に期待大です
60～69歳	南谷	石動駅の図書館併設に伴い、行政の窓口としての機能も提供していただきたい。それにともない駐車場の無料や低額料金の設定をしてほしい。市民にとって文化施設として高い機能を持った駅前にしてほしい。それが駅前全体の活性化につながると思う

12. 安心・安全、防災について 9件		
年齢	居住地区	内容
50～59歳	若林	交通量が多く、学生が自転車でよく通る砺波小矢部線を早く広く安全な道にしてほしい
50～59歳	東蟹谷	安心安全な街づくりで、夜間車で走ると、どこを通っても暗いです。街灯（道路照明、防犯灯）が必要だと思います。また、設置される時は、小矢部市で統一性のある（メルギュークンの形やイラストが入るなど）デザインにしたらどうかと思います
60～69歳	石動	自然災害に強いインフラを整備してほしい
60～69歳	水島	防災、福島県のように原発事故にあうとも限らない。小矢部市避難経路地図が必要かと思う。風向きで小矢部市にも被害が及び時もあるから？
70歳以上	石動	防災スピーカはあるが、本当に静かな時は伝えていることはわかるが、すこしの西風でも何を言っているのか全然わからず、防災を知らせる役を果たしていない
70歳以上	石動	近所でも空き家が多く目につきます。今にも崩れ落ちそうに傷んでいる様子を見るにつけ、何か対策が必要と考えます。災害や犯罪に直接つながることです。全国的な傾向ですよね。空き家対策の進んでいる県や市の事例を参考にされて、対策を早急に立てるべきだと思います。人口が集中しすぎて困っている中央の人達には理解しにくいのですが、地方から強力に訴え、法改正にまで持っていければよいと思います

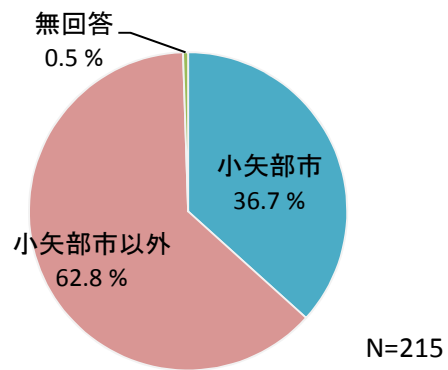
13. その他 37件		
年齢	居住地区	内容
30～39歳	埴生	メルヘンに頼りすぎなイメージがあります。マイナースポットに目を向けても面白いのではと思います
30～39歳	荒川	小矢部市内企業同士の街コンなど。会社に独身者が非常に多いので
50～59歳	埴生	「聖地」を作った方が良いと思います。映画で利用してもらうのがはやい。特にアニメ。ヒットするような作家に背景を描いてもらう
60～69歳	石動	城山公園やそれと繋がる林道上野本線、さらに林道から途中宮中まで下る遊歩道も含めた除草や清掃（道路の落ち葉の除去、ゴミ拾い）を市の委託を受けた業者だけに頼らず、市民のボランティアを募り、年2回程度、除草、清掃を行う組織作りはできないだろうか
60～69歳	荒川	農業についてもっと町でしか取れないものを探して、みんなで取り組む

B 高校生アンケート調査

問1 回答者の概要について

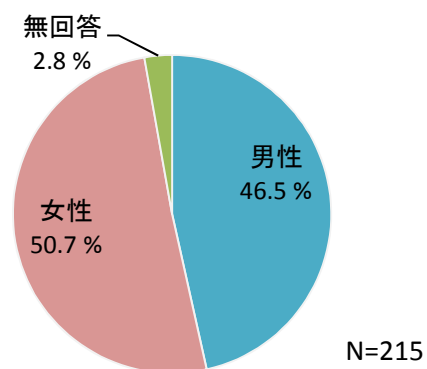
(1) お住まい

居住地は、「小矢部市」が36.7%、「小矢部市以外」が62.8%となっている。



(2) 性別

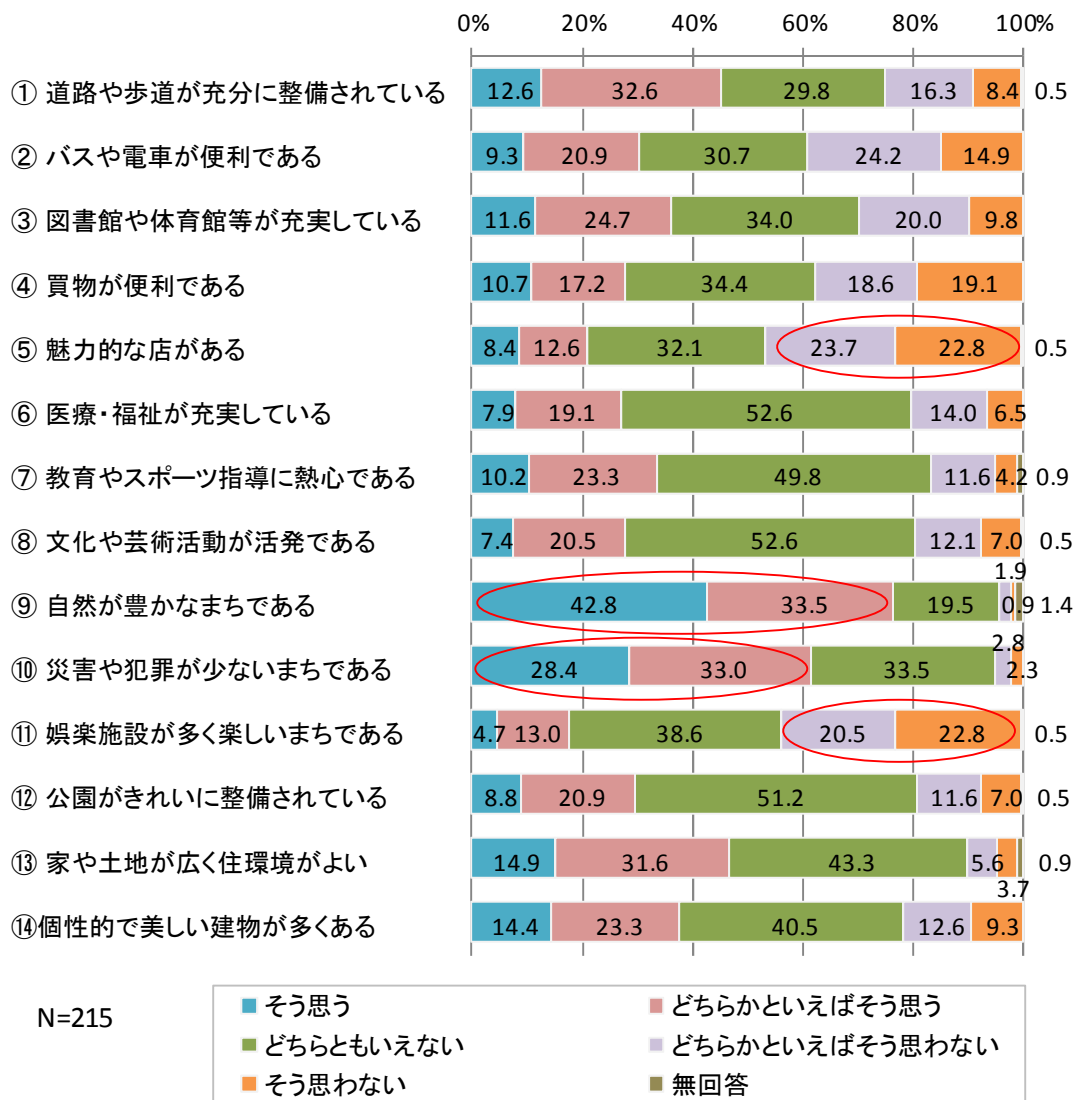
「男性」が46.5%、「女性」が50.7%となっている。



問2 あなたは小矢部市をどのようなまちだと思いますか。次の①～⑭の項目について考えに近いものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

小矢部市に対する高校生のイメージとして、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」とする割合が高いものとして、「⑨自然が豊かなまちである」、「⑩災害や犯罪が少ないまちである」があがっており、ともに6割を超えている。

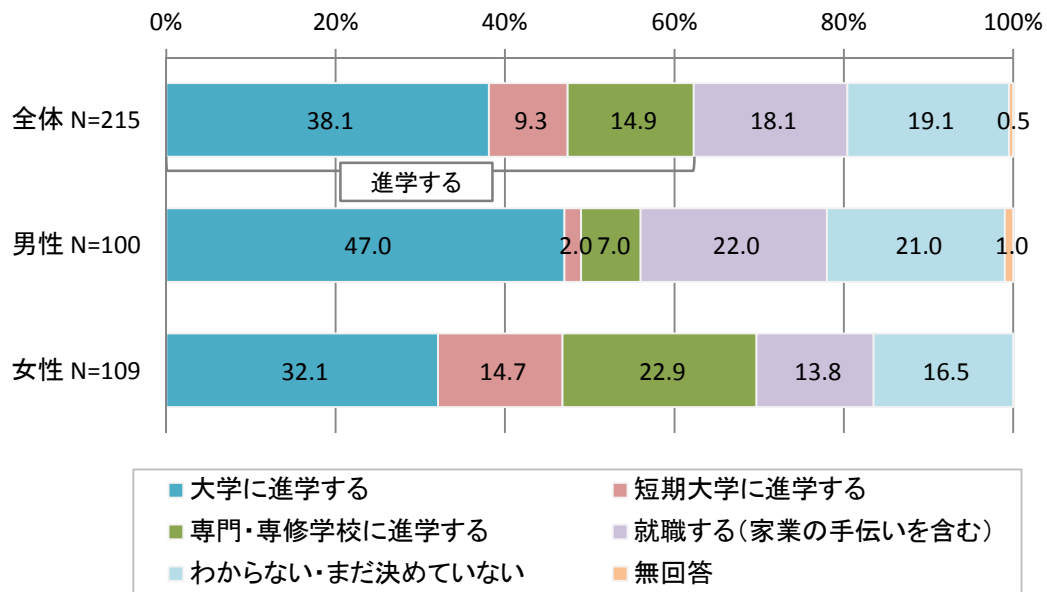
一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」とする割合が高いものとして、「⑤魅力的な店がある」「⑪娯楽施設が多く楽しいまちである」があがっている。



問3 高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。考えに近いもの1つに○をつけてください。

高校卒業後の進路については、「大学に進学する」が 38.1%と最も割合が高くなっており、短期大学や専門・専修学校を含む進学を希望している割合は、6割を超えている。

「就職する（家業の手伝いを含む）」が 18.1%、「わからない・まだ決めていない」が 19.1%となっている。

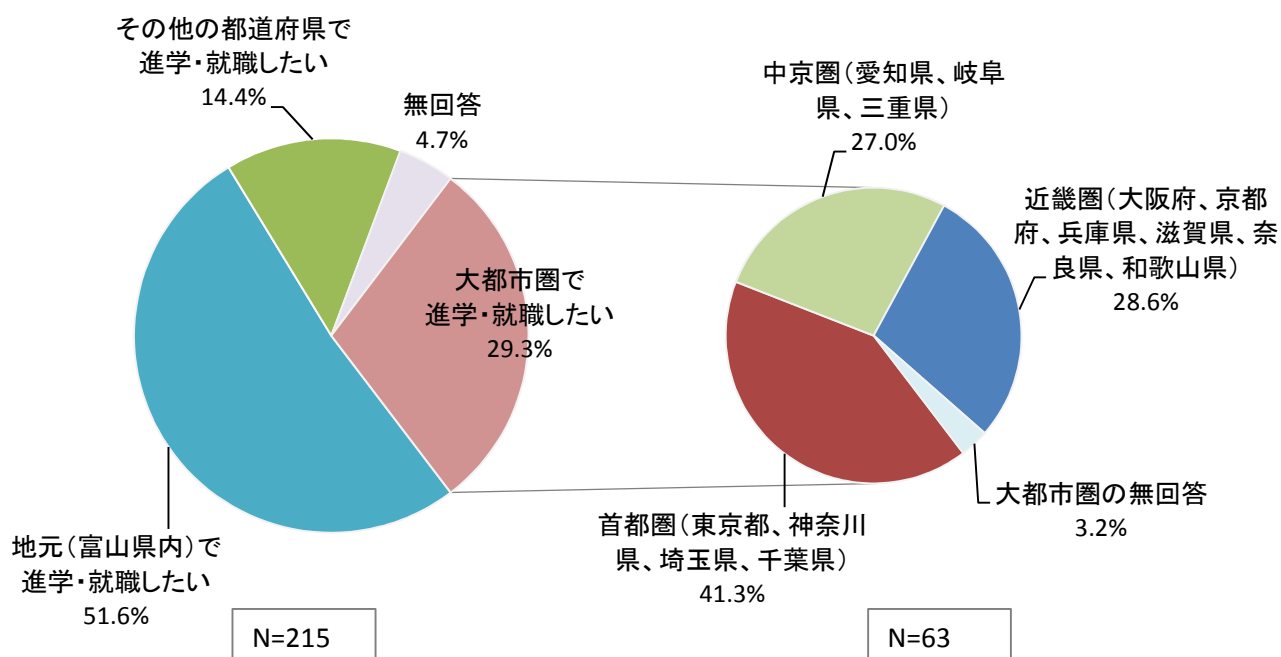


※「その他」は回答者なしのため非表示とする

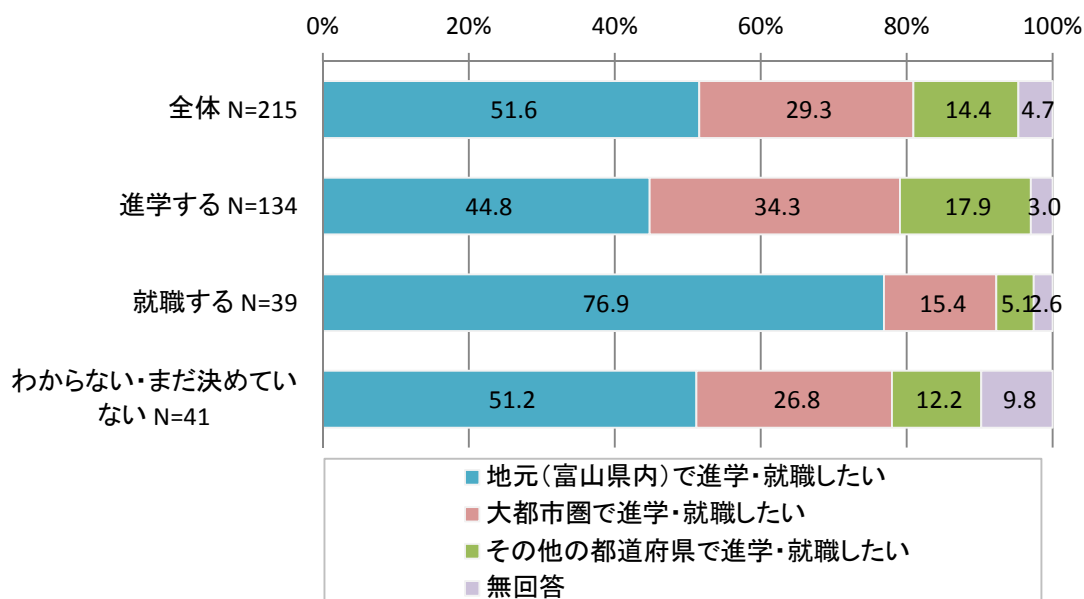
問4 高校卒業後の進学・就職場所について、考えに近いもの1つに○をつけてください。

高校卒業後の進学・就職場所について、現時点では、「地元（富山県内）」で進学・就職したい」が51.6%と半数を超え、次いで「大都市圏で進学・就職したい」が29.3%となっている。また、大都市圏のどの地域で進学・就職したいかについては、「首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）」が41.3%、「近畿圏（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）」が28.6%、「中京圏（愛知県、岐阜県、三重県）」が27.0%となっている。

進学・就職場所を問3の卒業後の進路別にみると、進学する学生の44.8%が、就職する学生の76.9%が「地元（県内）」で進学・就職したい」と回答している。



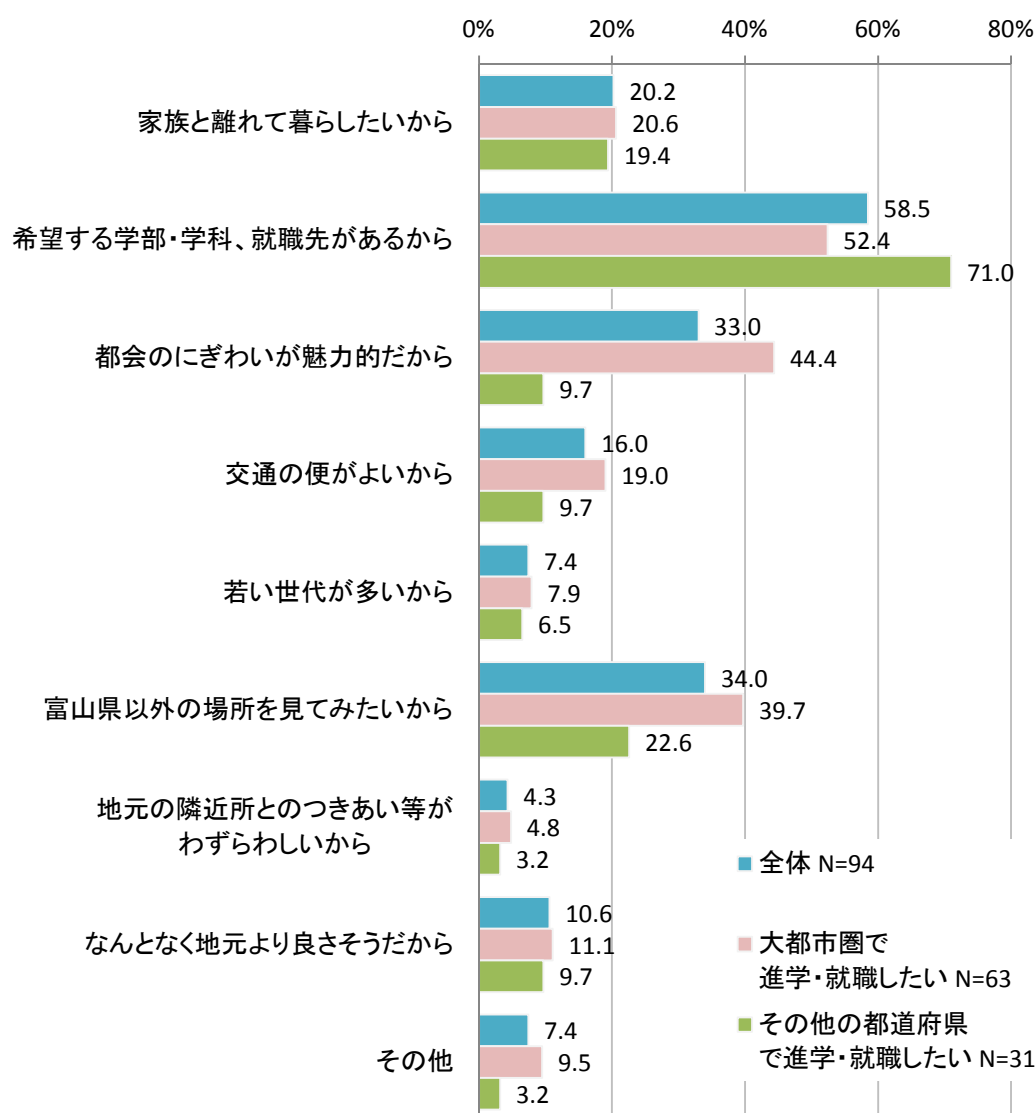
【問3 卒業後の進路別】



問5 進学・就職する場所に県外を選んだ理由はなんですか。考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

進学・就職場所に県外を選んだ理由については、「希望する学部・学科、就職先があるから」が58.5%と最も割合が高く、次いで「富山県以外の場所を見てみたいから」が34.0%、「都会のにぎわいが魅力的だから」が33.0%となっている。

問3の進学・就職場所別にみると、大都市圏での進学・就職を希望する生徒のうち半数は、「希望する学部・学科、就職先があるから」を理由にあげており、「都会のにぎわいが魅力的だから」、「富山県以外の場所を見てみたいから」がそれぞれ4割程度となっている。その他の都道府県での進学・就職を希望する生徒では、「希望する学部・学科、就職先があるから」が最も高く、7割以上の生徒が理由にあげている。

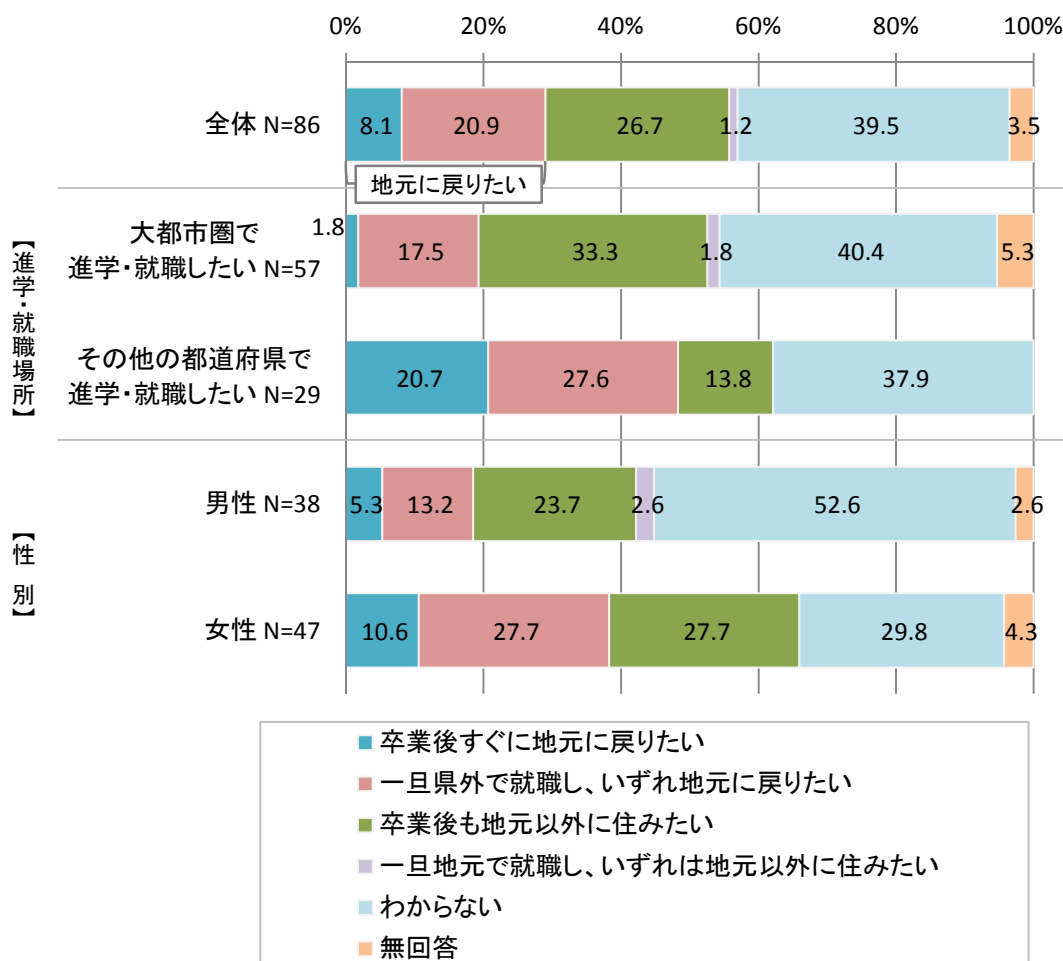


問6 県外へ進学し、卒業後は地元で暮らしたいと思いますか。現時点での考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

県外へ進学して、卒業後地元で暮らしたいかについては、「卒業後すぐに地元に戻りたい」が8.1%、「一旦県外で就職し、いずれ地元に戻りたい」が20.9%となっており、地元に戻りたいと考えている学生は約3割となっている。

問4の卒業後の進学・就職場所別にみると、大都市圏で進学したい学生が『地元に戻りたい』（「卒業後すぐに地元に戻りたい」+「一旦県外で就職し、いずれ地元に戻りたい」とする割合は、2割弱にとどまる。一方、その他の都道府県で進学したい学生が『地元に戻りたい』とする割合が5割程度となっている。

性別でみると、『地元に戻りたい』とする割合が女性では4割程度と男性の約2倍となっている。また、男性では、「わからない」とする割合が半数を超えている。



問7 将来どのような職業に就きたいですか。現時点での考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

将来就きたい職業については、「教育・保育関係（教師、講師、保育士、幼稚園教諭、児童指導員など）」が16.3%と最も割合が高く、次いで「医療関係（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床心理士など）」が14.9%、「飲食業・販売業（接客員、販売員、調理師、シェフ、パティシエ、バイヤーなど）」が14.4%となっている。

性別でみると、男性では、「ものづくり・製造業関係（自動車製造業、食品製造業、機械製造業、伝統工芸など）」が21.0%と最も割合が高く、次いで「情報・通信・IT関係（システムエンジニア、プログラマー、WEBデザイナーなど）」が18.0%、「公務員・団体職員（警察官、消防士、自衛官、国家公務員、地方公務員、農協など）」が17.0%と続いている。女性では、全体と同じ項目が上位にあがっている。

(%)

	全体	男性	女性
回答者数(人)	215	100	109
農業・林業・水産業・漁業・畜産業 (農家、漁師、酪農家、農水産物加工業など)	5.1	9.0	1.8
建築・土木・建設関係 (建築士・設計士、大工、板金工、測量士、造園業、電気工事士など)	6.0	11.0	1.8
ものづくり・製造業関係 (自動車製造業、食品製造業、機械製造業、伝統工芸など)	11.6	21.0	2.8
情報・通信・IT関係 (システムエンジニア、プログラマー、WEBデザイナーなど)	9.8	18.0	1.8
航空・船舶・運輸業 (運転手、パイロット、航海士、空港スタッフなど)	3.7	5.0	0.9
金融・証券・保険関係 (銀行員、証券アナリスト、トレーダー、ライフプランアドバイザーなど)	4.7	6.0	3.7
医療関係 (医師、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床心理士など)	14.9	10.0	19.3
福祉・介護関係 (ホームヘルパー、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャーなど)	10.2	5.0	14.7
教育・保育関係 (教師、講師、保育士、幼稚園教諭、児童指導員など)	16.3	8.0	22.9
動物・ペット関係 (獣医、調教師、飼育員、トリマー、ブリーダーなど)	5.1	1.0	8.3
スポーツ関係 (プロスポーツ選手、コーチ、インストラクター、トレーナーなど)	8.8	11.0	7.3
理容・美容・ファッション関係 (理・美容師、エステティシャン、デザイナー、スタイリストなど)	7.9	2.0	13.8
報道・芸能・広告関係 (記者、編集者、脚本家、カメラマン、プロデューサー、イベント企画など)	5.6	2.0	9.2
飲食業・販売業 (接客員、販売員、調理師、シェフ、パティシエ、バイヤーなど)	14.4	11.0	17.4
観光・旅行・ホテル関係 (旅行コーディネーター、ツアーコンダクター、ホテルスタッフ、ガイドなど)	8.4	6.0	11.0
公務員・団体職員 (警察官、消防士、自衛官、国家公務員、地方公務員、農協など)	11.2	17.0	6.4
専門職系 (弁護士・税理士・会計士・司法書士・行政書士など)	1.4	1.0	1.8
その他	4.7	2.0	7.3
わからない	17.2	24.0	11.0
無回答	4.2	6.0	1.8

問8 将来どのような会社に就職したいですか。会社を選ぶ際に重要だと思う項目を3つまで選んで○をつけてください。

将来どのような会社に就職したいかについては、「給料水準が高い」が41.4%と最も割合が高く、次いで、「勤務時間や休日が希望にあっている」、「人間関係が良好でハラスメントがない」がともに40.5%となっている。

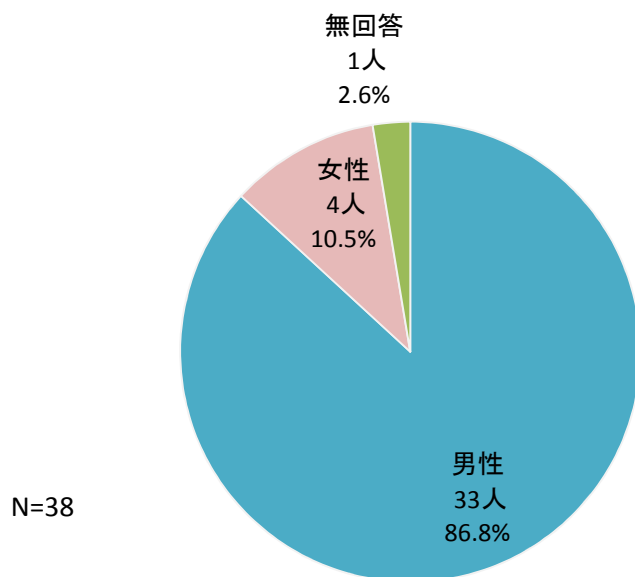
性別にみると、男性では「給料水準が高い」が50.0%と最も割合が高く、次いで「勤務時間や休日が希望にあっている」が43.0%、「業績が安定している」が34.0%となっている。女性では、「人間関係が良好でハラスメントがない」が46.8%と最も割合が高く、次いで「勤務時間や休日が希望にあっている」が39.4%、「出産、子育てしても働きやすい」が34.9%となっている。

	(%)		
	全体	男性	女性
回答者数(人)	215	100	109
大手企業である	9.3	18.0	1.8
業績が安定している	30.7	34.0	27.5
給料水準が高い	41.4	50.0	33.0
勤務時間や休日が希望にあっている	40.5	43.0	39.4
会社が有名である	4.7	6.0	3.7
自分の専門性や能力が活かせる	29.3	24.0	33.0
転職がない	15.3	16.0	13.8
海外にも事業所がある	2.3	4.0	0.9
若手が活躍できる	7.9	6.0	10.1
研修制度が充実している	1.9	1.0	2.8
出産、子育てしても働きやすい	19.1	2.0	34.9
人間関係が良好でハラスメントがない	40.5	33.0	46.8
親元から通うことができる	6.0	5.0	7.3
家族の意向・要望にあっている	0.5	0.0	0.9
地域貢献活動が活発である	0.9	2.0	0.0
福利厚生(退職金、企業年金制度、育児休業制度等)が充実している	6.5	5.0	8.3
その他	0.9	2.0	0.0
無回答	4.2	6.0	1.8

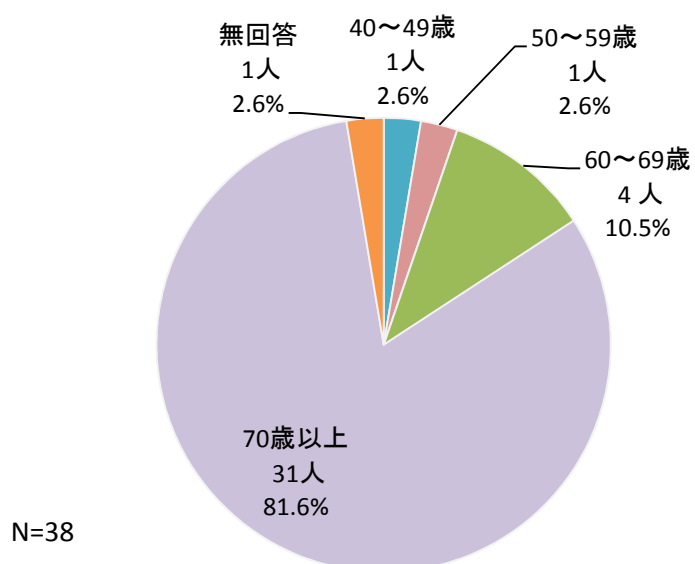
C 出身者アンケート

問1 回答者の概要について

(1) 性別

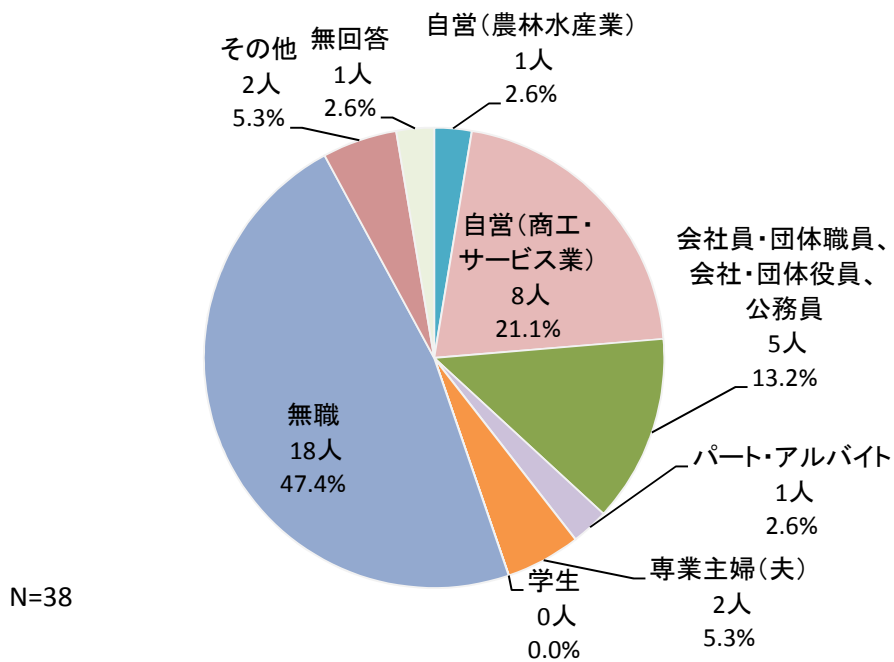


(2) 年齢

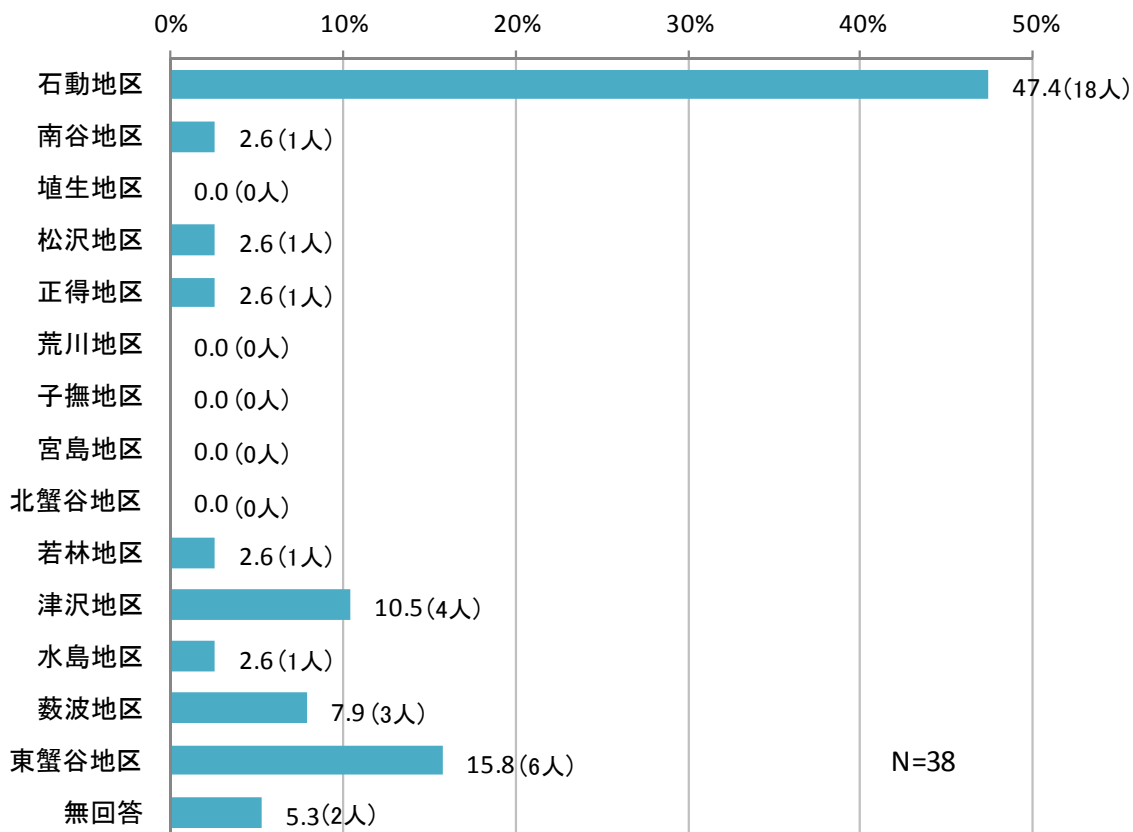


※39歳以下の回答者がいないため非表示とする

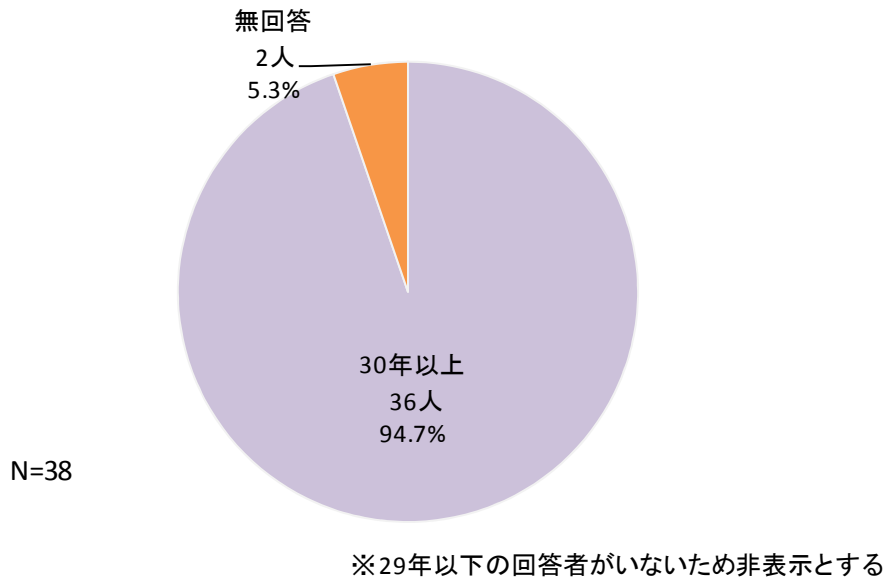
(3) 主な職業



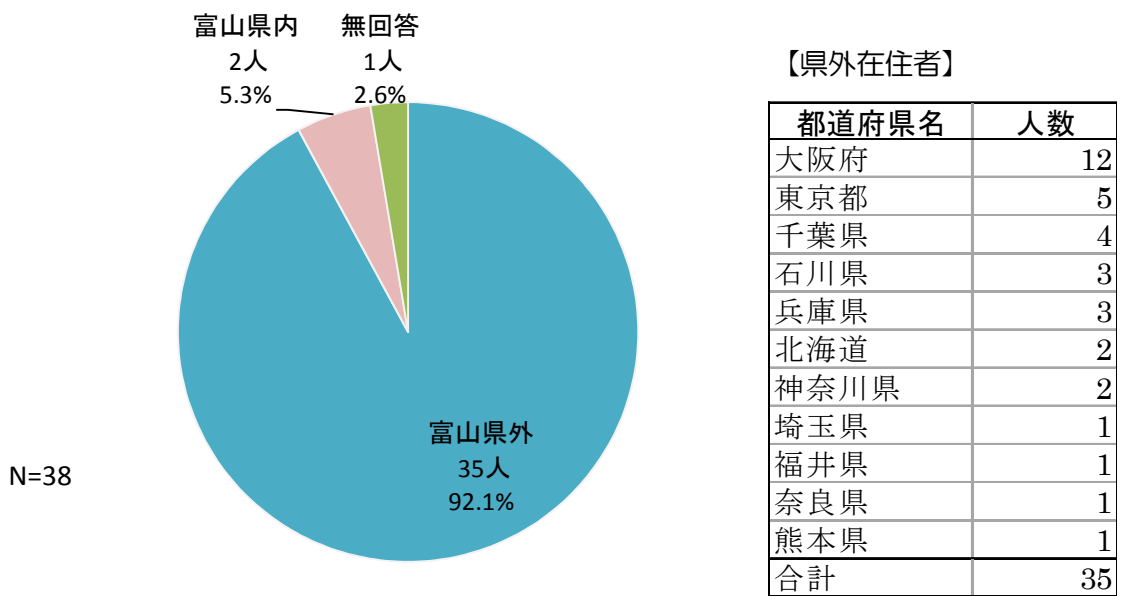
(4) 出身地区



(5) 転出後の経過年数



(6) 現在住んでいる場所



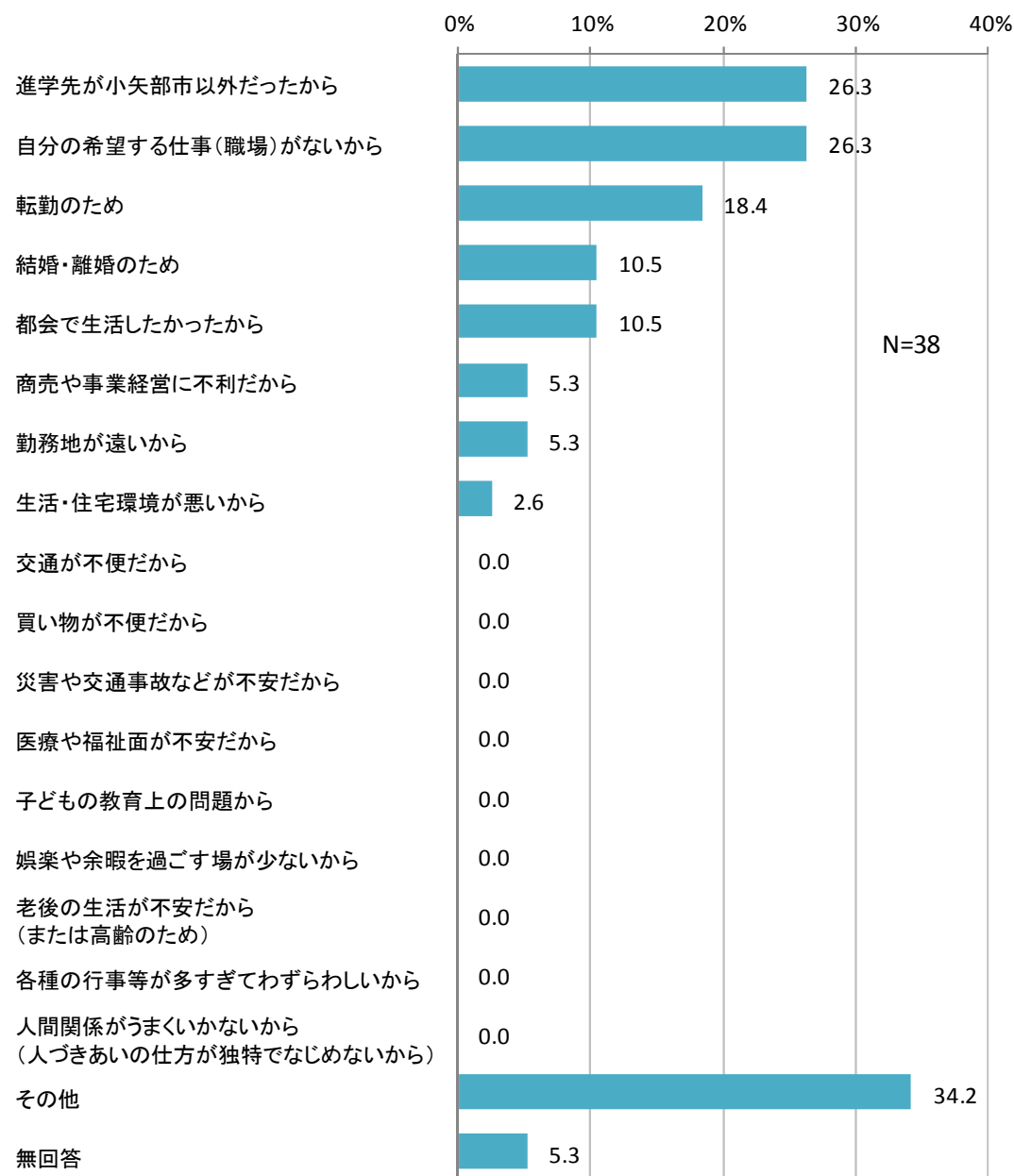
問2 あなたが小矢部市を転出された主な動機はどのようなものでしょうか。次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

●進学や就業に関わる回答項目が多い転出動機

「進学先が小矢部市以外だったから」(26.3%)及び「自分の希望する仕事(職場)がないから」(26.3%)との回答割合がともに最も高く、次いで「転勤のため」(18.4%)となっている。

「その他」では就業に関すること(就職先が県外だった)や家庭の都合(長男ではなかったため)などの回答があった。

小矢部市を転出した主な動機(複数回答)



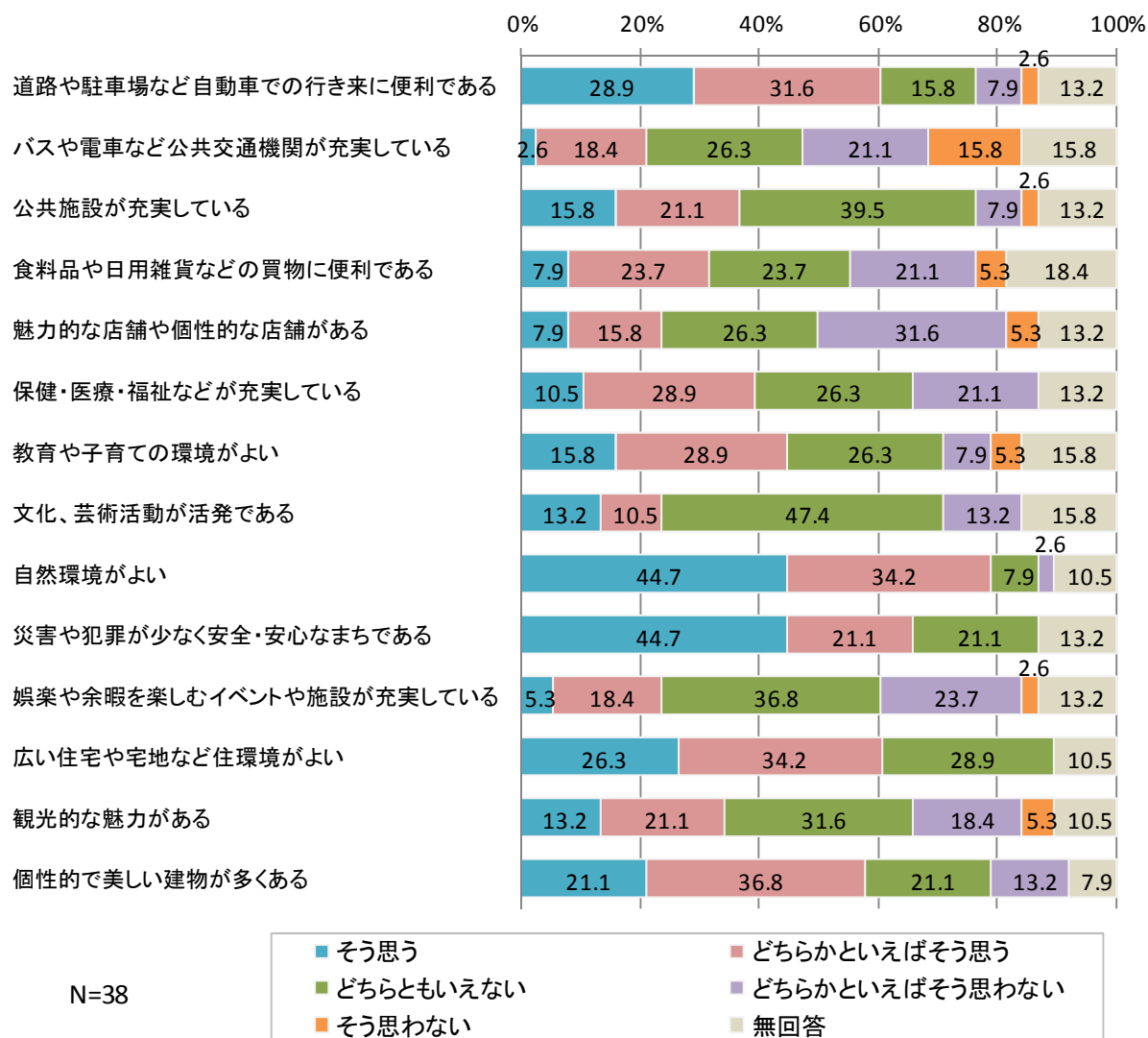
問3 あなたは、小矢部市をどのように見えていますか。次の（ア）～（セ）までの項目について、「そう思う」から「そう思わない」までの5つの選択肢から、それぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

●小矢部市は「自然環境がよい」「災害や犯罪が少なく安全・安心なまち

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合でみると、「自然環境がよい」(78.9%)との回答割合が最も高く、次いで「災害や犯罪が少なく安全・安心なまちである」(65.8%)、「道路や駐車場など自動車での行き来に便利である」(60.5%)、「広い住宅や宅地など住環境がよい」(60.5%)となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた回答割合でみると、「バスや電車など公共交通機関が充実している」(36.9%)及び「魅力的な店舗や個性的な店舗がある」(36.9%)との回答割合がともに最も高く、次いで「食料品や日用雑貨などの買物に便利である」(26.4%)、「娯楽や余暇を楽しむイベントや施設が充実している」(26.3%)となっている。

小矢部市をどのように見ているか



問4 あなたは、小矢部市を知人や友人等に紹介する場合、市のどこ（何）を、どのように紹介していますか。（よく説明される場所や表現をご記入ください。）

紹介する場所・もの・こと、紹介内容・表現ごとに分類し、一覧に示すと次表のようになる。

回答結果をみると観光や自然、祭り、食など幅広い内容となっている。なお、倶利伽羅・源平古戦場、稲葉山や宮島峡、メルヘンとの回答が多い。

紹介する場所・もの・こと	紹介内容・表現
倶利伽羅・源平古戦場	源平合戦、牛の角にたいまつをつけて勝った
	近くに源平合戦で有名な倶利伽羅峠がある
	源義仲軍の火牛戦略
	源平合戦－倶利伽羅不動尊
	火牛戦のこと
	歴史的に評価できる
	歴史の分かる人には倶利伽羅古戦場
	木曾義仲の火牛の計
	源氏方が牛の角に松明を括り付けて、平家軍に夜襲をかけた
	火牛の計、マスコットキャラクター
	源平の合戦を話す
	火牛の計伝説は今も広く伝えられている
	義仲を中心として瀬島龍三の一代記
メルヘン	メルヘンおやべの発祥は松本正雄市長が着手されたものである。松本正雄市長とは同郷の出身である
	日本、世界の有名建築物の模写
	学校舎－他県では例のない施設
	田舎の中に世界の有名な建物が数多くある
クロスランド	散居村の風采
	ふるさと交付金利用
	タワー、イベント多彩
宮島峡	一の滝、二の滝、ダムの景観
	身近なところに素晴らしい自然、温泉がある
	自然が残っている
	滝、モニュメント
桜町遺跡	近くに貝塚があり、古代の遺跡について子供のころから土器にかけらなどを拾い集めていた
	古い昔の色々な品、発掘された物、参考になり勉強になります
アウトレット	日本で最後のアウトレットと言われている
	北陸初のアウトレット
	有名ブランドの格安販売

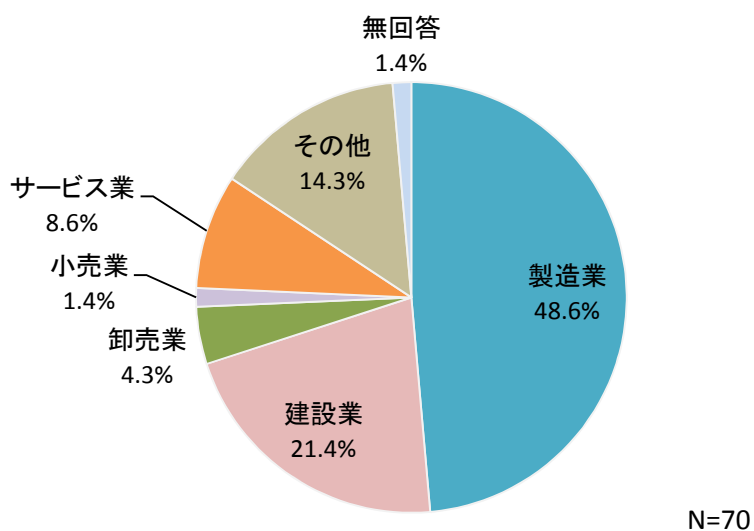
紹介する場所・もの・こと	紹介内容・表現
稲葉山	稲葉山からの眺め。丘と水田を楽しもう
	眺望も素晴らしく、皆喜ぶ
	身近なところに素晴らしい自然、温泉がある
	小矢部平野一望
	牧場、ミニ動物園、風力発電
夜高あんどん	北海道沼田町の母村であり、あんどん祭りも引き継いでいること
	東北のねぶた、竿灯に比べ規模では見劣りするものの、小規模ならではの趣がある
曳山祭り	荘厳華麗、桃山文化
食	南谷のお米は「宮内庁」皇居へ届けられていたと聞いていた
	かぶら寿し、「ふくらぎ」の刺身
	米、野菜、果物がおいしい
立地	金沢に近く、石川県と富山県の県境で富山県側
散居村	

D 企業アンケート

問1 回答者の概要について

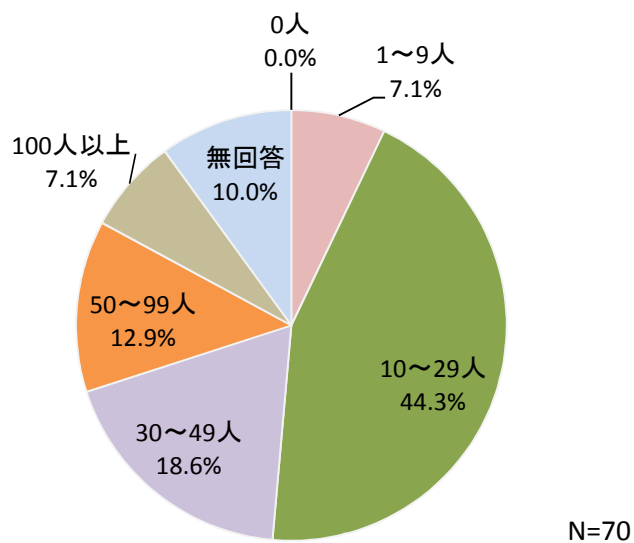
(1) 業種

業種は、「製造業」が48.6%、「建設業」が21.4%となっている。



(2) 従業員数

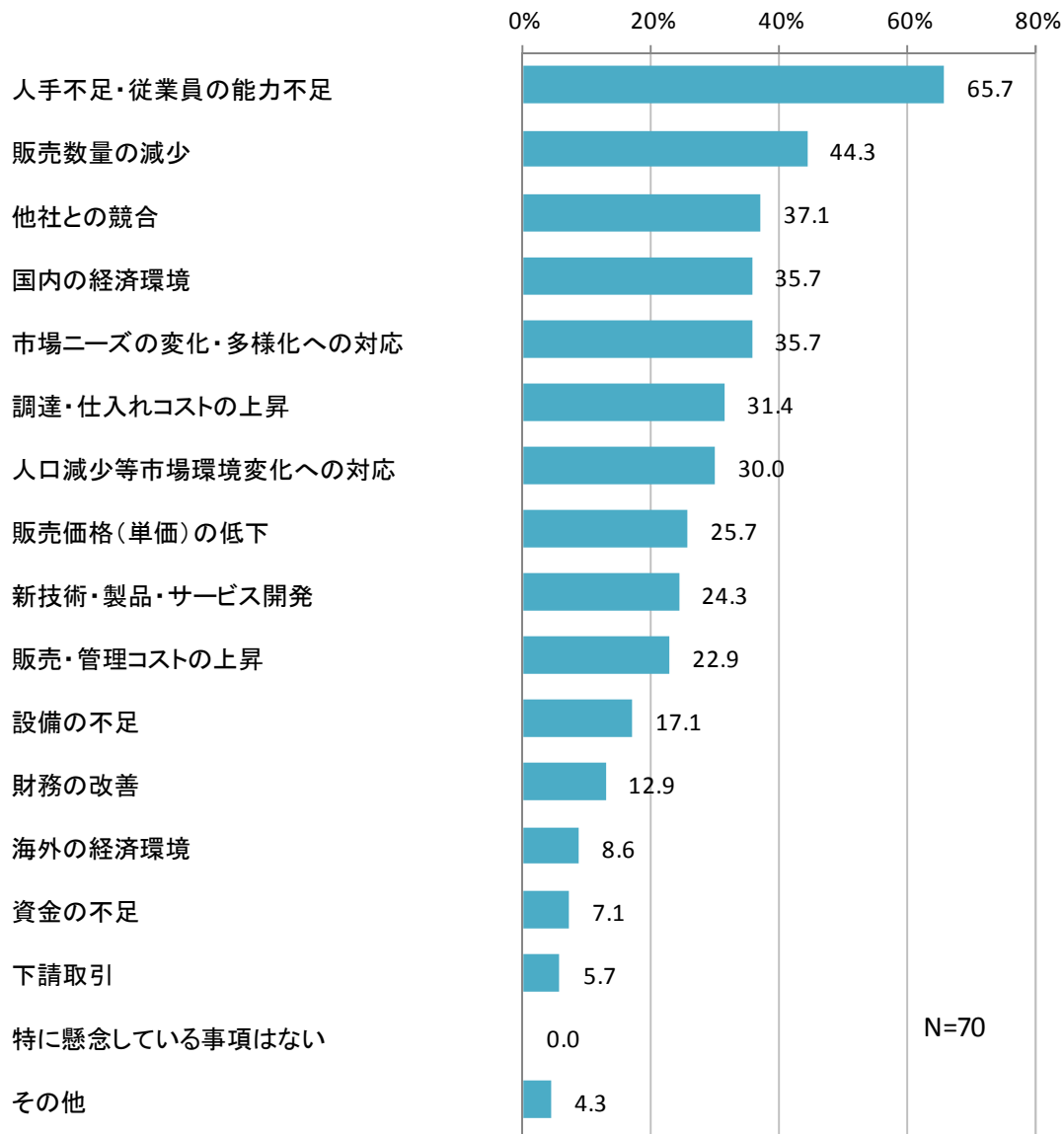
従業員数30名未満の企業が半数を占めている。



1. 事業展開等について

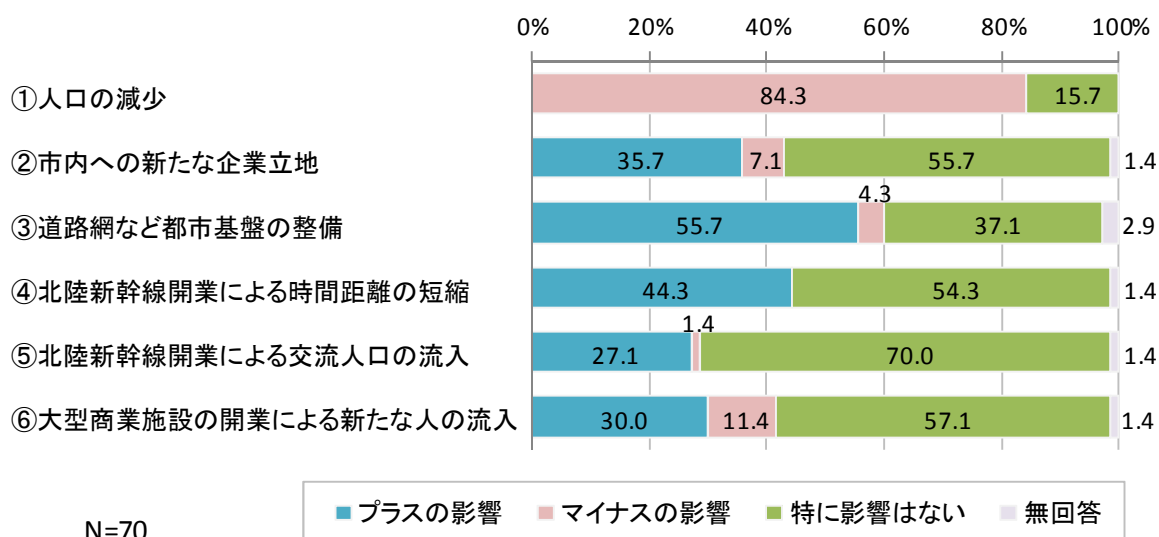
問2 現在、貴社の経営・運営についての課題はありますか。それはどのようなことでしょうか。
あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

経営・運営面での課題として最も多くの企業があげているのは、「人手不足・従業員の能力不足」(65.7%)であり、次いで、「販売数量の減少」(44.3%)、「他社との競合」(37.1%)と続いている。



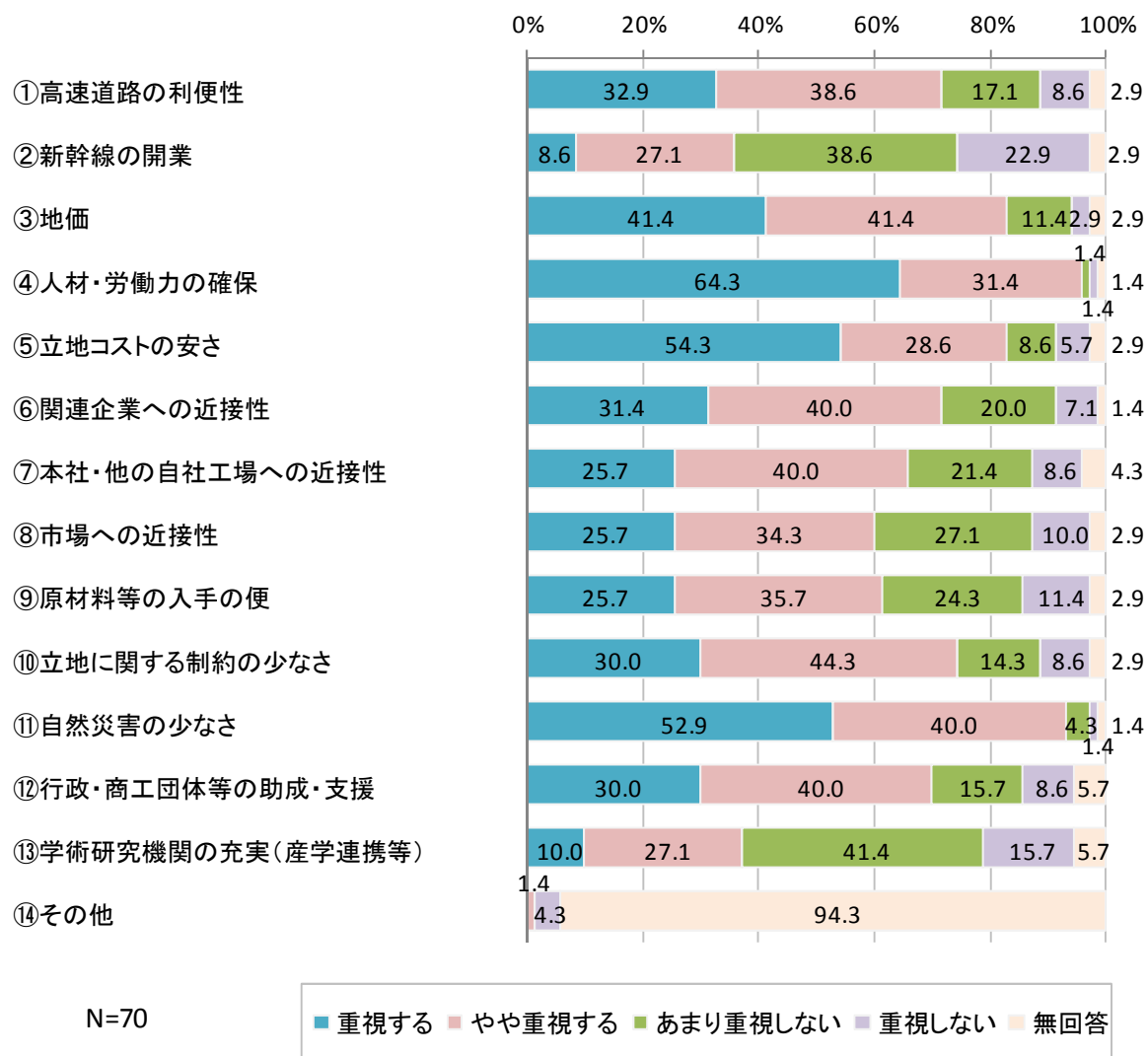
問3 小矢部市を取り巻く次のような環境変化について、貴社には影響がうかがえますか。それぞれの項目についてあてはまるものに○をつけてください。(○は項目ごとにひとつ)

プラスの影響がうかがえるものとして、「③道路網など都市基盤の整備」、「④北陸新幹線開業による時間距離の短縮」等交通網の整備があげられ、マイナスの影響がうかがえるものとしては、8割強の企業が「①人口の減少」をあげており、今後の需要の減少や人手不足の加速が懸念される。



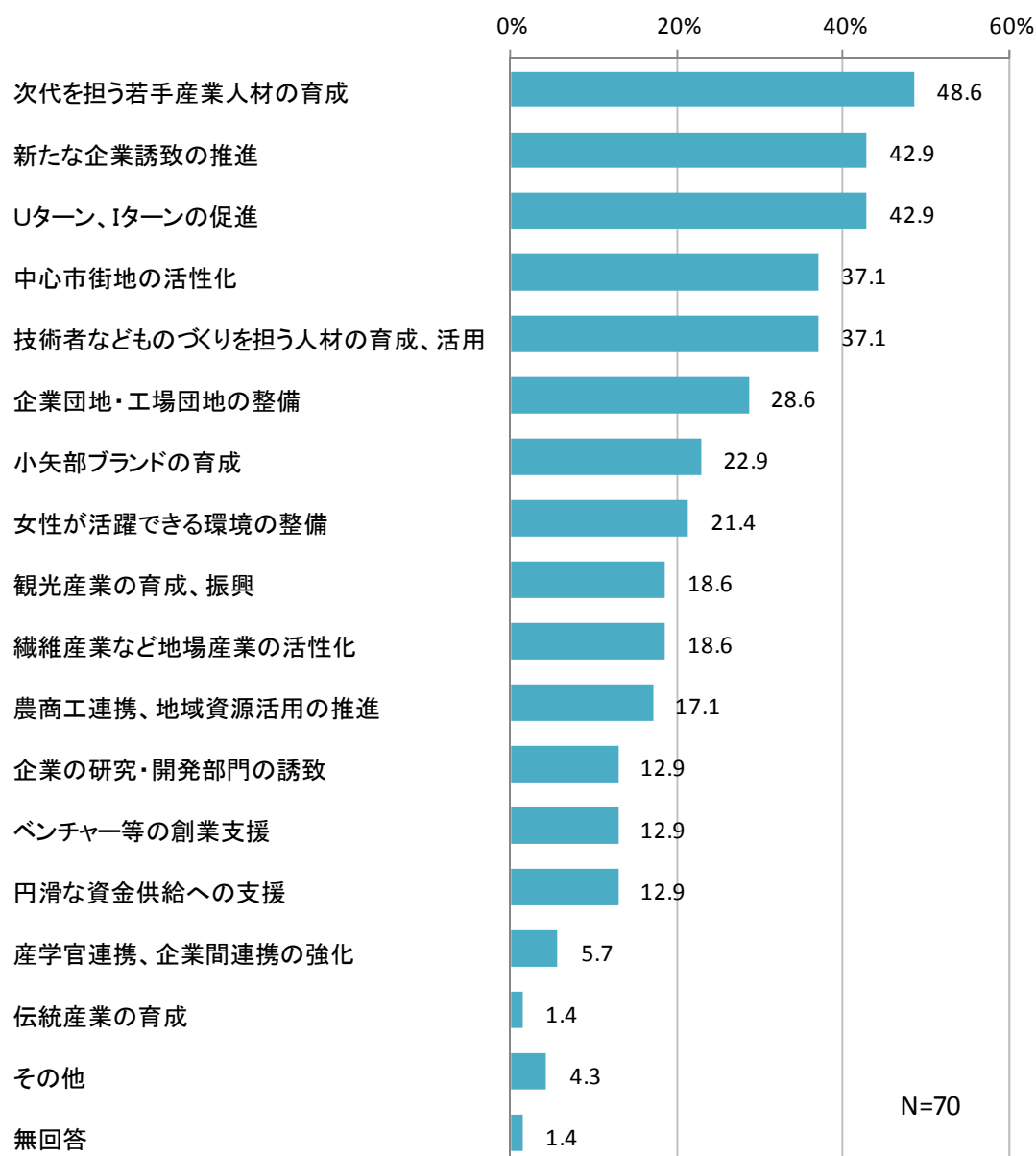
問4 立地するにあたって重要視することはなんですか。それぞれの項目についてあてはまるものに○をつけてください。(○は項目ごとにひとつ)

立地するにあたって、『④人材・労働力の確保』、『⑤立地コストの安さ』、『⑪自然災害の少なさ』を「重視する」とする企業が半数を占める。



問5 小矢部市の産業全体の活性化を図っていくためにどのような方策を講じていく必要があると思いますか。特に重要だと思うものに○をつけてください。(○は5つまで)

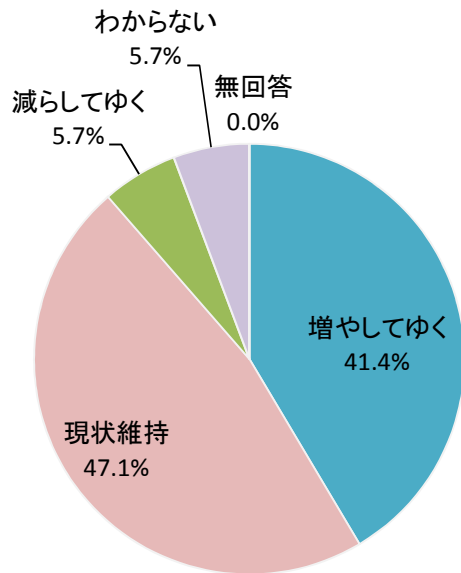
活性化を図るために必要な方策として重要だとするものは、「次代を担う若手産業人材の育成」が48.6%と最も割合が高く、次いで「新たな企業誘致の推進」、「Uターン、Iターンの推進」がともに42.9%、「中心市街地の活性化」、「技術者などものづくりを担う人材の育成、活用」がともに37.1%となっている。



2. 雇用や採用状況について

問6 貴社の雇用人数について、今後の予定をうかがいます。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

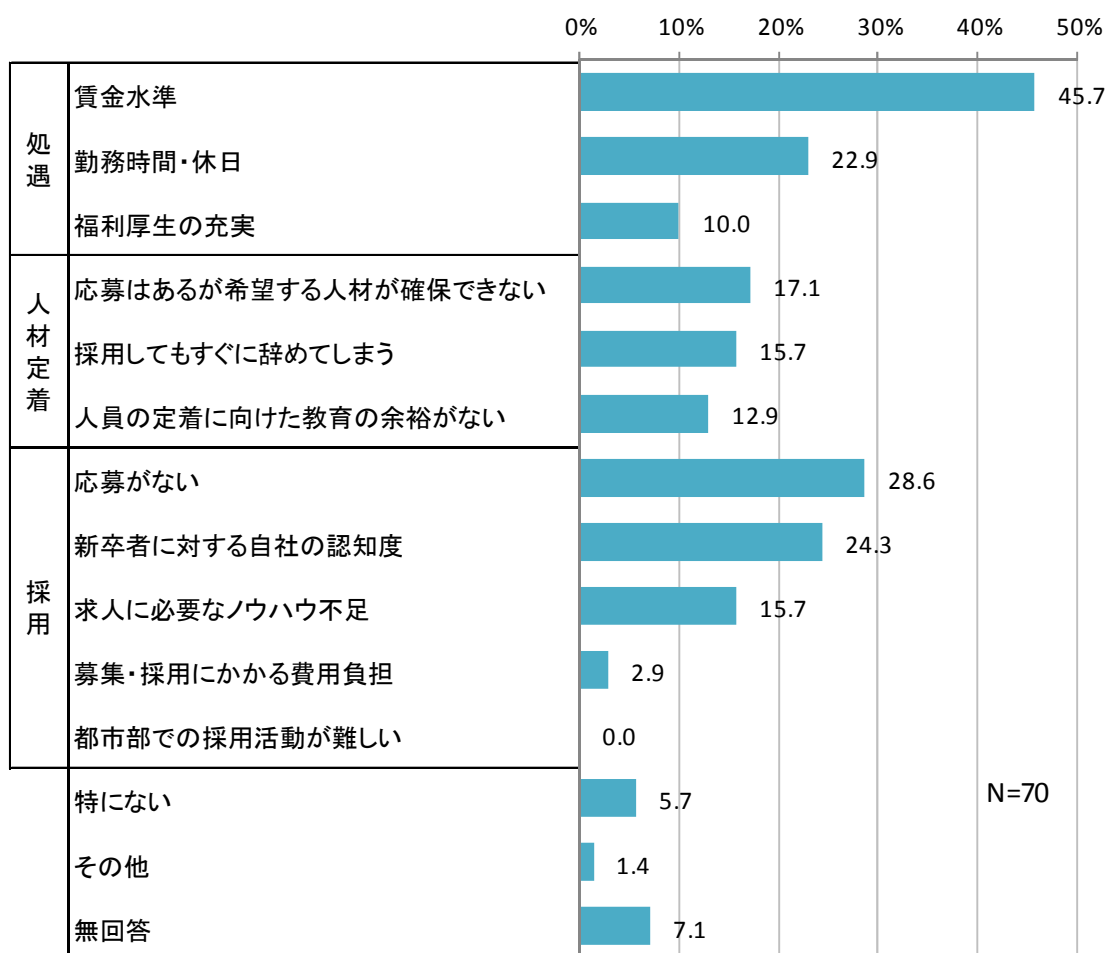
今後の雇用人数について、「現状維持」とする企業が 47.1%と最も割合が高く、次いで「増やしてゆく」が 41.4%となっている。



N=70

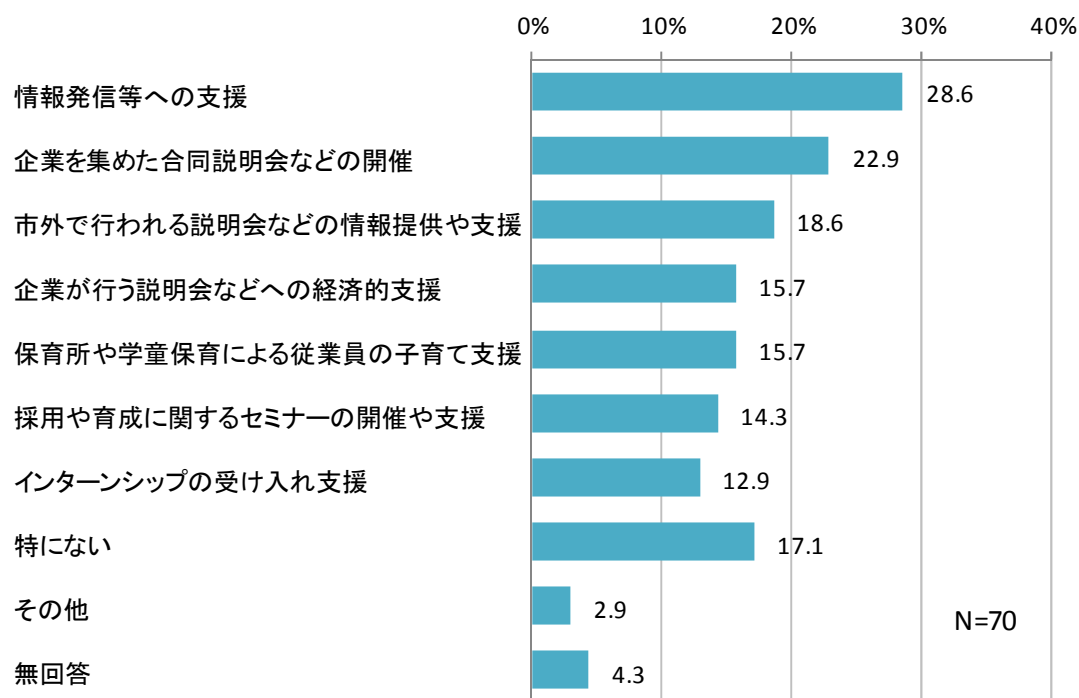
問7 貴社が人材を確保・定着を図っていくうえでどのような課題がありますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

人材の確保・定着を図るうえでの課題については、処遇に関する項目である「賃金水準」が45.7%と最も割合が高くなっている。次いで「応募がない」が28.6%、「新卒者に対する自社の認知度」が24.3%など、採用そのものの難しさが挙げられる。



問8 貴社が人材を確保する上で、行政にどのような支援を求めますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は2つまで)

人材を確保する上で行政に求める支援として、「情報発信等への支援」が28.6%と最も高いが、次いで「企業を集めた合同説明会などの開催」(22.9%)、「市外で行われる説明会などの情報提供や支援」(18.6%)など、より幅広く採用の機会が得られるような支援を求めている。



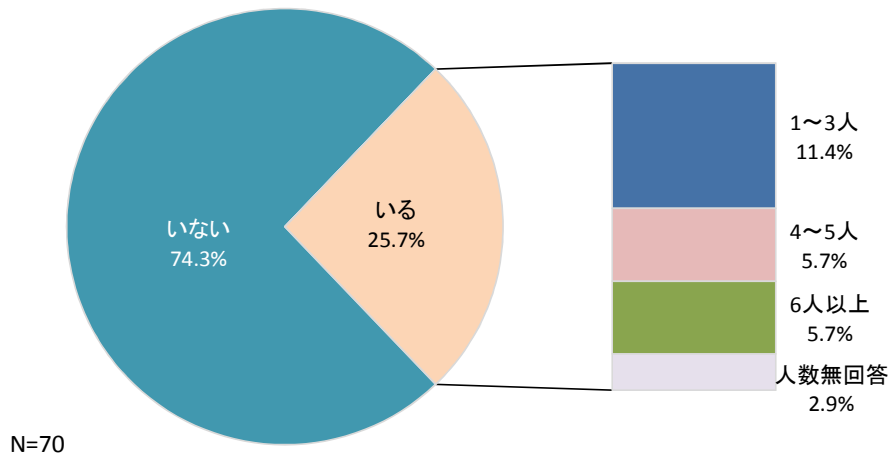
3. 外国人労働者の雇用状況について

問9 貴社には外国人労働者はいますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)
また、「1. いる」と回答された場合は、人数と国籍をご記入ください。

外国人労働者が「いる」企業は全体の 25.7%となっている。そのうち外国人労働者の人数が「1~3人」の企業が 11.4%、「4~5人」、「6人以上」の企業がそれぞれ 5.7%となっている。

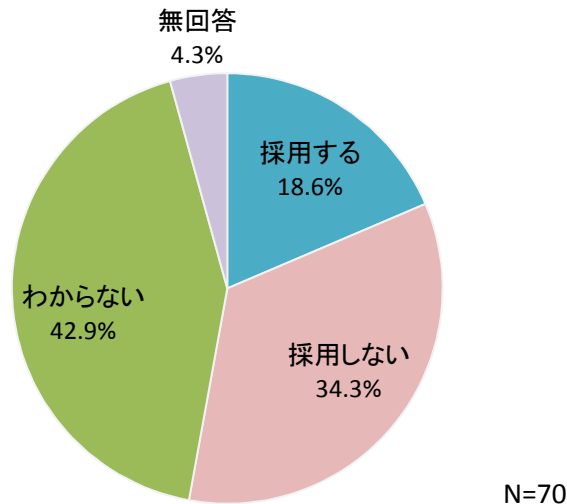
また、その国籍は、ベトナム、インドネシア、中国、ミャンマー、フィリピン、ブラジルなどとなっている。

業種別には、製造業で外国人労働者が「いる」と回答した企業が多い。



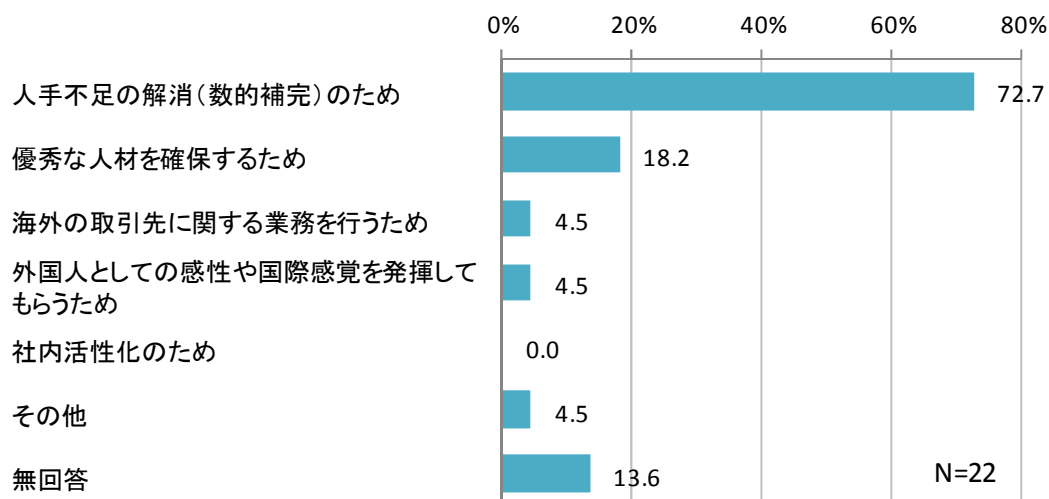
問10 今後の採用の予定はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

今後の外国人労働者の採用については、「わからない」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「採用しない」が 34.3%、「採用する」が 18.6%となっている。



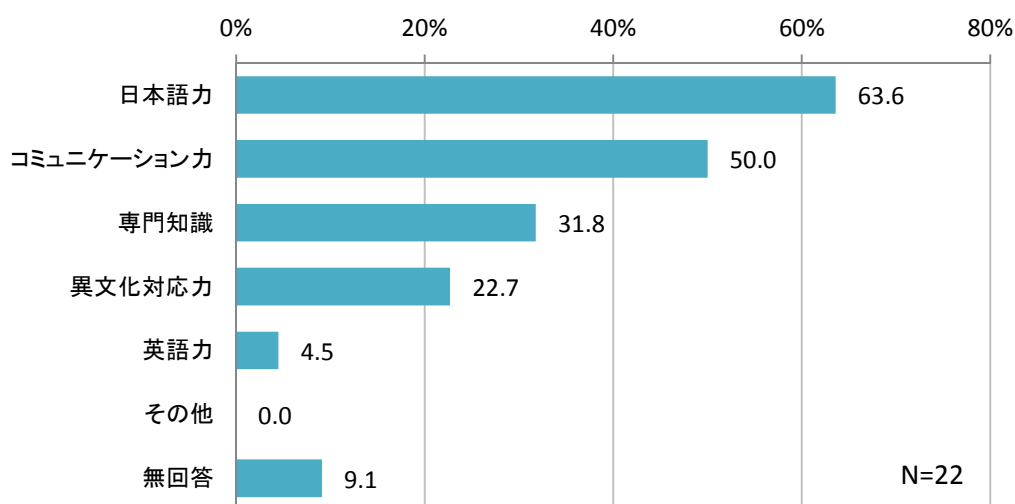
問 11 外国人労働者を雇用した（又は採用する予定の）主な理由はなんですか。あてはまるものに○をつけてください。（○は2つまで）

外国人労働者を雇用する理由は、「人手不足の解消（数的補完）のため」が72.7%となっている。



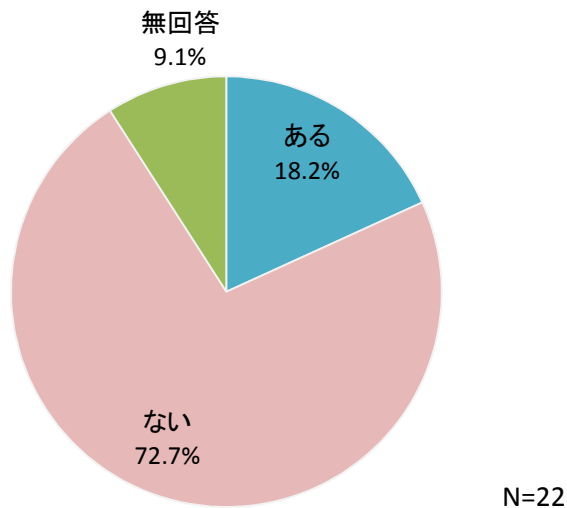
問 12 外国人労働者に期待する資質はなんですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

外国人労働者に期待する資質として、「日本語力」を求める企業が63.6%となっている。次いで「コミュニケーション力」が50.0%、「専門知識」が31.8%となっている。

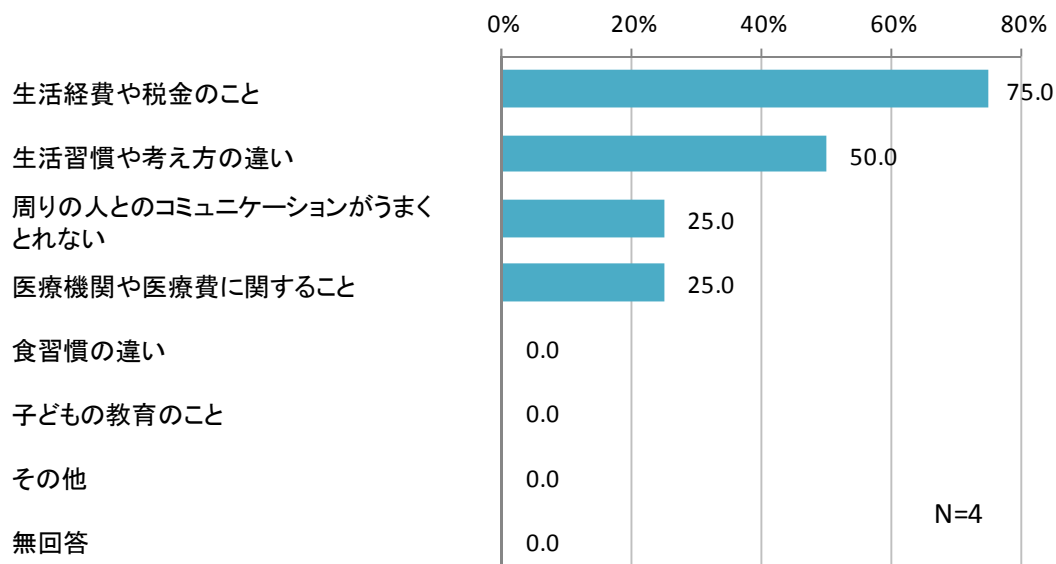


問 13 小矢部市での生活について、外国人労働者から相談を受けたことはありますか。受けたことがある場合、それはどのような内容でしたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

相談を受けたことが「ある」企業は4社のみである(18.2%)。



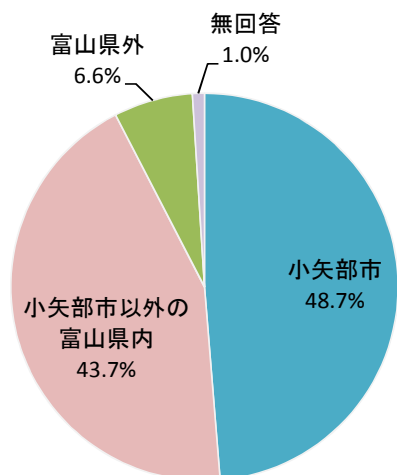
外国人労働者から受けた相談の内容



E 従業員アンケート

問1 回答者の概要について

(1) お住まいの市町村

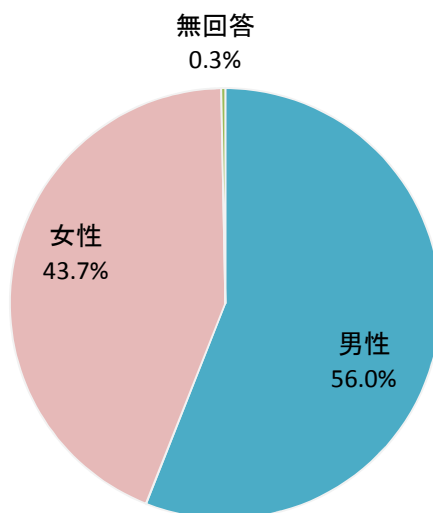


N=302

県内市町村名	人数	%
高岡市	47	35.6
砺波市	30	22.7
南砺市	26	19.7
富山市	9	6.8
射水市	9	6.8
氷見市	6	4.5
無回答	5	3.8
合計	132	100.0

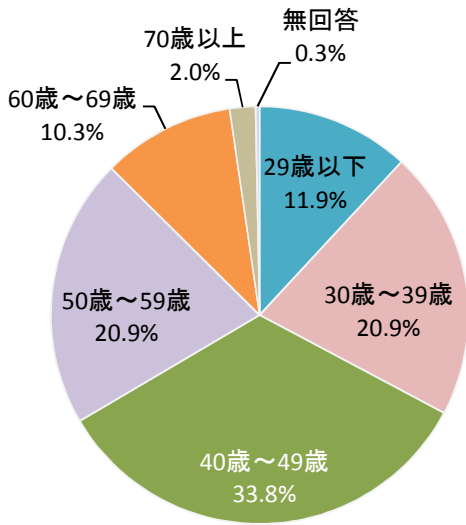
県外市町村名	人数	%
石川県津幡町	8	40.0
石川県金沢市	5	25.0
石川県かほく市	3	15.0
石川県内灘町	1	5.0
福井県福井市	1	5.0
石川県羽咋市	1	5.0
無回答	1	5.0
合計	20	100.0

(2) 性別



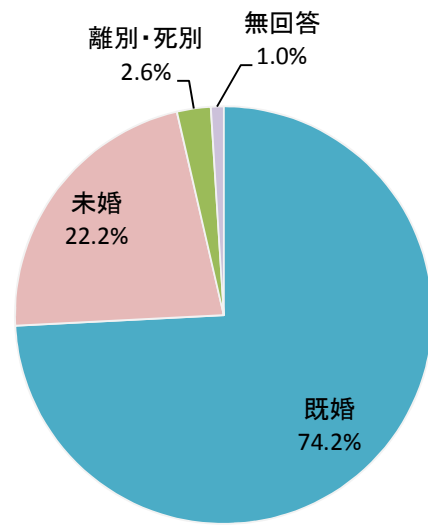
N=302

(3) 年齢



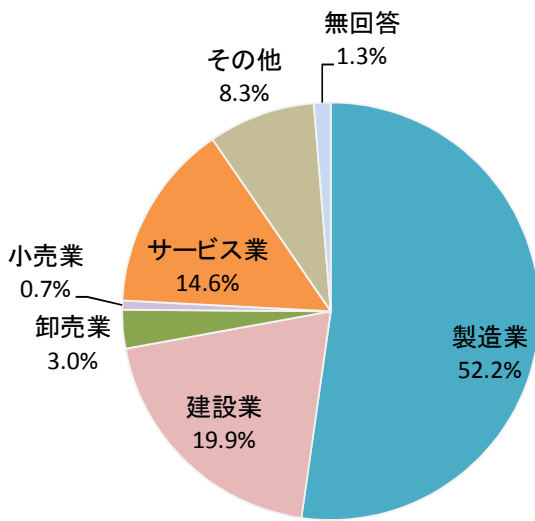
N=302

(4) 結婚



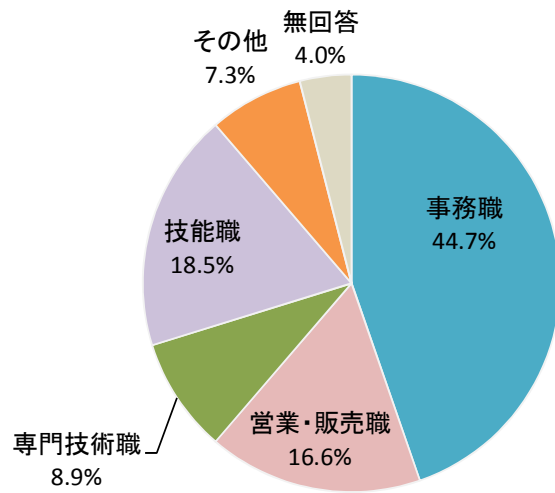
N=302

(5) 業種



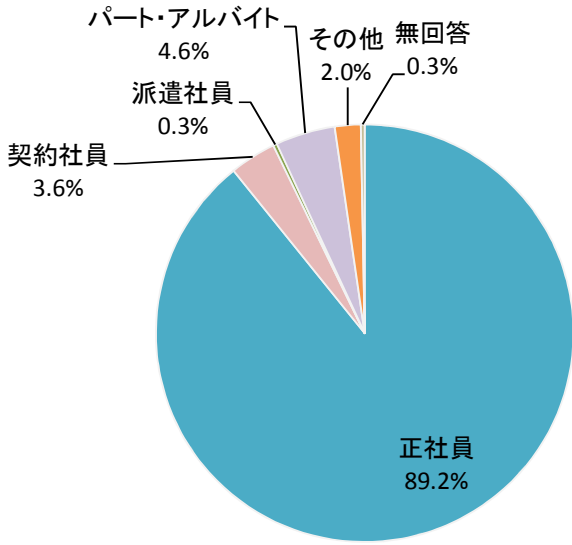
N=302

(6) 職種



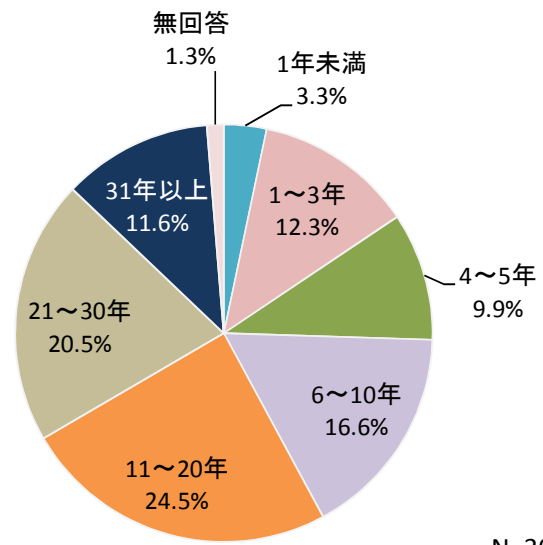
N=302

(7) 現在の雇用形態



N=302

(8) 現在の勤務先での勤続年数

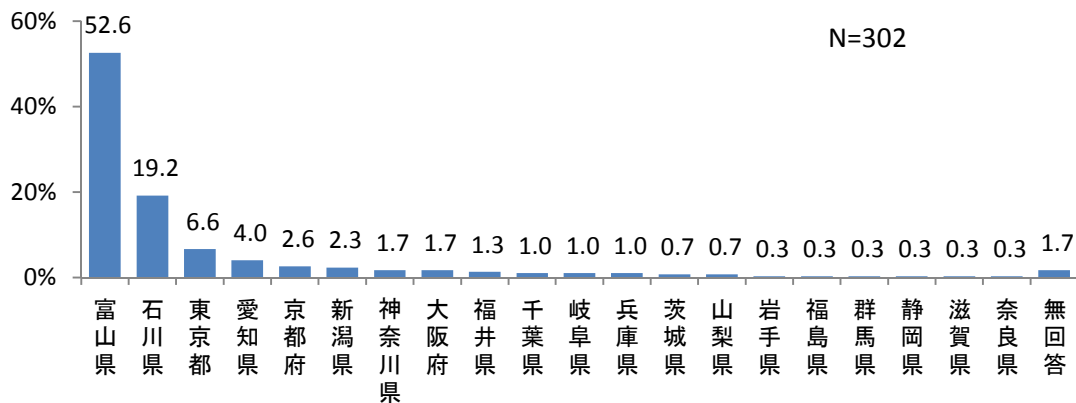


N=302

1. 働き方について

問2 あなたの最終学歴（高校、大学等）の所在地はどちらですか。（ ）内に具体的にご記入ください。

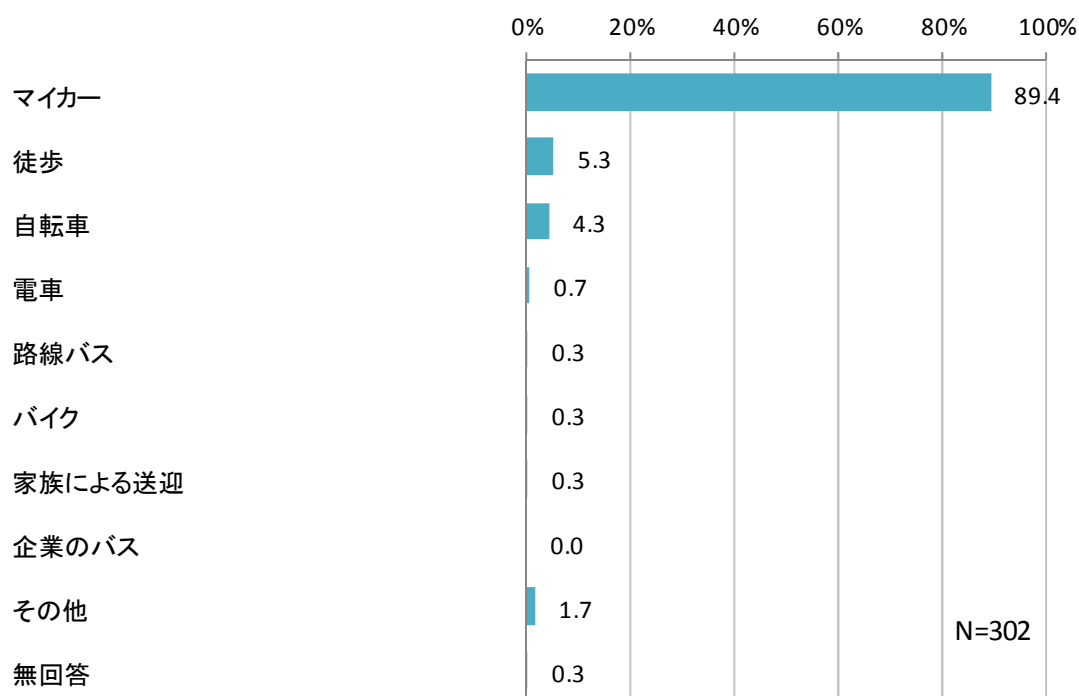
富山県内の高校、大学等を卒業した人が約半数を占め（52.6%）残りの半数は県外からのU I J ターン者である。



N=302

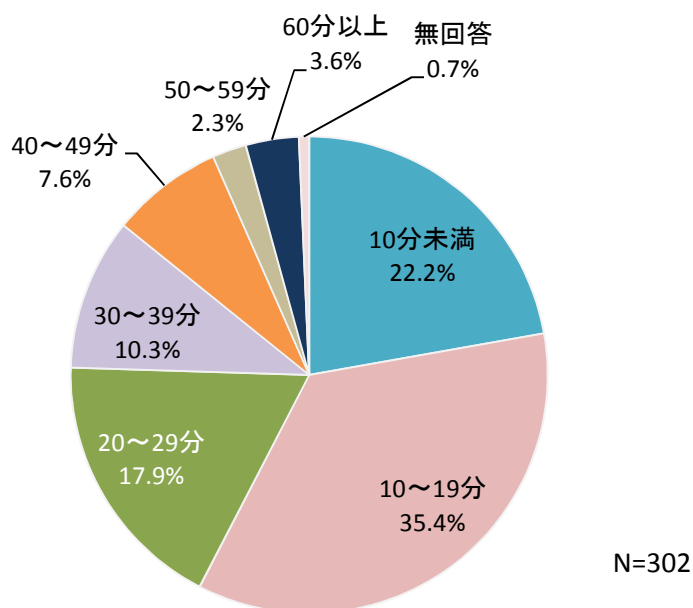
問3-① 通勤時の交通手段は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

通勤時の交通手段は、9割近くの人が「マイカー」による。



問3-② また、片道の通勤時間をご記入ください。

片道の通勤時間は、全体では20分未満の人が57.6%と半数を超えている。

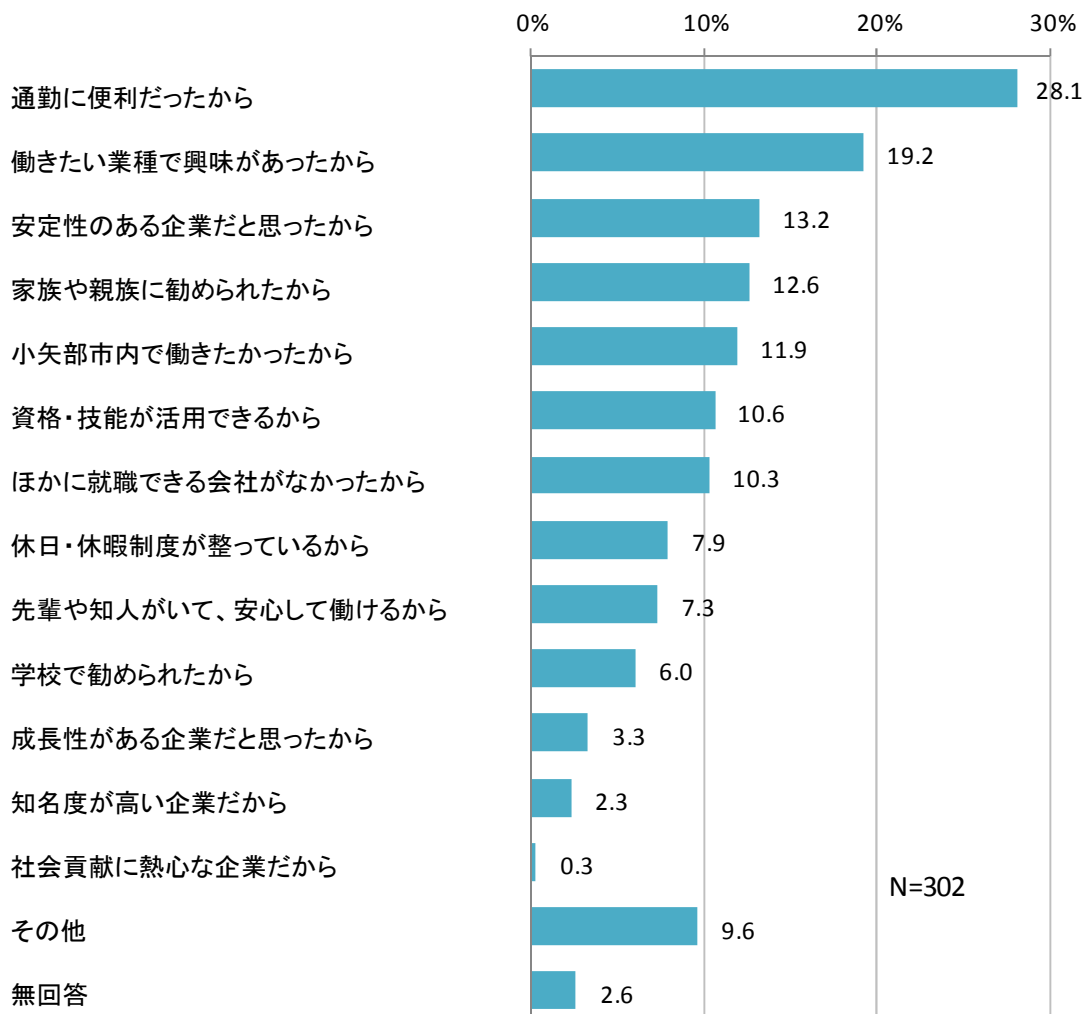


2. 勤務する企業について

問4 あなたが今の企業で働くことを選んだ理由について、あてはまるものに○をつけてください。
(○は2つまで)

「通勤が便利だったから」(28.1%)という立地環境が選択の理由の第一に挙げられているが、これは特に小矢部市内の人や、女性の回答割合が高い。

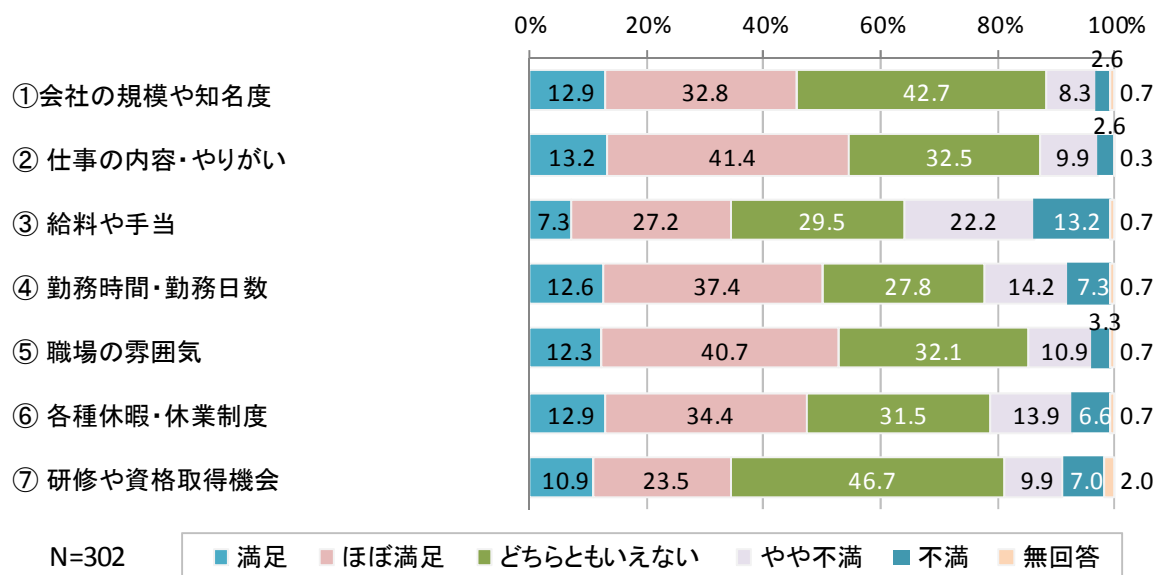
また、「働きたい業種で興味があったから」(19.2%)「安定性のある企業だと思ったから」(13.2%)「資格・技能が活用できるから」(10.6%)など、企業の魅力や自身の適正による選択理由も比較的上位に挙げられている。



問5 あなたは現在の仕事内容や職場環境等についてどのように感じていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は項目ごとにひとつ)

仕事内容や職場環境について、『満足』とした割合が最も高いのは「②仕事の内容・やりがい」(54.6%)であり、次いで「⑤職場の雰囲気」(53.0%)「④勤務時間・勤務日数」(50.0%)となっている。

一方、『不満』が高いのは、「③給与や手当」(35.4%)である。



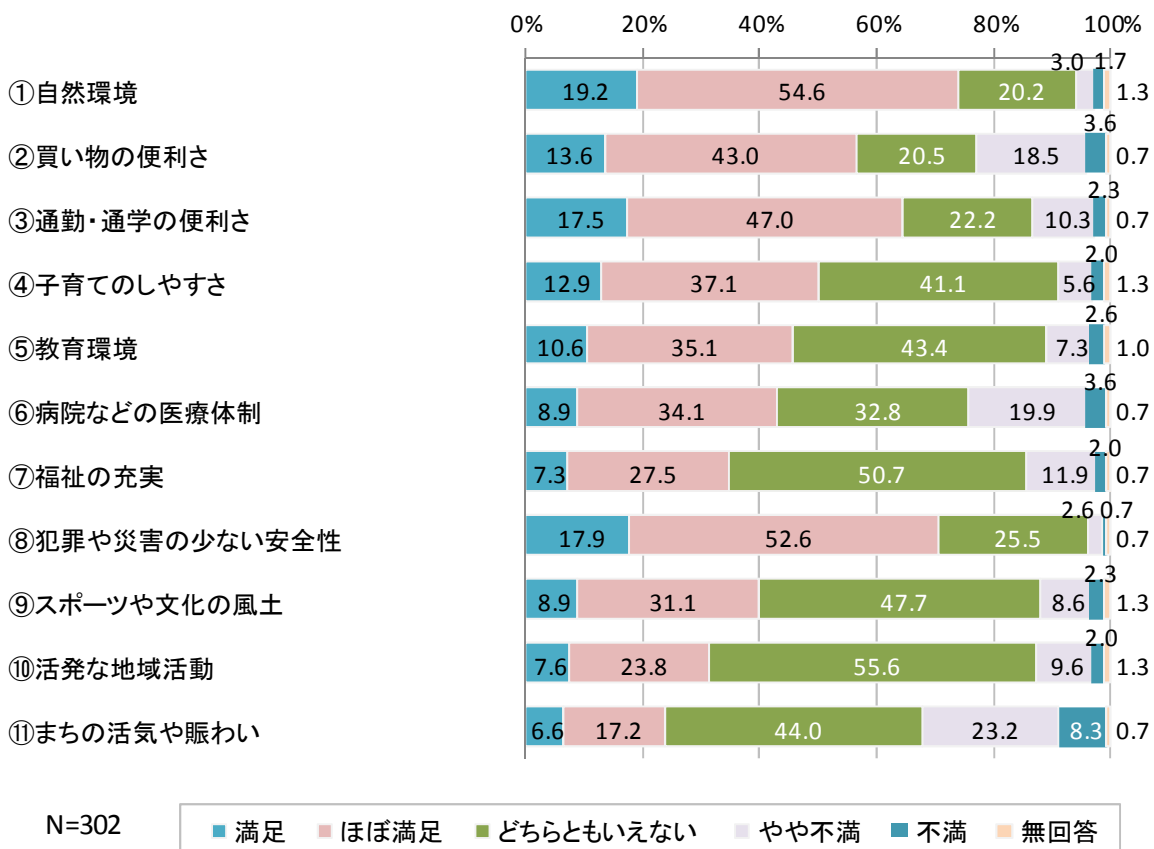
(※以降の『満足』は、「満足」と「ほぼ満足」の回答の合計。『不満』は、「不満」と「やや不満」の回答の合計。)

6. 居住地について

問6 あなたの現在の居住地についておうかがいします。項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。(○は項目ごとにひとつ)

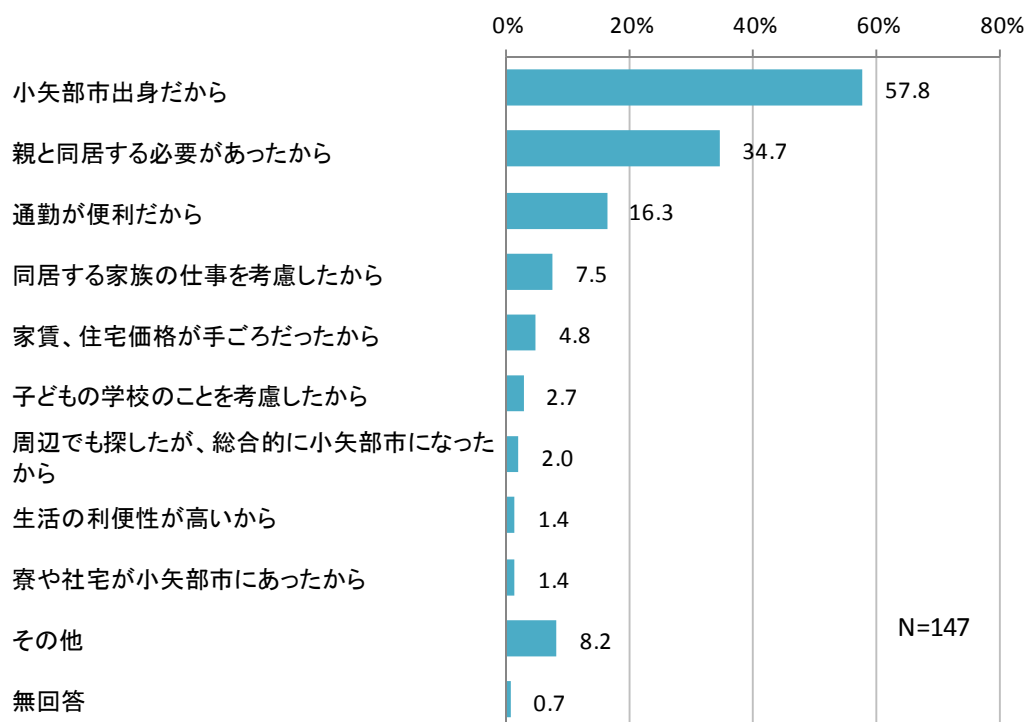
現在の居住地について、『満足』の割合が最も高かったのは「①自然環境」(73.8%)であり、次いで「⑧犯罪や災害の少ない安全性」(70.5%)「③通勤・通学の便利さ」(64.5%)となっている。

一方で、『不満』とした割合が高いのは、「⑪まちの活気や賑わい」(31.5%)「⑥病院などの医療体制」(23.5%)「②買い物の便利さ」(22.1%)などであるが、特に「⑪まちの活気や賑わい」は『不満』が『満足』(23.8%)を上回っている。



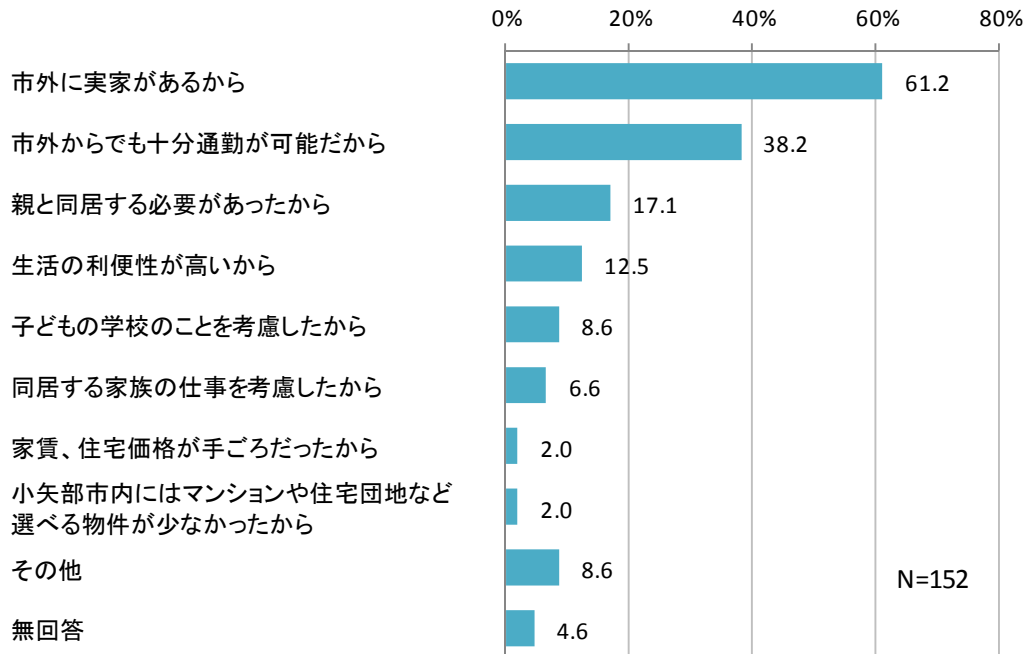
問7 小矢部市にお住まいの方におうかがいします。小矢部市に住んでいる理由は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

小矢部市に住んでいるのは、「小矢部市出身だから」(57.8%)や「親と同居する必要があったから」(34.7%)が主な理由である。



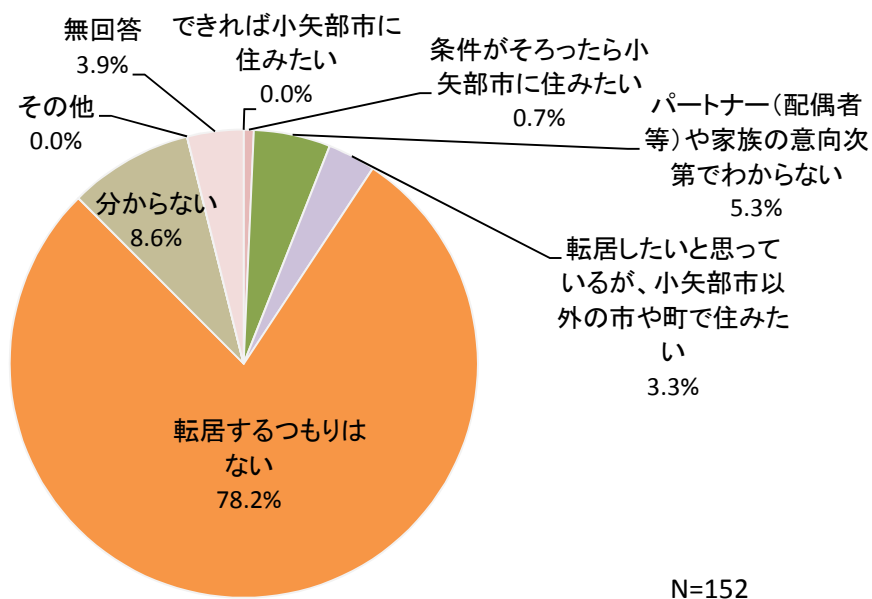
問8-① 小矢部市以外にお住まいの方におうかがいします。小矢部市に住んでいない理由は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

小矢部市内の企業に勤務しているのに小矢部市以外に居住している理由は、「市外に実家があるから」(61.2%)が最も高く、次いで「市外からでも十分通勤が可能だから」(38.2%)が挙げられる。



問8-② あなたは現在のお住まいから、小矢部市に転居する可能性はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

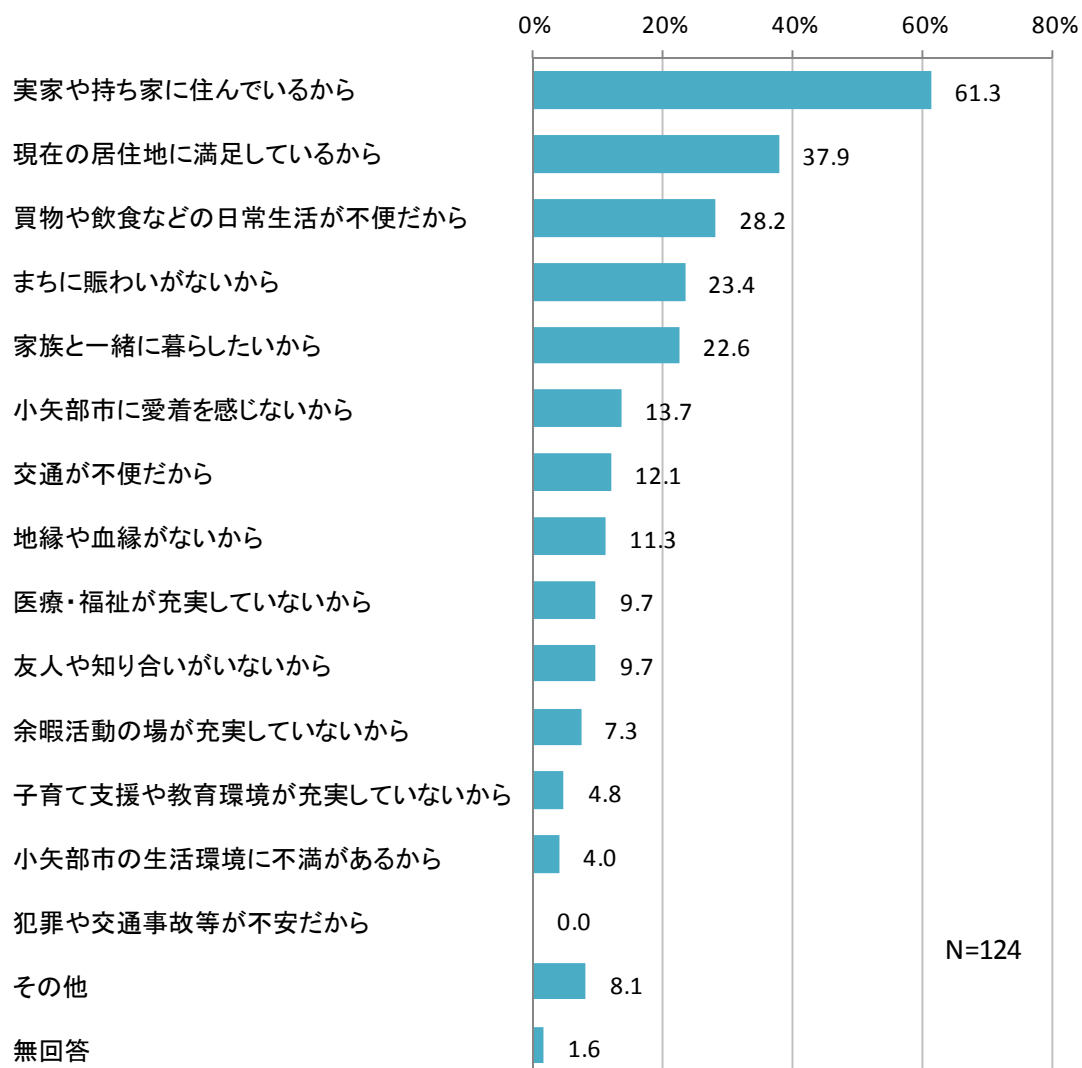
「転居するつもりはない」と「転居したいと思っているが、小矢部市以外の市や町で住みたい」を合わせて8割以上の方が小矢部市への転居の可能性を否定しており、その傾向は既婚者が高い。



問8-③ 小矢部市に住みたくない理由は何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

小矢部市に住みたくない理由の第一は「実家や持ち家に住んでいるから」(61.3%)が挙げられるが、そのほか「現在の居住地に満足しているから」(37.9%)「家族と一緒に暮らしたいから」(22.6%)など、現在の暮らしに対する満足度や愛着による理由が上位に挙げられる。

一方で、(小矢部市が)「買い物や飲食などの日常生活が不便だから」(28.2%)「街に賑わいがなから」(23.4%)などの小矢部市の生活環境への不満も理由の上位に挙げられる。

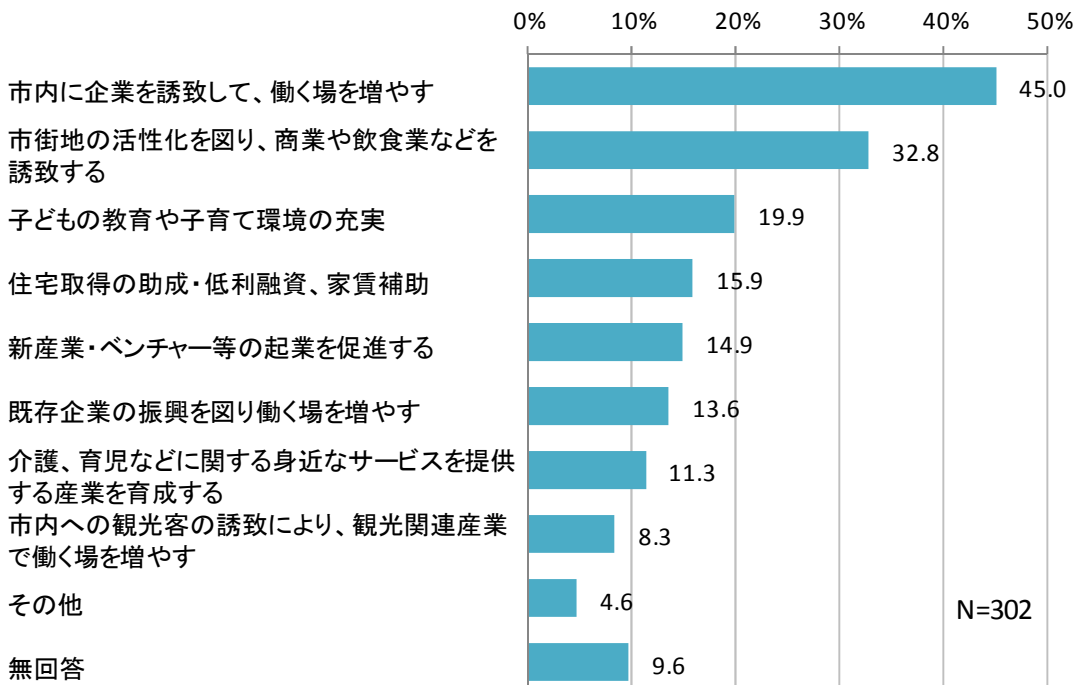


4. 働きやすい環境整備

問9 小矢部市で働く場を確保し、Uターン者や若者にとっても働きやすい環境を整備するためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は2つまで)

働きやすい環境の整備のためには、「市内に企業を誘致して、働く場を増やす」(45.0%)が第一に挙げられ、就職する人の選択肢を増やすことがまず必要だと考えられている。

次いで、「市街地の活性化を図り、商業や飲食業などを誘致する」「子どもの教育や子育て環境の整備」「住宅取得の助成・低利融資、家賃補助」など小矢部市に居住し生活するための環境整備が求められている。

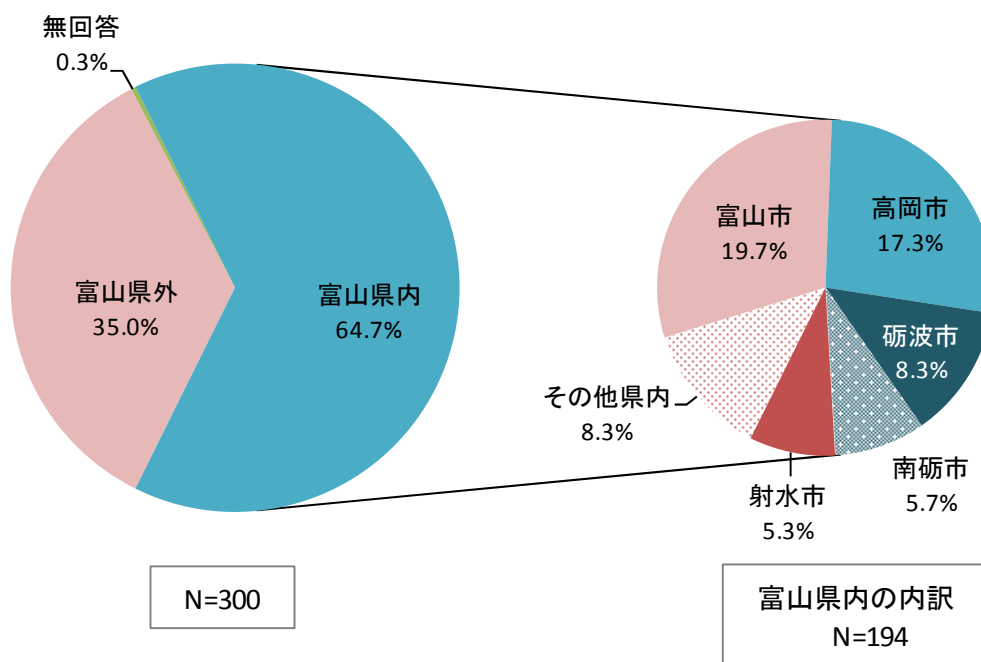


F 観光客アンケート

問1 回答者の概要について

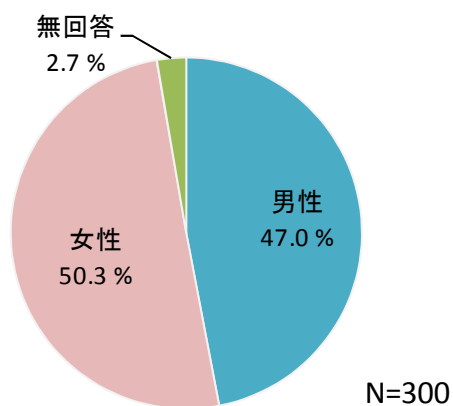
(1) お住まい

回答者の住所は、「富山県内」が64.7%、「富山県外」が35.0%となっている。
また、小矢部市に隣接する「高岡市」「砺波市」「南砺市」の3市が、回答者全体の31.3%を占めている。



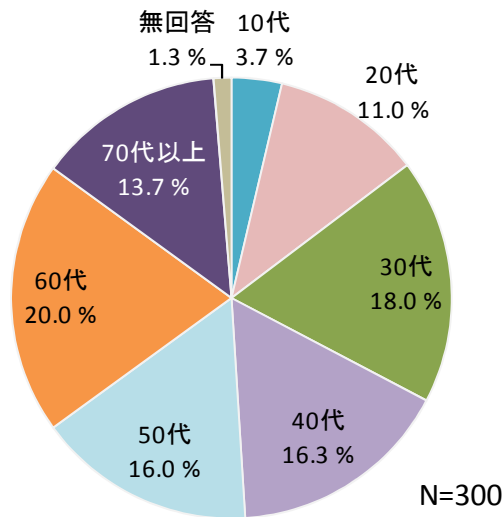
(2) 性別

回答者の性別は、「男性」が47.0%、「女性」が50.3%となっている。



(3) 年齢

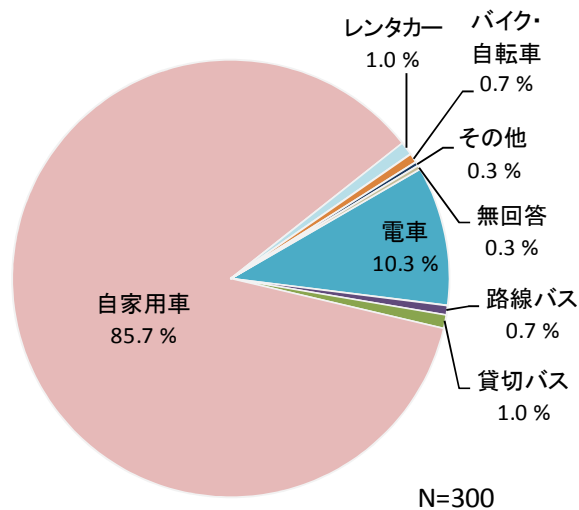
回答者の年齢については、「60代」(20.0%)との回答割合が最も高く、次いで「30代」(18.0%)、「40代」(16.3%)となっている。



問2 小矢部市までの交通手段は何ですか。

※複数の交通手段を利用している場合は、最後に利用した交通手段を教えてください。

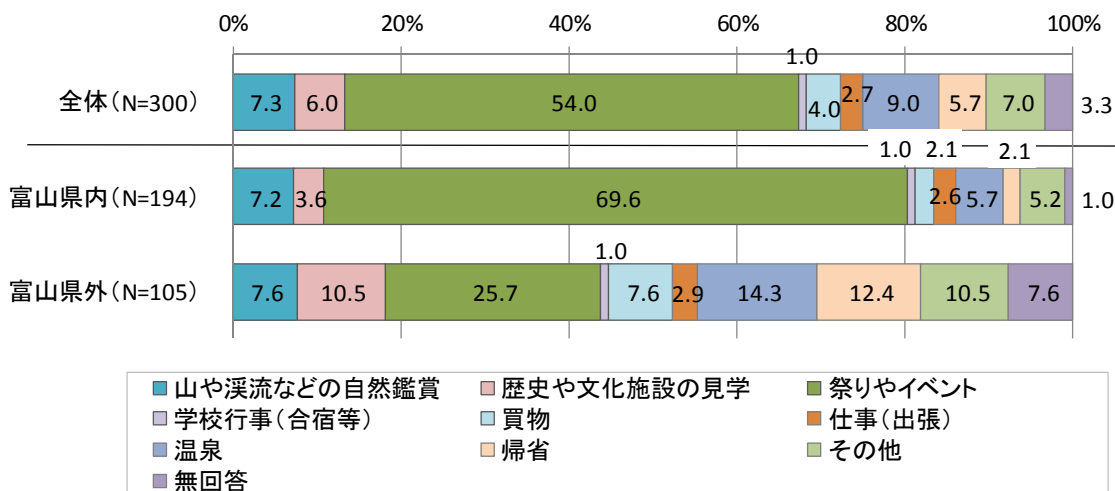
小矢部市までの交通手段については、「自家用車」(85.7%)で訪れた人が最も多く、次いで「電車」(10.3%)となっている。



問3 今回、小矢部市を訪問された一番の目的は何ですか。

今回、小矢部市を訪問した一番の目的については、「祭りやイベント」と回答した人が54.0%と最も多く、特に『富山県内』の人では約7割を占めている。

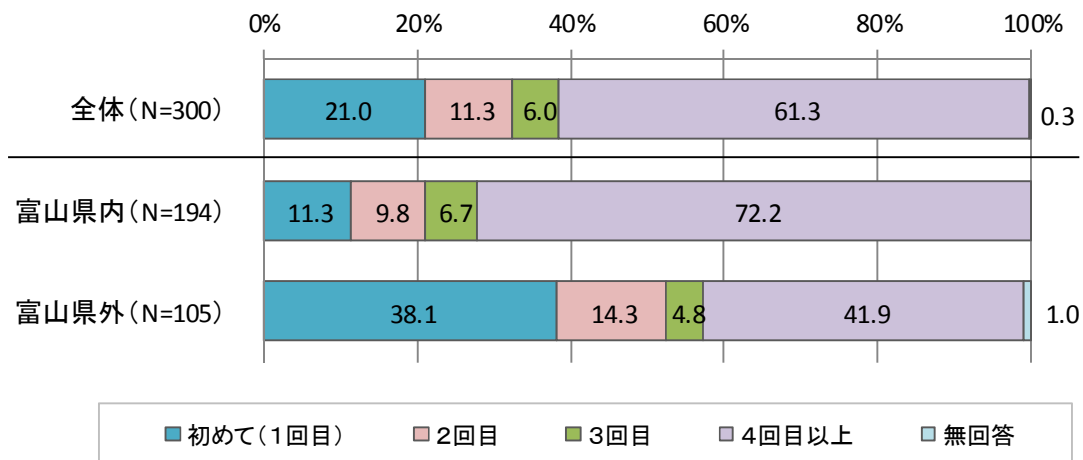
『富山県外』の人は、「祭りやイベント」(25.7%)と回答した人が最も多いものの、次いで多かったのは「温泉」(14.3%)、「帰省」(12.4%)、「歴史や文化施設の見学」(10.5%)であり、イベント以外の観光目的で多くの人が訪れていることがわかる。



問4 小矢部市の観光は今回で何回目ですか。

小矢部市の観光回数については、「4回目以上」(61.3%)との回答割合が最も高く、次いで「初めて(1回目)」(21.0%)となっている。

住所別で見ると、『富山県内』の人は「4回目以上」が7割以上を占めており、県内の人にとっては気軽に立ち寄る場となっていることがうかがえる。『富山県外』の人については「4回目以上」(41.9%)と回答するリピーターが多い一方で、「初めて(1回目)」という人も38.1%いる。



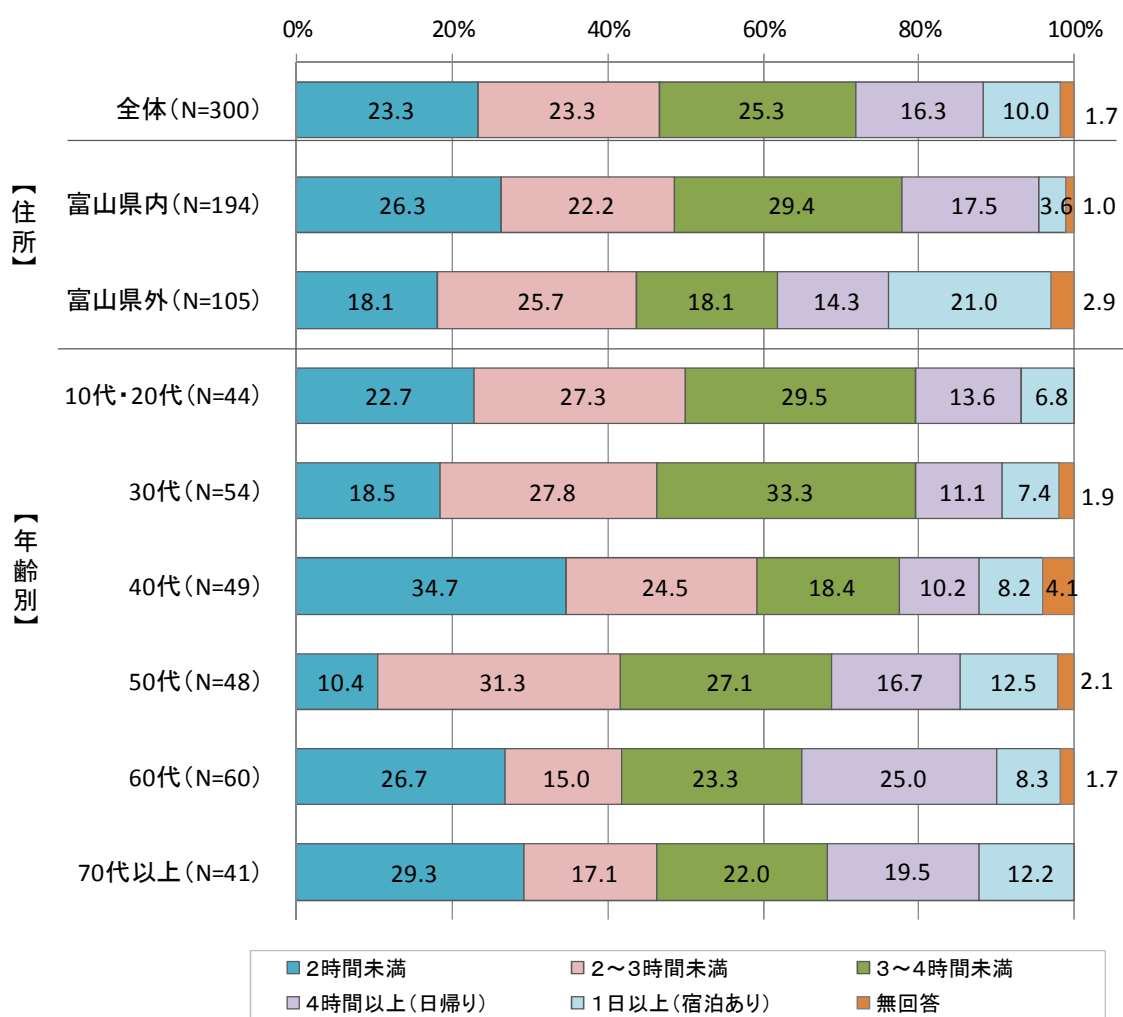
小矢部市での観光・買物について

問5 今回、小矢部市内で観光や買物をする時間はどのくらいですか

調査時点における小矢部市内で観光や買物をする時間については、「3～4時間未満」(25.3%)との回答割合が最も高く、次いで「2時間未満」(23.3%)・「2～3時間未満」(23.3%)となっている。

住所別で見ると、『富山県外』の人は『富山県内』の人に比べて、「1日以上(宿泊あり)」と回答した人が多く、滞在時間が長いことがわかる。

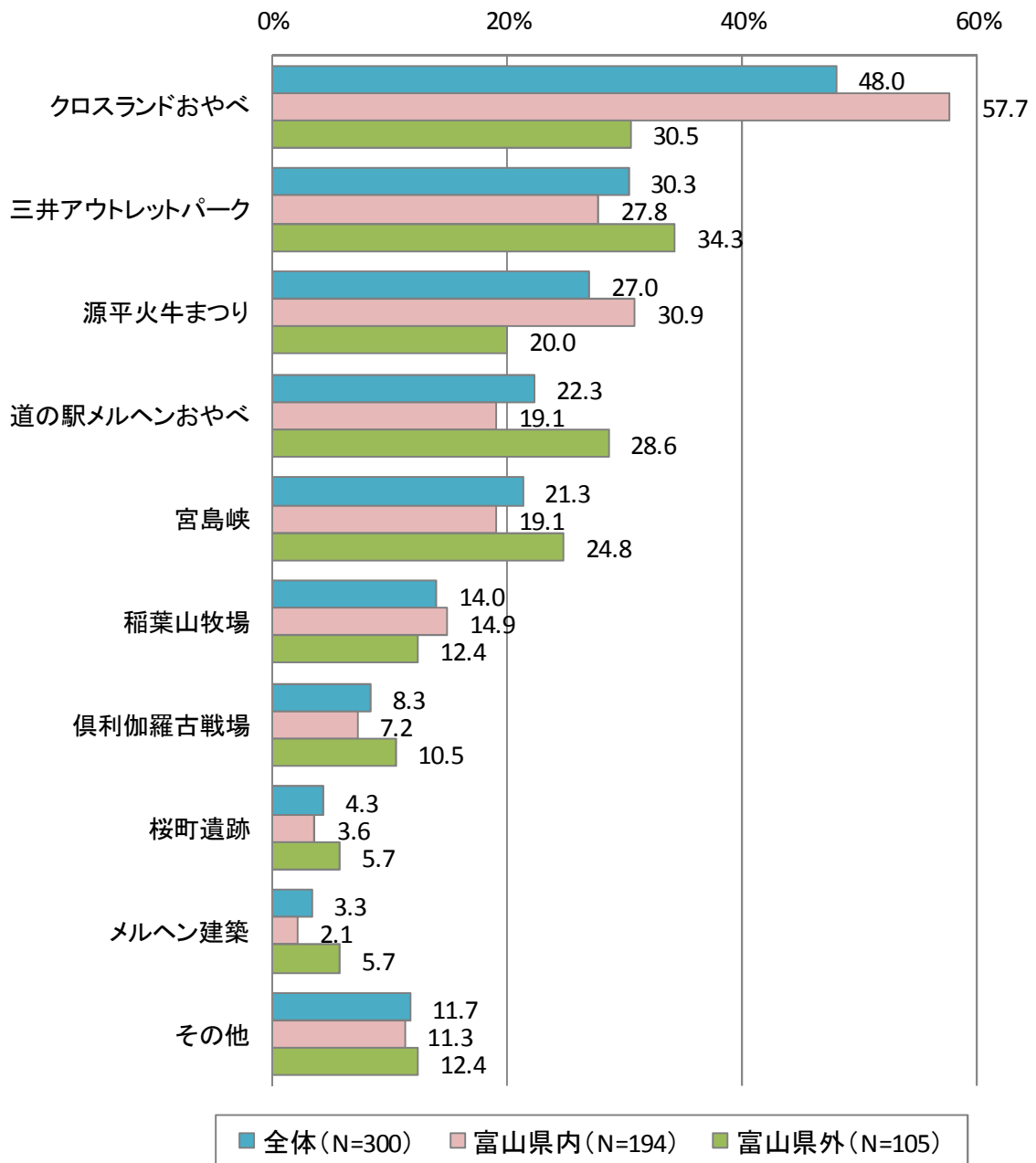
年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「1日以上(宿泊あり)」との回答割合が高くなる傾向にある。



問6 今回、小矢部市のどちらにいかれます（ました）か（複数回答）

訪問先については、「クロスランドおやべ」（48.0%）との回答割合が最も高く、次いで「三井アウトレットパーク」（30.3%）、「源平火牛まつり」（27.0%）となっている。

住所別でみると、『富山県内』の人は、「クロスランドおやべ」（57.7%）との回答割合が最も高く、次いで「源平火牛まつり」（30.9%）、「三井アウトレットパーク」（27.8%）となっている。一方、『富山県外』の人は「三井アウトレットパーク」（34.3%）との回答割合が最も高く、次いで「クロスランドおやべ」（30.5%）、「道の駅メルヘンおやべ」（28.6%）となっている。

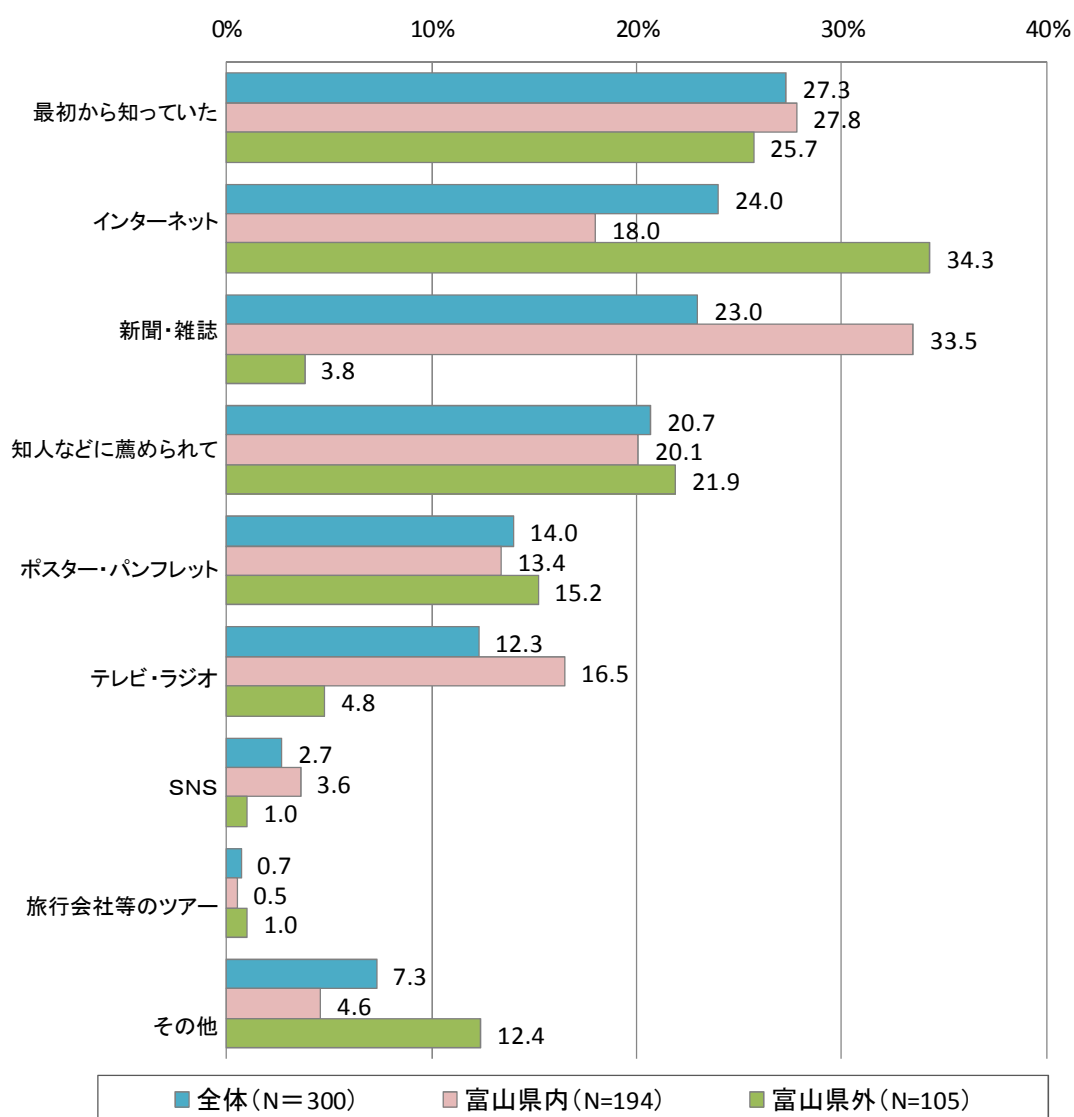


観光場所の認知経路

問7 観光される場所をどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答)

観光場所の認知経路については、「最初から知っていた」(27.3%)との回答割合が最も高く、次いで「インターネット」(24.0%)、「新聞・雑誌」(23.0%)となっている。「最初から知っていた」を除くと「インターネット」との回答割合が最も高いことから、インターネットを利用して小矢部市の観光情報を得ている人が多いことがうかがえる。

住所別にみると、『富山県内』の人は「新聞・雑誌」(33.5%)から情報を得た人が最も多く、次いで「最初から知っていた」(27.8%)、「知人などに薦められて」(20.1%)となっている。一方、『富山県外』の人は、「インターネット」(34.3%)から情報を得た人が最も多く、次いで「最初から知っていた」(25.7%)、「知人などに薦められて」(21.9%)となっている。

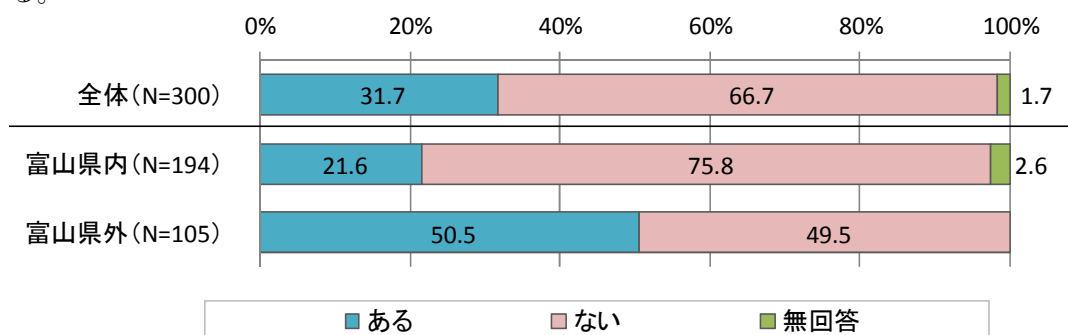


広域観光について

問8 今回、小矢部市以外で観光される（された）場所がありますか。

調査時点における小矢部市以外の観光先については、「ある」が31.7%、「ない」が66.7%となっている。

住所別で見ると、『富山県内』の人は「ない」との回答割合が7割以上を占めているが、『富山県外』の人では、「ある」(50.5%)と「ない」(49.5%)が同程度になっている。

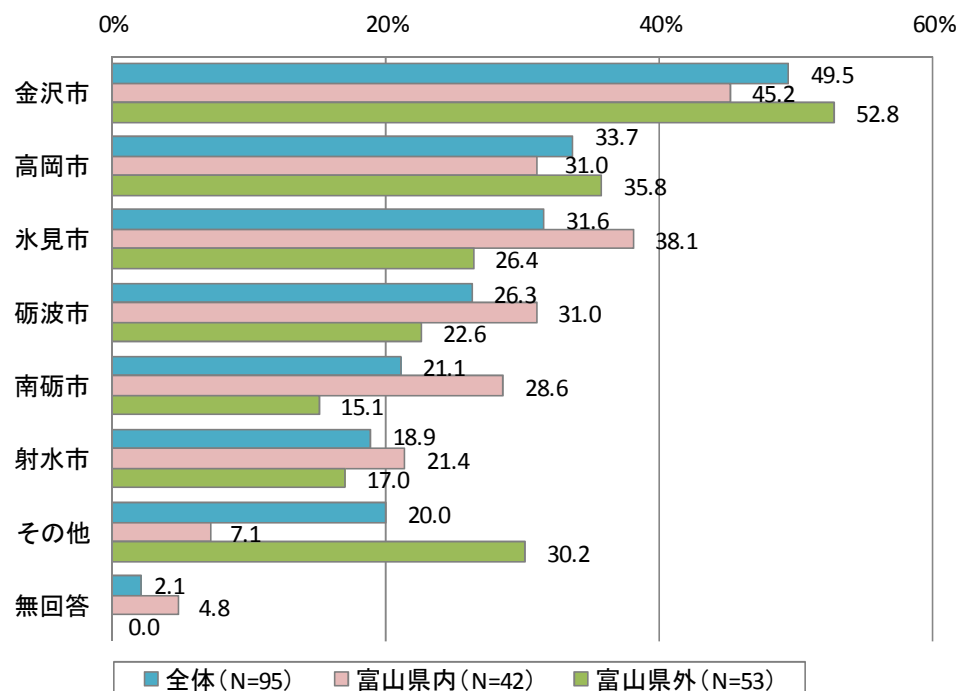


問9 小矢部市以外のどちらを観光されます（ました）か。（複数回答）

※（問9で「1. ある」と回答された方のみ）

小矢部市以外の観光先については、「金沢市」(49.5%)との回答割合が最も高く、次いで「高岡市」33.7%、「氷見市」31.6%となっている。

住所別で見ると、『富山県内』の人は「金沢市」(45.2%)との回答割合が最も高く、次いで「氷見市」(38.1%)となっている。『富山県外』の人では、「金沢市」が5割以上を占めており、次いで「高岡市」(35.8%)となっている。

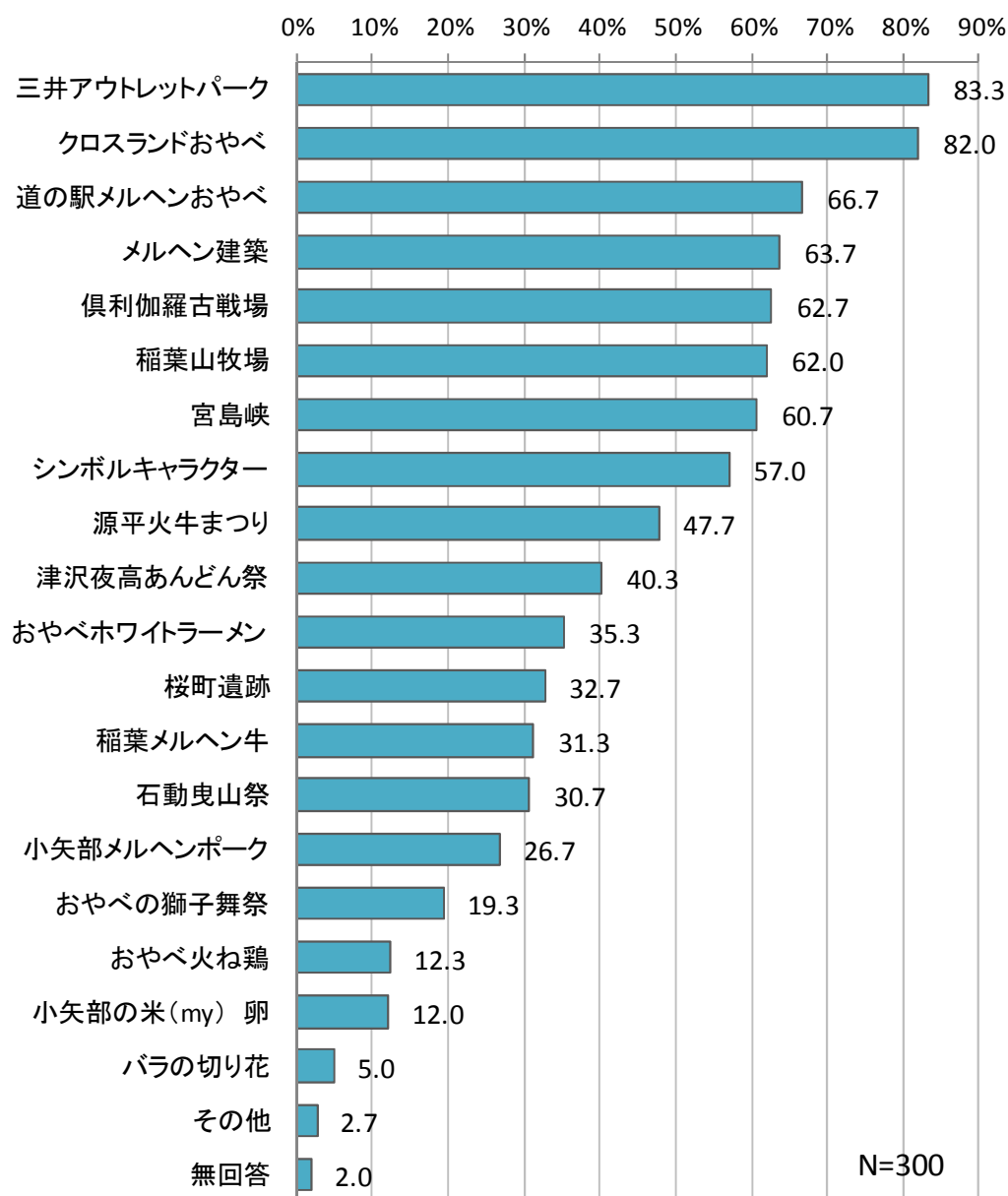


観光地・イベント・特産品等に関する認知度

問 10 小矢部市の観光地・イベント・特産品等でご存知のものを教えてください。(複数回答)

小矢部市の観光地等で知っているものについては、「三井アウトレットパーク」(83.3%)との回答割合が最も高く、次いで「クロスランドおやべ」(82.0%)、「道の駅メルヘンおやべ」(66.7%)となっている。

一方、小矢部市の特産品(「バラの切り花」、「小矢部の米(my)卵」、「おやべ火ね鶏」)については、「知っている」との回答割合が2割未満となっている。



小矢部市に対するイメージ

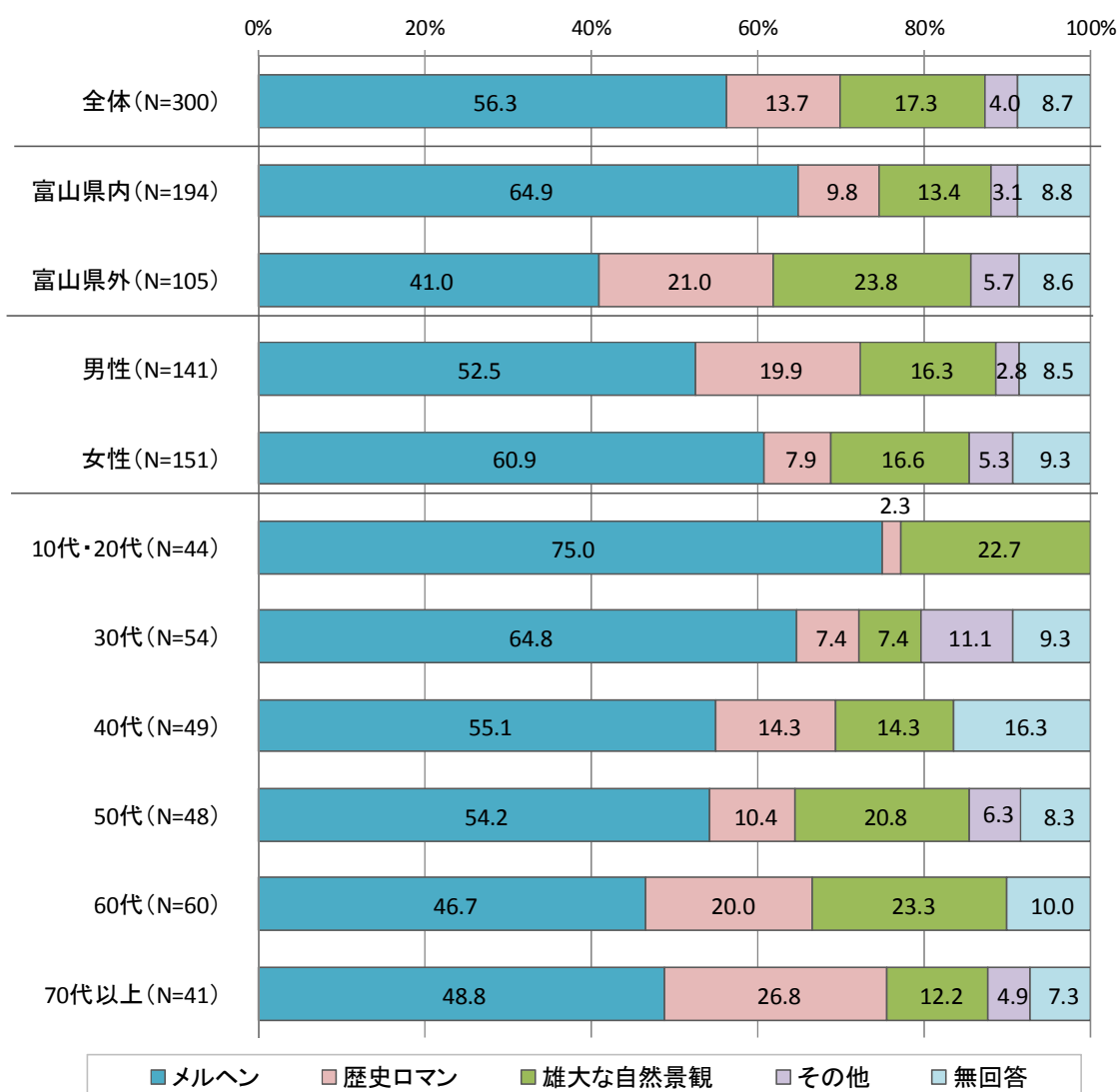
問 11 小矢部市について、どのようなイメージをお持ちですか。

小矢部市に対するイメージについては、半数以上の方が「メルヘン」を挙げており、次いで「雄大な自然景観」(17.3%)、「歴史ロマン」(13.7%)となっている。

住所別にみると、『富山県外』の人にとっては、「雄大な自然景観」と「歴史ロマン」というイメージが強い。

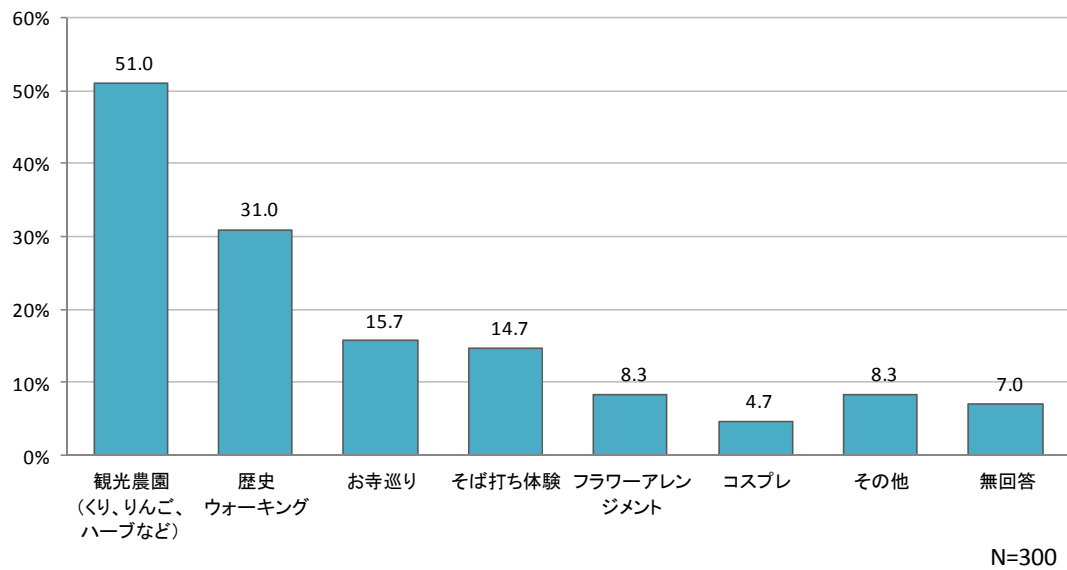
性別にみると、『男性』は『女性』に比べて「歴史ロマン」との回答割合が高い。

年齢別にみると、『10代・20代』は7割以上が「メルヘン」と回答しているが、年齢が上がるにつれ、「メルヘン」との回答割合が低くなる傾向にある。一方、「歴史ロマン」との回答割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。



問 12 小矢部市での観光で、どのような体験をしてみたいですか。(複数回答)

小矢部市での観光でしてみたい体験については、「観光農園（くり、りんご、ハーブなど）」(51.0%)との回答割合が最も高く、次いで「歴史ウォーキング」(31.0%)、「お寺巡り」(15.7%)となっている。



観光施策に対する要望

問 13 小矢部市の観光施策に対して、ご要望があればお聞かせください（複数回答）

小矢部市の観光施策に対する要望については、「観光地やイベント情報の周知」（33.7%）との回答割合が最も高く、次いで「観光スポットの充実」（32.3%）、「観光ルートの整備」（23.3%）となっている。

住所別で見ると、『富山県外』の人からは、「観光地やイベント情報の周知」・「観光ルートの整備」についての要望が高い。

